旧福山市立内海小学校校舎解体工事

校舎棟・外構				屋内運動場		給食棟		その他施設		アスベスト除去工事		外構	
D－001	解体工事特記仕様書（１）	D－036	校舎棟　柱リスト1	D－101	屋内運動場　仕上表	D－201	給食棟　仕上表	D－301	プール及び付属棟平面図	D－401	アスベスト除去工事特記仕様書	D－501	外構配置図
D－002	解体工事特記仕様書（２）	D－037	校舎棟　柱リスト2	D－102	屋内運動場　1階平面図	D－202	給食棟　平面図	D－302	プール及び付属棟立面図	D－402	校舎棟　階段アスベスト撤去図	D－502	屋外配管図
D－003	付近見取・配置図	D－038	校舎棟　架構詳細図1	D－103	屋内運動場　2階平面図	D－203	給食棟　立面図・断面図	D－303	プール断面図			D－503	屋外配線図
D－004	校舎棟　仕上表	D－039	校舎棟　架構詳細図2	D－104	屋内運動場　立面図	D－204	給食棟　平面詳細図	D－304	プールフェンス図			D－504	解体後整地計画図
D－005	校舎棟　平面図1	D－040	校舎棟　床リスト1	D－105	屋内運動場　断面詳細図1	D－205	給食棟　断面詳細図1	D－305	体育倉庫　平面　立面　展開図			D－505	仮設計画図
D－006	校舎棟　平面図2	D－041	校舎棟　床リスト2	D－106	屋内運動場　断面詳細図2	D－206	給食棟　断面詳細図2	D－306	体育倉庫　詳細図				
D－007	校舎棟　立面図1	D－042	校舎棟　床リスト3	D－107	屋内運動場　断面詳細図3	D－207	給食棟　天井伏図	D－307	体育倉庫　構造図				
D－008	校舎棟　立面図2	D－043	校舎棟　床リスト4	D－108	屋内運動場　1階平面詳細図	D－208	給食棟　建具配置図	D－308	屋外便所　既存図1				
D－009	校舎棟　断面詳細図	D－044	校舎棟　照明器具姿図	D－109	屋内運動場　2階平面詳細図	D－209	給食棟　建具表	D－309	屋外便所　既存図2				
D－010	校舎棟　階段詳細図1	D－045	校舎棟　電灯コンセント平面図1	D－110	屋内運動場　ステージ平面詳細図	D－210	給食棟　渡り廊下詳細図	D－310	屋外便所　既存図3				
D－011	校舎棟　階段詳細図2	D－046	校舎棟　電灯コンセント平面図2	D－111	屋内運動場　便所詳細図	D－211	給食棟　構造図1	D－311	鳥小屋　平面・立面図				
D－012	校舎棟　階段詳細図3			D－112	屋内運動場　倉庫詳細図	D－212	給食棟　構造図2						
D－013	校舎棟　階段詳細図4			D－113	屋内運動場　展開図	D－213	給食棟　構造図3						
D－014	校舎棟　平面詳細図1			D－114	屋内運動場　渡り廊下詳細図	D－214	給食棟　構造図4						
D－015	校舎棟　平面詳細図2			D－115	屋内運動場　収納台車詳細図	D－215	給食棟　構造図5						
D－016	校舎棟　平面詳細図3			D－116	屋内運動場　鋼製床組詳細図	D－216	給食棟　照明姿図						
D－017	校舎棟　平面詳細図4			D－117	屋内運動場　天井伏図	D－217	給食棟　電灯設備平面図						
D－018	校舎棟　平面詳細図5			D－118	屋内運動場　建具配置図	D－218	給食棟　空調機器リスト						
D－019	校舎棟　平面詳細図6			D－119	屋内運動場　建具表	D－219	給食棟　空調平面図						
D－020	校舎棟　平面詳細図7			D－120	屋内運動場　体育器具図								
D－021	校舎棟　平面詳細図8			D－121	屋内運動場　基礎伏図								
D－022	校舎棟　平面詳細図9			D－122	屋内運動場　柱・床・壁リスト								
D－023	校舎棟　平面詳細図10			D－123	屋内運動場　梁配筋リスト								
D－024	校舎棟　平面詳細図11			D－124	屋内運動場　小屋伏図								
D－025	校舎棟　天井伏図1			D－125	屋内運動場　鉄骨軸組図								
D－026	校舎棟　天井伏図2			D－126	屋内運動場　コンクリート軸組図								
D－027	校舎棟　建具配置図1			D－127	屋内運動場　ラーメン配筋図								
D－028	校舎棟　建具配置図2			D－128	屋内運動場　鉄骨詳細図								
D－029	校舎棟　建具表1			D－129	屋内運動場　分電盤結線図・照明器具姿図								
D－030	校舎棟　建具表2			D－130	屋内運動場　電灯コンセント設備図								
D－031	校舎棟　基礎伏図			D－131	屋内運動場　スロープ改修図1								
D－032	校舎棟　梁伏図1			D－132	屋内運動場　スロープ改修図2								
D－033	校舎棟　梁伏図2												
D－034	校舎棟　梁リスト1												
D－035	校舎棟　梁リスト2												

福山市建設局建築部営繕課	発注 2023年　5月				
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

訂正	月　日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第17(1)0409号
TEL 084-922-3213　一級建築士
FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行

福山市建設局建築部営繕課

設計 2022年　9月

工事名称

図面名称 表紙

図面No

解　体　工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1．工事名称　旧福山市立内海小学校校舎解体工事

2．工事場所　福山市内海町地内

3．敷地面積　10,391.00㎡

4．解体建物概要

1）構造・規模
- 校舎棟　：鉄筋コンクリート造　3階建　延べ面積　2,064.00㎡
- 屋内運動場：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造　2階建　延べ面積　688.50㎡
- プール・付属棟：ＣＢ造　平屋建　延べ面積　89.20㎡
- 屋外便所　：鉄筋コンクリート造　平家建　延べ面積　18.21㎡
- 給食棟　　：鉄筋コンクリート造　平家建　延べ面積　376.44㎡
- 体育倉庫　：鉄筋コンクリート造　平家建　延べ面積　31.50㎡
- 渡り廊下　：鉄骨造　平家建　延べ面積　62.92㎡

2）その他　アスファルト舗装・コンクリート舗装・雨水排水・擁・花壇・樹木・遊具

5．工事範囲　（１）建物解体・撤去工事一式（内訳は別図による。）

6．別途工事　・給排水衛生設備工事　・電気設備工事　・冷暖房設備工事

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修，建築物解体工事共通仕様書・同解説（平成３１年版）（以下，「解体仕様書」という。）による。

電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は，それぞれ公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編），公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。

(1) 地元企業及び地場製品の活用

本工事受注者は，地元企業，地場製品の積極的な活用に努める。

(2) 疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合(記載されてない事項等)又は現場の納まり，取り合い等の関係で，設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は，監督員と協議する。

2．特記仕様

(1) 章，項目は番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は ⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印のつかない場合は，※印のついたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印のついた場合は共に適用する。

(3) 項目欄に記載の（　）内番号は共通仕様書の該当項目を示す。

章	項	特　記　事　項
① 一般共通事項	① 適用基準等	※ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ※ 建設廃棄物処理指針 ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱 ※ 建築工事安全施工技術指針 ※ 労働安全衛生法　※ 石綿障害予防規則 ※ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法） ※ 建築基準法　※ 環境基本法　※ 騒音規制法 ※ 大気汚染防止法　※ 土壌汚染対策法 ※ 資源の有効な利用の促進に関する法律 ・ 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） ・ フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）
	② 監理(主任)技術者	受注者は，監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め，工事現場内において工事名，工期，写真，所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。
	③ 官公署手続き等 (1.1.3)	工事の着手，施工，完成に当たり，関係機関への必要な手続き等を遅延なく行うこと。また，これらの手続き等を行うに当っては，届出内容についてあらかじめ監督員に報告すること。なお，手続き等に要する費用は受注者の負担とする。
	④ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	受注者は，次表に従い，工事実績情報を登録する。 ※ 登録内容について，あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに，次表の期間内に登録申請を行う。ただし，期間には，土曜日，日曜日，祝日，年末年始の閉庁日を除く。 請負金額 ／ 工事受注時 ／ 登録内容の変更時 ／ 工事完成時 500万円以上 ／ 契約後10日以内 ／ 変更契約後10日以内 ／ 工事完成後10日以内 なお，変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は，変更時の提出を省略できる。（登録要） 変更登録は，工期，技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合，登録不要） ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
	⑤ 別契約の関連工事との調整等 (1.1.7)	施工範囲　※ 図示による。 関連工事との調整 ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。 ※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い，監督員の調整に協力し，当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。
	⑥ 工事工程表 (1.2.1)	検査期間としての１４日間を含んだ工程とし，工事全体を把握して作成し監督員の承諾を受ける。 ※ 契約締結後１４日以内に実施工程表を提出する。
	⑦ 施工計画書 (1.2.2)	工事に先立って次の計画書・書面を提出する。 ※ 解体工事施工計画書　２部（１部返却） （総合仮設計画書，安全対策計画書，分別解体等計画書，建設副産物処理計画書） 添付書類 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理最終処分）の許可の写し 二者の委託契約書の写し 処分場の位置及び運搬ルート ※ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書　各２部（１部返却） ※「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）による対象建設工事に係る書面　各２部(法第１２条第１項、法第１３条及び省令第４条)
	⑧ 工事の記録 (1.2.3)	下記のものを監督員に提出する。工事中及び完成写真の作成は「営繕工事写真作成要領」による。 ⊙ 工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を工事履行報告書に添付するものとする。 ⊙ 工事中写真 全般的な解体工事の状況，建設副産物処理及び事前措置，解体手順の各段階における施工が完了した写真，水中又は地下に埋設される部分，分別解体を行っていることが確認できる状況写真，その他工事終了後では確認できない事項，その他監督員が指示する箇所はＡ４版写真台紙にまとめて完成検査日までに提出するものとする。 なお，基礎や地下構造物等の撤去については，撤去物の全般に亘り，その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 【提出部数】：１部 ⊙ 完成写真 撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 （撮影箇所）　監督職員が指示する箇所 （写真規格）　・カラーサービス版　・カラーキャビネ版　・ （規格・提出部数）　・Ａ４版クリアファイル　部　・Ａ４版写真台紙　部　・アルバム　部 ⊙ その他の写真 隣接建物等に損傷の恐れがある場合は，施工前，施工後の写真を監督員の指示により提出すること。 ⊙ 保管 工事写真のネガは工事完成後，受注者において２年間保管すること。
	⑨ 施工管理 (1.3.1)	受注者は施工管理体制を確立し，工程，安全，建設廃棄物処理等の施工管理を行う。 ※ 施工体制台帳（建設業法等に従って作成し，写しを提出する。） 技術者台帳（施工体制台帳に添付） 監理技術者・主任技術者（下請を含む）及び専門技術者の写真，名前，生年月日，所属会社名を記載する。 ※ 施工体系図（建設業法に基づき，当該現場の見やすい場所に掲示する。）
	10 電気保安技術者 (1.3.3～1.3.4)	・ 適用する　・ 適用しない
	⑪ 施工条件 (1.3.5)	1）作業時間は，原則午前８時から午後５時までとし，通学時間帯を考慮すること。 2）日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし，あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は，この限りではない。
	⑫ 施工中の安全確保 (1.3.6～1.3.8)	1）労働安全衛生法第３０条第２項の規定に基づく指名　⊙ 有り　・ 無し 2）受注者は，現場代理人を工事現場に常駐させ，工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い，周囲の建物，通行者等に損傷を与えないように注意して工事を施工すること。 なお，万一損傷が生じた場合は，受注者の責任において処理すること。 3）工事中は，騒音，振動の発生，粉塵の飛散（散水），道路の汚染等の防止に努めること。 ※ 低騒音型・低振動型建設機械を使用すること（近隣住民の生活環境の保全の必要性がある場合） 4）歩行者等の通行に支障を生じないよう交通誘導員を配置し，適切な処置を講じること。 ※ 本工事は，交通誘導員として　720 人を見込んでいる。 なお，交通誘導員の配置については，実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。 5）ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。 6）作業現場には，労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き，作業の安全管理に努めること。 ① つり足場（ゴンドラのつり足場を除く），張出し足場又は高さ５m以上の構造の足場の組立て，解体を行う場合，コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが５m以上のもの）の解体作業を行う場合は，労働安全衛生法第１４条に基づく技能講習を修了したものとする。 ② 木造建築物の解体作業を行う場合は，平成３年１月２１日付け基発第３９号「安全衛生教育の推進について」及び平成元年５月９日付け基発第４８５号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。
	⑬ 近隣との折衝 (1.3.6)	地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし，あらかじめその概要を監督員に報告する。 また，その経過について記録し，遅滞なく監督員に書面で報告する。
	⑭ 発生材の処理 (1.3.10) (4.1.3～4.5.1)	・ 引渡しを要するもの　（　　） ・ 現場において再利用を図るもの　（　　） ⊙ 次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する。 (1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 （⊙建設発生土　⊙コンクリート塊　⊙アスファルトコンクリート塊　⊙建設発生木材） (2) 金属類　(3) 小型二次電池 ⊙ その他建設廃棄物の再資源化　※ 無し ⊙ 有り（・蛍光ランプ，ＨＤランプ　・硬質塩化ビニル管） ・ 指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減　・ 無し　・ 有り ・ 産業廃棄物広域認定制度の適用　※ 無し　・ 有り（　　） ・ 処理に注意を要する建設廃棄物　※ 無し ・ 有り（・CCA処理木材　・ひ素，ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） ※ 建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため，受注者は，施工計画時，工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は，速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また，建設リサイクル法に規定する建設資材を搬出（搬入）する場合は，次表により計画書（実施書）を提出する。なお，これにより難い場合は，監督員と協議する。 施工計画時 ／ 工事完了時 搬出 ／ 再生資源促進利用計画書 ／ 再生資源促進利用実施書 搬入 ／ 再生資源利用計画書 ／ 再生資源利用実施書 1）本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては，廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の費用の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 2）本工事で発生する建設廃棄物のうち，広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については，広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので，適正に処理すること。なお，本工事では，広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
	⑭ 施工計画調査 (1.4.1)	工事の着手に先立ち，施工計画作成のための調査を行う。
	15 施工数量調査 (1.4.2)	施工に先立ち，下記の施工数量調査を行う。 ※ 調査範囲（　　） ※ 調査方法（　　）
	⑯ 施工の検査 (1.5.4)	監督員による随時の検査を行う。 ※ 検査に必要な資機材，労務等を提供すること。
	⑰ 工事履行報告書	毎月７日までに，前月末までの履行状況を，実施工程表及び現場状況写真を添付して提出すること。
	⑱ 埋設物等の報告	工事の施工に当たり，設計図書に記載されていない地下構造物，埋設配管等を発見した場合は，直ちにその状況を監督員に報告すること。
	⑲ 地下埋設物調査	⊙ 行わない ・ 行う　図示する範囲内において，整地前に敷地境界から２mの距離を置き，幅１m，深さ１．５mで，３m間隔で掘削調査を行う。
	20 家電リサイクル法対象機器の処分	特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は，同法に基づき処理を行うこと。また，工事完了後に管理票の写しを提出すること。
	㉑ 完成時の提出書類	⊙ 産業廃棄物処分の実績報告書　１部 ※ マニフェスト　（Ｄ・Ｅ票）の写し及び集計表を添付する。 ⊙ 写真　１部　（Ａ４判印刷，若しくはＡ４判写真帳） ※ 原版の提出 ⊙ しない　・ する （・ 全て　・ 指定する工程のみ ） （電子データ形式等は，監督員の指示による。）
	㉒ 試掘	地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため，次の時期及び方法により試掘を行う。 ※ 試掘時期　・ 完成検査時　⊙（ 試掘　地中工作物等撤去完了時 ） ※ 試掘方法　⊙ 機械掘削　・ 人力掘削 なお，試掘は建築物１棟ごとに１箇所以上，外構（排水施設，舗装等）で１箇所以上行い，試掘する箇所については，検査員の指示による。
	㉓ 自社施工を求める対象工種	受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により，次の工種を全て施工すること。 ・ 解体工（仮設工事，産業廃棄物の収集運搬処分等附帯工事，敷地整地工事，石綿含有建材除去工事並びに杭引抜き工事は除く。）

章	項	特　記　事　項
② 仮設工事	① 騒音・粉塵等の対策（仮囲い等の安全施設）(2.2.1～2.2.2)	⊙ 解体工事着手前に工事対象区域内に仮囲い　（ ・ H=　m　⊙ 図示 ）を設置すること。 ⊙ 解体工事着手前に建物周囲に次の騒音・粉塵等の対策を行う。 （ ※ 防音パネル　・ 防音シート　・ メッシュ金網，養生シート ） ⊙ 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲及び高さ等 （ ⊙ 建物全周囲に建物高さ以上　・　　） ※ 枠組み足場を設ける場合は，「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月24日基発第0424001号）により，「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり，中さん及び幅木の機能を有する足場とし，足場の組立て，解体又は変更の作業は，「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の２の(2)又は(3)の方式により行うこと。 また，上記足場の設置や点検等については，労働安全衛生規則を遵守して実施すること。 ⊙ 騒音・振動計を設置すること。（設置箇所は図示による）
	② 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設付る　（　　㎡程度）　⊙ 設けない ・ 備品等　（　　）
	③ 受注者事務所等	⊙ 敷地内へ建てることができる　・
	④ 工事用水	構内既存の施設　⊙ 有償で利用できる（副メーター設置等） ・ 無償で利用できる ・ 利用できない
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設　・ 有償で利用できる　・ 無償で利用できる　⊙ 利用できない
③ 解体工事	① 事前措置 (3.2.1)	1）給水管，ガス管，電気ｹｰﾌﾞﾙ，下水道等の供給管等の切断及び桝，配管等の撤去は本工事に含む。 ① 配管等の切断及び汚水管，排水管等の末端処理については，供給者と事前に協議すること。 ② 水道，ガス，下水等の切断位置等は本杭等で明示する。また，記録を残し監督員に提出する。 ③ 配管等の切断位置や，切り回し必要箇所等は図示による。 2）落下するおそれのある付属物は撤去すること。 3）解体に際して周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は駆除等を行う。 4）電気設備のコンデンサ等は残留電荷の確認を行い，必要に応じて放電すること。 5）衛生器具等は，十分に洗浄を行い，汚水，汚物等による異臭の発生を防止する。 6）浄化槽，排水槽等の解体に係る汚水及び汚物等の残留物は，施設管理者が回収，洗浄等を行うため，時期等について協議すること
	② 解体順序 (3.3.1)	⊙ 解体仕様書による　・ 図示による
	③ 杭，基礎等 (3.9.1～3.9.2)	1）基礎の解体撤去は，騒音・振動等に配慮して分別解体し，砂利地業・割り石まで行なうこと。 2）杭の解体　・ 残置させる　⊙ 解体する（ ⊙ 引き抜き工法　・ 破砕方法　・　　） ① 杭を残置する場合は，杭の種別・杭径，杭の位置，杭頂部高さ，深さ等の記録を整備し，写真と共に監督員に提出する。 ② 残置杭の中，杭の破砕跡は，現場発生の良質土で埋め戻すこと。 ③ 残置する杭頭は，キャップ等で被いコンクリートを打設すること。
	④ 構内舗装等 (3.11.1)	1）アスファルトコンクリート及びコンクリート等の解体は本工事とし，分別解体する。 2）樹木等の伐採伐根及び移植　※ 有り（図示による）　・ 無し
	⑤ 地下埋設物 (3.12.1)	撤去する地下埋設物 ⊙ 浄化槽　⊙ 排水桝　⊙ ハンドホール　・ オイルタンク　・ 埋設廃棄物　・（　　） ※ 上記以外で設計図書に記載されていない地下埋設物の存在を確認した場合は，監督員に報告し，対応策を協議すること
	⑥ 埋設配管 (3.12.1)	⊙ 撤去　・ 存置 ※ 設計図書に記載されていない地下埋設物の存在を確認した場合は，監督員に報告し，対応策を協議すること。
	⑦ 整地・埋戻し盛土 (3.13.1)	1）解体撤去後の跡地は整地（整地厚１０cm程度）すること。（なお盛土する場合は図示による） ⊙ 持ち込み土（山砂の類）　・ 現場発生の良質土　・ 他現場の現場発生良質土 ・ 再生コンクリート砂　・ リサイクルプラントが販売する処理土 2）土砂流出の恐れのある部分は，土のうを等で処置すること。
	⑧ 解体後の囲障 (3.13.1)	・ 設置する　⊙ 設置しない　・ 工事中の仮囲いを存置 ※ 囲障を設置する場合の仕様等 種別　⊙ 木杭＋ロープ　・ 木杭＋番線張り　・（　　） 高さ　・ 図示　⊙ H= １．２m 設置範囲 ⊙ 図示　・ 敷地境界全域
	⑨ 建設発生土	・ 場外指示の場所に処分　⊙ 場外搬出適切処置　・ 場外指示の場所に敷き均し ・ 場内指示の場所に堆積 ・ 当該工事により発生する建設発生土は，次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。 搬出場所：＿＿＿＿＿＿＿＿の公の関与する埋立地 ※ 当該工事により発生する建設発生土は，「広島県ＨＰの建設発生土処分先一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出するものとする。また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土サイクルプラントは建設発生土受入れ地（一時たい積を含む）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用は変更しない。 なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，上記の仕様に拠り難い場合は，監督員と協議するものとする。
④ 特別管理産業廃棄物の処理	① 施工計画調査 (5.1.2)	1）特別管理産業廃棄物等とは，特別管理産業廃棄物及び特殊な建設副産物をいい，その種類は次による。これらについて，設計図書及び目視により，施工調査を実施し調査結果を調書に取りまとめ，監督員に提出する。 ⊙ 特別管理産業廃棄物　⊙ 廃石綿等　⊙ ＰＣＢを含む機器類　⊙ ＰＣＢ含有シーリング材　⊙ 廃油 ・ 廃酸，廃アルカリ ⊙ 特殊な建設副産物　⊙ フロン，ハロン等の特定物質　・ 放射性物質　・ 六ふっ化硫黄（SF6） ・ 特定化学物質等 2）発注者による調査（発注者調査）で判明している特別管理産業廃棄物等は次のとおりであり，適切に処理すること。また，下記については施工調査結果と共に調査結果（調書）に反映させること ⊙ 特別管理産業廃棄物　①廃石綿等 ※ 無し ⊙ 有り　（ 岩綿吸音板、ビニル床タイル、吹付パーミクライト ） ②ＰＣＢを含む機器類 ※ 無し ・ 有り　（　　） ③ＰＣＢ含有シーリング ※ 無し ・ 有り　（　　） ④廃油 ※ 無し ・ 有り　（ 熱源の残油（オイルタンク及び配管内含む）　） ⑤廃酸，廃アルカリ ※ 無し ・ 有り　（　　） ・ 特殊な建設副産物　①フロン等の特定物質 ※ 無し ・ 有り　（ ・ 空気調和設備の冷媒　・　　） ②放射性物質 ※ 無し ・ 有り　（　　） ③六ふっ化硫黄(SF6)

章	項	特　記　事　項
④ 特別管理産業廃棄物の処理		※ 無し ・ 有り　（　　） ④特定化学物質等 ※ 無し ・ 有り　（　　）
	② 特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	処分等の必要な特別管理産業廃棄物は，関係法令に従い適切に処分すること。又，施工調査によって，判明した箇所も，処分方法等を監督員と協議し，同様に処分すること。
	③ 廃石綿等 (5.4.1)	廃石綿等の処理は，解体仕様書６章「石綿含有建材の除去及び処理」による。
	4 ＰＣＢ含有機器類 (5.4.1)	事前調査対象機器は次による。 ・　・
	5 ＰＣＢ含有シーリング材 (5.4.1)	ＰＣＢ含有シーリング材の分析調査及び撤去は次による。 ・ 分析調査箇所数（ 計　箇所 ）分析調査箇所　※ 図示 ・ 撤去範囲は，次のとおりとし，ＰＣＢ含有シーリング材はＰＣＢが飛散しないように適当な容器に納め，適切な場所に保管し，調書を作成の上，合わせて監督員に引渡すこと。 （ ・ 図示による　・　　）
	6 ダイオキシン類 (5.4.1)	廃棄物焼却施設等の解体方法の指定 ※ 解体作業 ・ 第１管理区域（レベル１）　・ 第２管理区域（レベル２）　・ 第３管理区域（レベル３） ・（　　） ※ 廃棄物焼却炉からの排出物の処分 品目 ／ 最終処分場等の名称 ／ 所在地（距離） ・もえがら ・ばいじん
	⑦ 特殊な建設副産物の回収及び処分 (7.3.1)	回収及び処分の必要な特殊な建設副産物は，関係法令に従い適切に回収・処分すること。また，施工調査によって判明した箇所も，処分方法等を監督員と協議し，同様に処分すること。
⑤ 石綿含有建材の除去及び処理	① 施工調査 (6.1.3)	目視及び設計図書等により，あらかじめ事前に次の事項について施工調査を行い，調査結果をとりまとめて監督員に提出する。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別，厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ⊙ 石綿含有分析調査　（ ※ 不要　・ 必要（内容は下記による） ） ※ 分析方法　JIS　A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等　（ ※ 図示　　）分析必要箇所　（　　箇所）
	② 石綿粉じん濃度測定 (6.1.4)	石綿粉じん濃度測定を行い，記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は，公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ⊙ 処理作業室内（　階段室2点　） ⊙ 施工区画周辺又は敷地境界（　2点） (2) 処理作業中 ⊙ 処理作業室内（　2点） ※ セキュリティーゾーン入口（　1点）･･･空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口（　1点）･･･除じん装置の性能確認 ⊙ 施工区画周辺又は敷地境界（　4点） (3) 処理作業後（離隔シート撤去前） ※ 処理作業室内（　階段室2点　） ⊙ 施工区画周辺又は敷地境界（　2点）
	③ 除去工事共通事項 (6.2.1～6.2.8)	1）専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門工事業者については，工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2）作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了したものうちから，石綿作業主任者を選任し，管理させること ②排出事業者は，特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 （ただし，石綿含有成形板の処理工事を除く。） 3）除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者（以下「除去作業者」という。）は，石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。）に基づく特別の教育を受けた者とする。また，除去作業は，一般健康診断，石綿健康診断，じん肺健康診断を受診した者とし，肺機能に異常がない者とする。 4）施工計画書 施工に先立ち，処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し，監督員の承諾を受けること。 5）表示及び掲示 ①石綿作業主任者名と職務内容，関係者以外立入禁止，喫煙・飲食の禁止，石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性，取扱い上の注意事項，使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容，粉じん飛散抑制措置，ばく露防止措置等）」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6）保護具・保護衣 ①作業者は，作業内容に応じた呼吸用保護具，保護めがねを使用するとともに石綿が付着しにくく，付着した石綿が容易に除去できる作業衣又は保護衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため，保護具，保護衣を一式現場に備える。 7）官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届（労働基準監督署） ②「石綿則」第５条第１項の規定による作業届（労働基準監督署） ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出（都道府県知事） ④その他，各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出 （特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等） 8）適用基準等 ※「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」
	④ 石綿含有吹付け材の除去 (6.3.1～6.3.4)	1）処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 ※ 図面による　・ 下記による 石綿含有吹付け材の仕様 ／ 使用部位 ・ パーミクライト ／ ・ 階段 ・ ／ ・ ・ ／ ・ ・ ／ ・ 2）作業場の隔離，養生等（6.3.1） ①除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため，プラスティックシート等を用いて隔離する。 ②隔離した作業場内は，HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により，常時負圧を保つ ③隔離した作業場内への出入りにより石綿粉じんの二次汚染を防止するため，前室，洗浄室及び更衣室の３室で構成するセキュリティーゾーンを設置する。 ④更衣室には洗眼又はうがいの設備を設ける。ただし，現場内の他の場所にこれら設備を設ける

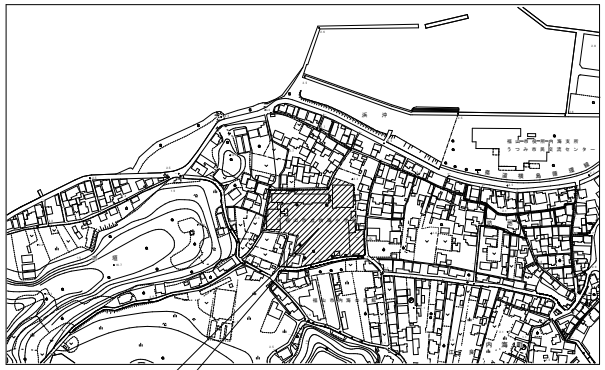
福山市建設局建築部営繕課	工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事	図面No
設計 2022年　9月	図面名称	解体工事特記仕様書（１）	縮尺
			D-001 A2版 71% A1版 50%

章	項	特記事項
⑤ 石綿含有建材の除去及び処理		場合はこの限りではない。 ⑤洗浄室にはエアシャワー設備又は温水シャワー設備を設ける。 ⑥除去物の処理（6.3.2） ※ 密封処理（二重袋梱包）　・ セメント固化 3）除去工法（6.3.2） ※ 図面による　⊙ 共通仕様書による 施工場所（　　） 4）除去した石綿等の保管，運搬，処分等（6.3.3） ①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間，現場に保管する場合は，一定の保管場所を定め，シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また，石綿等の保管場所であることの表示を行う。 当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は，下記の処分先を見込んでいる。 処分場所（　　）　運搬距離（　　） 受入条件（※平日受入　・　　） ※ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお，工事発注後に明らかになったやむをえない事情により，上記の指定によりがたい場合は，監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は，その都度，排出量と処理先を監督員に報告するとともに，産業廃棄物管理票（マニュフェスト）の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 5）確認及び後片付け（6.3.4） ①除去作業が終了後，高性能真空掃除機で床等の清掃を行う。 ②監督員の立会いのうえで，除去及び封じ込め等が十分行われたかを，目視により確認する。 ③養生用のプラスティックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために，シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ④壁面等の養生用のプラスティックシートの撤去は，負圧除じん装置を十分に吸引・ろ過した時点又は粉じん飛散抑制剤吹付け後，沈降した時点で行う。　なお，シートは，取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ，プラスティック袋に入れる。 ⑤養生を行っていない足場，仮設材を清掃した後に解体搬出する。 ⑥床養生用プラスティックシートは，粉じん付着面を内側にして折りたたみ，プラスティック袋に入れる。 ⑦養生用のプラスティックシート等の廃棄物は，４　２）⑥により処理等を行う。 ⑧後片付け終了後は，高性能真空掃除機で床等の清掃をする。
	5 石綿含有保温材等の除去（6.4.1～6.4.5）	1）処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による　※ 図面による 2）養生等（6.4.2） ①石綿含有保温材等の除去に伴い，石綿の作業場から外部への飛散防止のため，養生シート等を用いて囲う。 ②作業場の隔離　（ ・ 行う　※ 行わない ） 石綿含有保温材等の除去にあたり，掻き落し・破砕・切断による方法の場合は，作業場の隔離を行うこと。 3）作業場の隔離を行う場合は，４　２）を適用する。 除去工法（6.4.3） ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし　・ 石綿含有吹き付け材の除去による 除去物の処理　（ ※ 密封処理（二重袋梱包）　・ セメント固化　） 4）除去した石綿等の保管，運搬，処分等（6.4.4） ４　４）　除去した石綿等の保管，運搬，処分等による。 5）確認及び後片付け（6.4.5） 除去作業が終了後，高性能真空掃除機で床等を清掃し，監督員立会いのうえで，除去が十分行われていることを目視により確認する。
	⑥ 石綿含有成形板の除去（6.5.1～6.5.5）	1）処理を行う石綿含有成形板の仕様及び部位 ・ 下記による　※ 図面による 2）養生等（6.5.1） 石綿含有成形板の除去に伴い，石綿の作業場から外部への飛散防止のため，養生シート等を用いて囲う。 3）除去工法（6.5.3） ①原則，散水等により湿潤化した後に手ばらしで行い，やむを得ず破壊しなければならない場合は十分に湿潤化した状態で作業を行う。 ②除去した石綿含有成形板の集積及び積込みに当たっては，高所より落下しないことの他，粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板は，湿潤化のうえ，丈夫なプラスティック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4）除去した石綿等の保管，運搬，処分等（6.5.3） ①処分は原型のままとし，処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設） なお，工事発注後に明らかになったやむをえない事情により，上記の指定によりがたい場合は，監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板を現場に保管する場合は，一定の保管場所を定め，他の廃棄物とを分別して保管するものとし，シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また，保管場所には，石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板の運搬に当たっては，運搬車輌の荷台全体をシート等で覆い，飛散防止に努める。 5）確認及び後片付け（6.5.5） 除去作業が終了後，高性能真空掃除機で床等を清掃し，監督員立会いのうえで，除去が十分行われていることを目視により確認する。
	7 石綿含有仕上塗材等（下地調整塗材含む）の除去	1）処理を行う石綿含有仕上塗材等（下地調整塗材含む）の仕様及び部位 ・ 下記による　※ 図面による 2）養生等 石綿仕上塗材等（下地調整塗材も含む）の除去に伴い，石綿の作業場から外部への飛散防止のため養生シート等を用いて囲う。 3）除去工法　（施工場所 ： ※ 図示　・　　） 「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」に記載の粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法により行う。 4）除去した石綿等の保管，運搬，処分等 ４　４）　除去した石綿等の保管，運搬，処分等による。 なお，処分先については，監督員の指示による。 ・ 埋立処分 （ ・ 安定型最終処分場　・ 管理型最終処分場 ） ・ 中間処理 （ 溶融施設又は無害化処理施設　）

章	項	特記事項
⑤		なお，工事発注後に明らかになったやむをえない事情により，上記の指定によりがたい場合は，監督員と協議すること。 5）確認及び後片付け 除去作業が終了後，高性能真空掃除機で床等を清掃し，監督員立会いのうえで，除去が十分行われていることを目視により確認する。

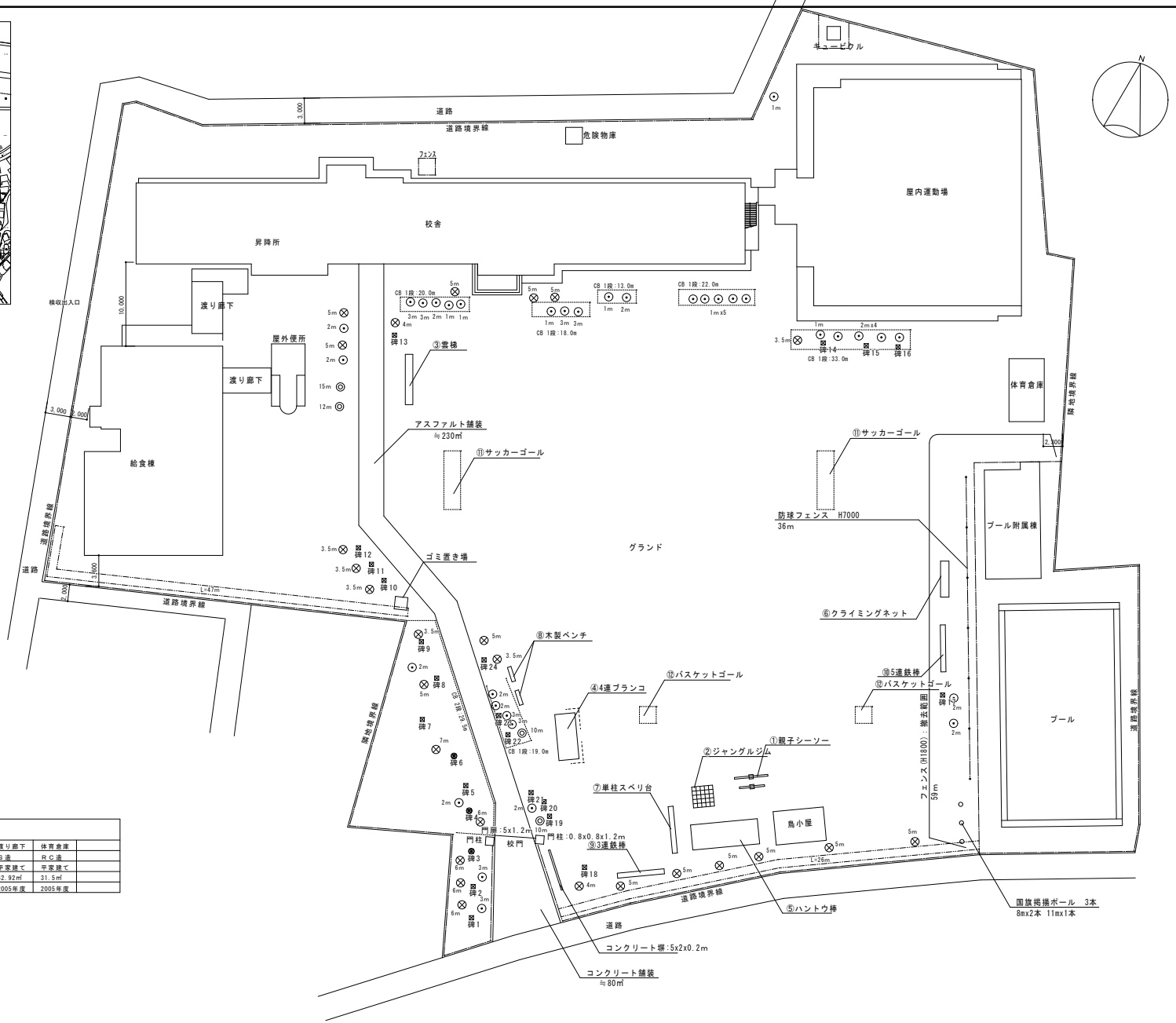
章	項	特記事項

章	項	特記事項



付 近 見 取 図

工事場所：福山市内海町地内



配置図 1:250

建物概要	旧福山市立内海小学校								
施設名									
棟名	校舎棟①-1	校舎棟①-2	屋内運動場	ﾌﾟｰﾙ・付属棟	屋外便所	給食棟	渡り廊下	体育倉庫	
構造	ＲＣ造	ＲＣ造	Ｓ造	ＣＢ造	ＲＣ造	ＲＣ造	Ｓ造	ＲＣ造	
階数	３階建て	３階建て	２階建て	平家建て	平家建て	平家建て	平家建て	平家建て	
延べ面積	1000㎡	1064㎡	688.5㎡	89.2㎡	18.21㎡	376.44㎡	62.92㎡	31.5㎡	
建設年度	1974年度	1975年度	1982年度	1975年度	1999年度	2005年度	2005年度	2005年度	

□解体範囲
・敷地内建築物(工作物含む)は全て撤去。
・敷地周囲フェンスは残置。
・解体撤去後整地。
・記念碑は監督員の指示する場所へ保管。(モニュメントは処分)
・植栽は全て撤去。

縮尺率	A-1：100% A-2：71% A-3：50%

訂正	月	日	

原 設 計 株 式 会 社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
		—	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第 号		作図	変更年月		図面名称 付近見取・配置図 / 縮尺 1:250	図面番号 D-003

外部仕上表

屋根	均しモルタル下地　セル防水ＳＤ工法	外部倉庫	アルミ サッシ見込60・ 70　スチールドア見込86		
外壁	モルタル刷毛引　リシン吹付	樋	硬質塩化ビニール Φ100　保護パイプ Φ125　L=1800		
柱	モルタル刷毛引　リシン吹付	犬走り	モルタルコテ押え		
梁	モルタル刷毛引　リシン吹付	手洗所	人造石研出し　モルタルコテ押え		
腰壁	モルタル刷毛引	足洗場	モルタルコテ押え		
玄関庇	前面小口タイル貼　裏カラー鋼板スパンドール、上モルタル防水コテ押え	玄関ポーチ	床: クリンカータイル貼、磁器ノンスリップタイル、ガラスブロック		
庇	モルタル刷毛引　リシン吹付	昇降場ポーチ	床: クリンカータイル貼、磁器ノンスリップタイル、ガラスブロック		
外部階段	床: モルタルコテ押え　　壁: モルタル刷毛引　リシン吹付	屋上手摺	朝日フェンス　H=2000		
外部倉庫	モルタル刷毛引　リシン吹付				

内部仕上表

階	室名	基準FLからの床高	床 下地	床 仕上	巾木 高さ	巾木 仕上	壁 下地	壁 仕上	廻り縁	天井 下地	天井 仕上	天井高さ	カーテンBOX			備考	室名	階
1	玄関	±	モルタル	クリンカータイル貼	H=100	クリンカータイル貼	モルタル	モルタルコテ押え、ガラスブロック積	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,650	－			靴置マット　下駄箱　傘立	玄関	1
	ホール		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	－				ホール	
	職員室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	100角タイル貼H=1000、モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	○			行事黒板　掃除具入　洗面器	職員室	
	事務室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	－				事務室	
	印刷室　更衣室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	－				印刷室　更衣室	
	放送室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	○				放送室	
	給湯室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－			ステンレス流し台　吊戸棚	給湯室	
	校長室　応接室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	ラワン	モルタル	100角タイル貼H=1000、ﾓﾙﾀﾙ下地ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（木目）、ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔt=4.0貼下地ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼（木目）	木15×20	LGS	ロックウール吸音板貼	2,550	○			行事黒板　テレビ台　洗面器	校長室　応接室	
	保健室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	○			行事黒板　掃除具入　テレビ台　洗面器	保健室	
	湯沸室（旧特学教室）		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	ビニール幅木（R付）	モルタル LGB65 木軸組	無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0、磁器質100角タイル貼	塩ビ	LGS	化粧石膏ボードt=9.5貼	2,600	○			流し台W200、コンロ台W600、吊戸棚W=1200　天井点検口	湯沸室（旧特学教室）	
	脱衣室（旧特学教室）		モルタル	ビニール床シート張り　t=2.5	H=100	ビニール幅木（R付）	LGB65	無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0	塩ビ	LGS	無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=6.0	2,600	－			スノコ板、脱衣棚h=25　2段	脱衣室（旧特学教室）	
	ｼｬﾜｰ室（旧特学教室）		モルタル	－	－	－	LGB65	－	－	－	－	－	－			シャワーユニット	ｼｬﾜｰ室（旧特学教室）	
	休養室（旧特学教室）		モルタル	木床組+型枠用合板t=12.0+スタイロ畳t=55敷き　踏込: 化粧複合フローリング　t=15	H=65	タタミ寄せ	モルタル 木軸組	ビニルクロス貼 無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0+ビニルクロス貼	木40×40	LGS	化粧石膏ボードt=9.5（杉板プリント）	2,650	－				休養室（旧特学教室）	
	押　入（旧特学教室）		モルタル	木床組+ラワン合板t=9.0（中段・枕棧共）		雑巾掛り	木軸組 LGB65	ラワン合板t=5.5	木40×40	LGS	ラワン合板t=5.5	2,650	－			中段、天袋、床下点検口、棚h=25　1段	押　入（旧特学教室）	
	廊下（旧特学教室前）		モルタル	ビニールタイル貼　t=2.0　（W=600）	H=100	ビニール幅木（R付）	LGB65	無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0　既存壁: モルタル金コテ押え	塩ビ	LGS	化粧石膏ボードt=9.5貼	2,500	－				廊下（旧特学教室前）	
	会議室（旧特学教室） 男女 更衣室（旧特学教室）		モルタル	ビニールタイル貼　t=2.0	H=100	ビニール幅木（R付）	LGB65 モルタル モルタル	無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0 無石綿セメントケイ酸カルシュウム板t=8.0 柱型: 腰壁: モルタル金コテ押え	塩ビ	LGS	化粧石膏ボードt=9.5貼	2,440	－				会議室（旧特学教室） 更衣室（旧特学教室）	
	理科教室		－	カラクリートコテ押え	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			上げ下げ黒板　掲示板　観察台　流し台　テレビ台　スクリーンBOX	理科教室	
	理科準備室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,550	○			床下薬品庫　掃除具入	理科準備室	
	昇降場		モルタル	クリンカータイル貼	H=150	クリンカータイル貼	モルタル	モルタルコテ押え、ガラスブロック積	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,585	－			靴置マット　下駄箱　傘立	昇降場	
	廊下		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－				廊下	
	配膳場		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			中棚	配膳場	
	男女便所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－				男女便所	
	便所手洗所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－			流し台　掃除流し台　カガミ	便所手洗所	
	階段室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	－	モルタル	バーミクライト吹付の上、ケイカル板t=6+EP塗	－	－				階段室	
	廊下手洗所		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			流し台　掃除流し台	廊下手洗所	
	倉庫（内部）		－	コンクリートコテ押え	－	－		ベニヤパネル打放し	木15×20	LGS	ベニヤパネル打放し	－	－				倉庫（内部）	
2	普通教室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			昇降黒板　行事黒板　平面黒板　掲示板　ロッカー　掃除具入　スクリーンBOX　図掛け　テレビ台	普通教室	2
	図書室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			昇降黒板　行事黒板　平面黒板　掲示板　ロッカー　掃除具入　スクリーンBOX　図掛け　テレビ台	図書室	
	パソコン教室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			昇降黒板　行事黒板　平面黒板　掲示板　ロッカー　掃除具入　スクリーンBOX　図掛け　テレビ台	パソコン教室	
	家庭科教室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			上げ下げ黒板　掲示板　カガミ　平面黒板　スクリーンBOX　テレビ台	家庭科教室	
	家庭科準備室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,600	○			掃除具入	家庭科準備室	
	資料室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,600	○				資料室	
	廊下		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－				廊下	
	男女便所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－				男女便所	
	便所手洗所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－			流し台　掃除流し台　カガミ	便所手洗所	
	配膳場		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			中棚	配膳場	
	廊下手洗所		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			流し台　掃除流し台	廊下手洗所	
	階段室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	－	モルタル	バーミクライト吹付	－	－			掲示板	階段室	
3	普通教室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			昇降黒板　行事黒板　平面黒板　掲示板　ロッカー　掃除具入　スクリーンBOX　図掛け　テレビ台	普通教室	3
	音楽教室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	ラワン	モルタル	有孔ジナベニヤt=6.0目地貼	木15×20	LGS	ロックウール吸音貼	2,800～3,050	○			引分黒板　掲示板	音楽教室	
	音楽準備室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,600	○			掃除具入	音楽準備室	
	資料室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,600	○				資料室	
	廊下		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－				廊下	
	男女便所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－				男女便所	
	便所手洗所		モルタル	磁器モザイクタイル貼	H=100	磁器モザイクタイル貼	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	石綿大平板t=5.0目地貼	2,500	－			流し台　掃除流し台　カガミ	便所手洗所	
	配膳場		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			中棚	配膳場	
	廊下手洗所		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,435	－			流し台　掃除流し台	廊下手洗所	
	階段室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	－	モルタル	バーミクライト吹付	－	－			掲示板	階段室	
	むかし館（旧図書室）		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え　ラワン	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	3,000	○			昇降黒板　行事黒板　平面黒板　掲示板　掃除具入　スクリーンBOX　テレビ台	むかし館（旧図書室）	
	パソコン教室 （旧普通教室）		モルタル	ＯＡ用フロアベースH =50床下地 ＯＡ用タイルカーペット スロープ（SUS製上框付）　2ヵ所	H=100	ビニール幅木	モルタル	モルタルコテ押え、ラワンベニヤt=4.0貼 一部: モルタル金こて押えt=20の上ＥＰ塗	木15×20	LGS	ジプトーンt=9.0貼	2,950	木製ブラインドボックス				パソコン教室 （旧普通教室）	
PH	階段室		モルタル	ビニールタイル貼t=2.0	H=100	モルタルコテ押え	モルタル	モルタルコテ押え	－	モルタル	バーミクライト吹付	－	－				階段室	PH
	物入		モルタル	モルタルコテ押え	－	－	モルタル	モルタルコテ押え	木15×20	LGS	モルタル仕上げ	－	－				物入	

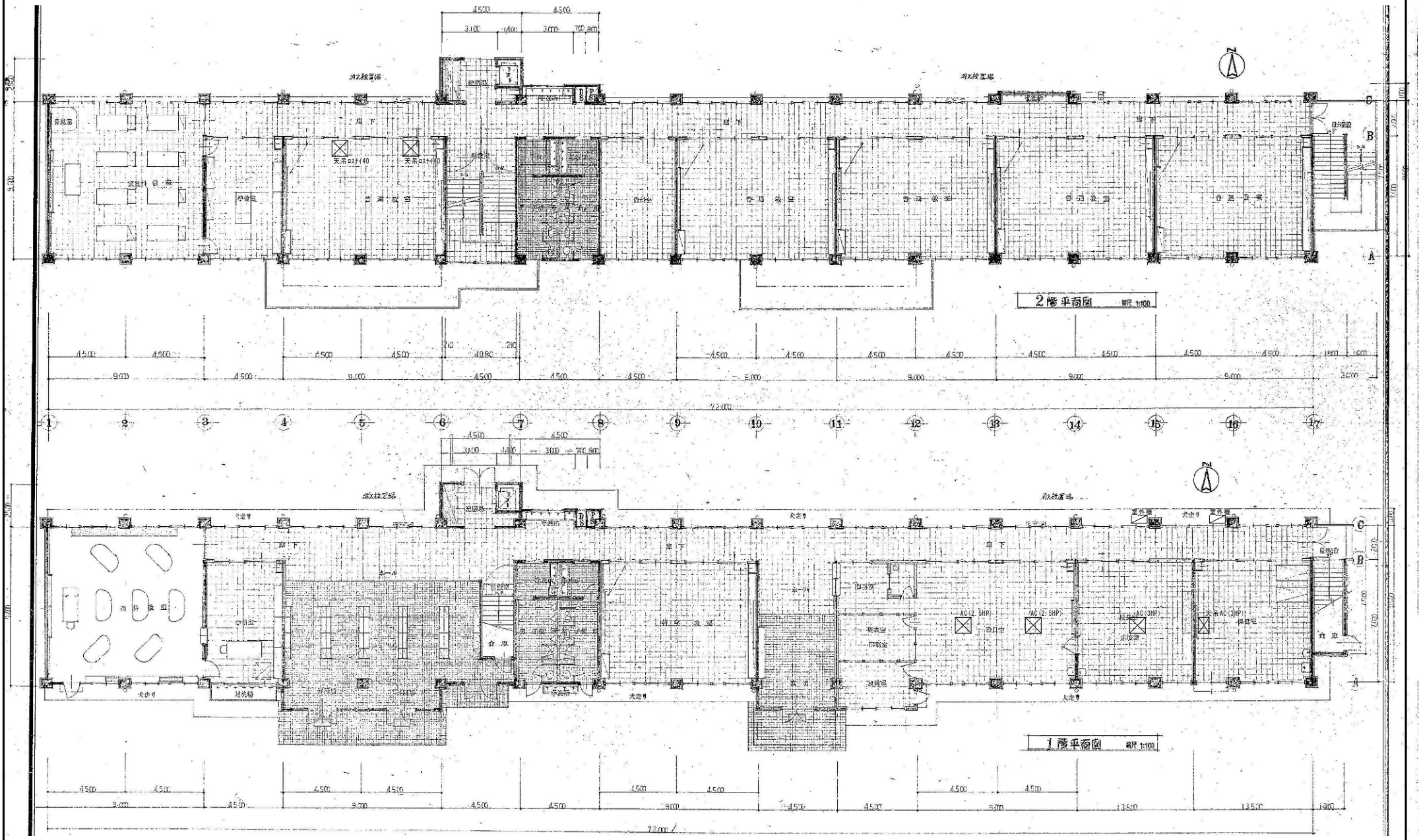
訂正	月　日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　TEL 084-922-3213　FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409 号　一級建築士 第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当	設計年月
設備設計一級建築士 第　号	－	2022年　3月
	作図	変更年月

福山市建設局建築部営繕課

工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称：校舎棟　仕上表	縮尺：No scale　図面番号：D-004

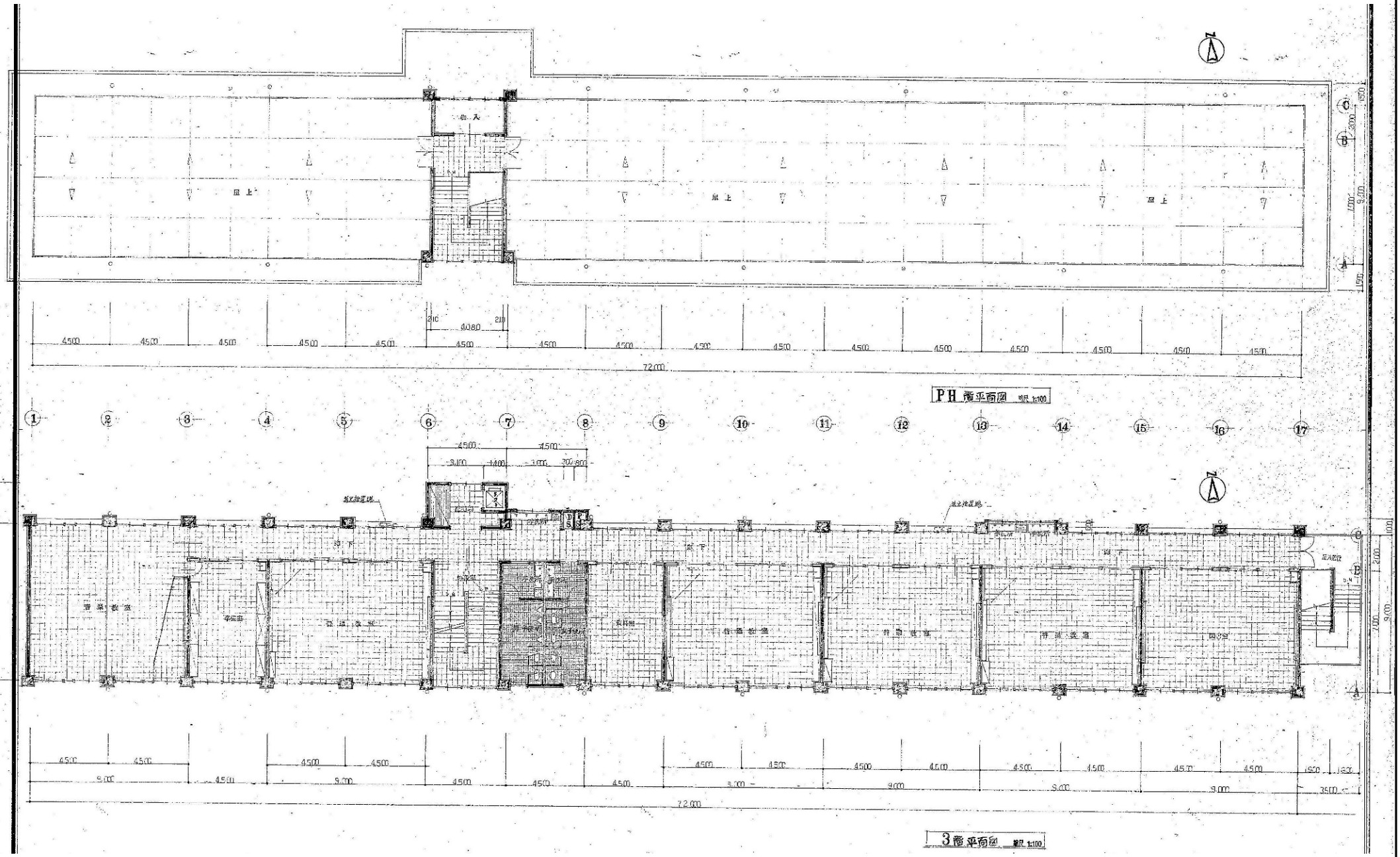


縮尺率	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理業士 第 号	担当	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
建築設計・監理業士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 平面図1	縮尺 1:30 1:100 / 図面番号 D-005



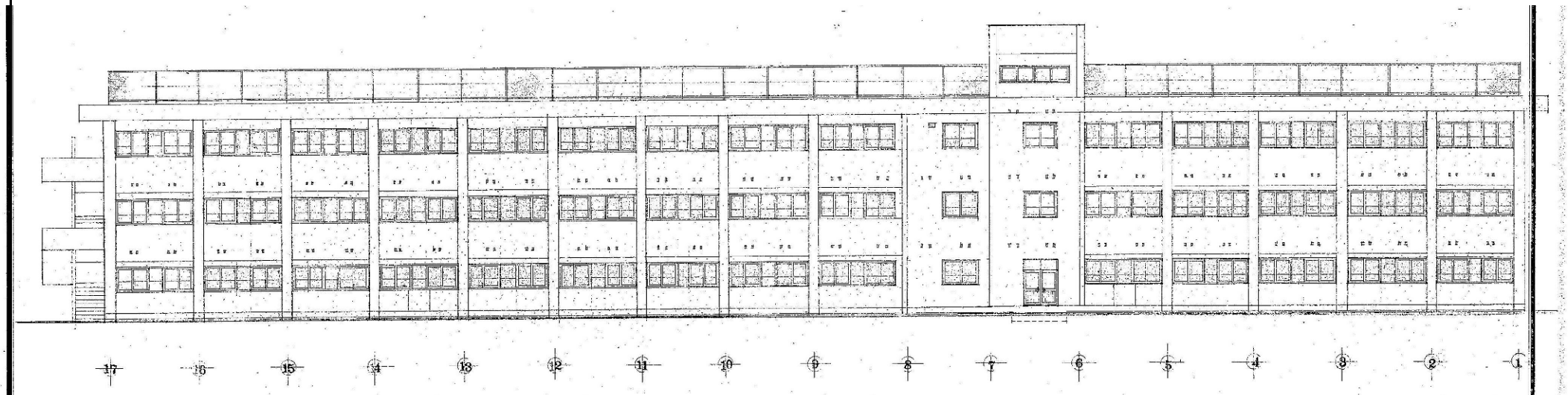
訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

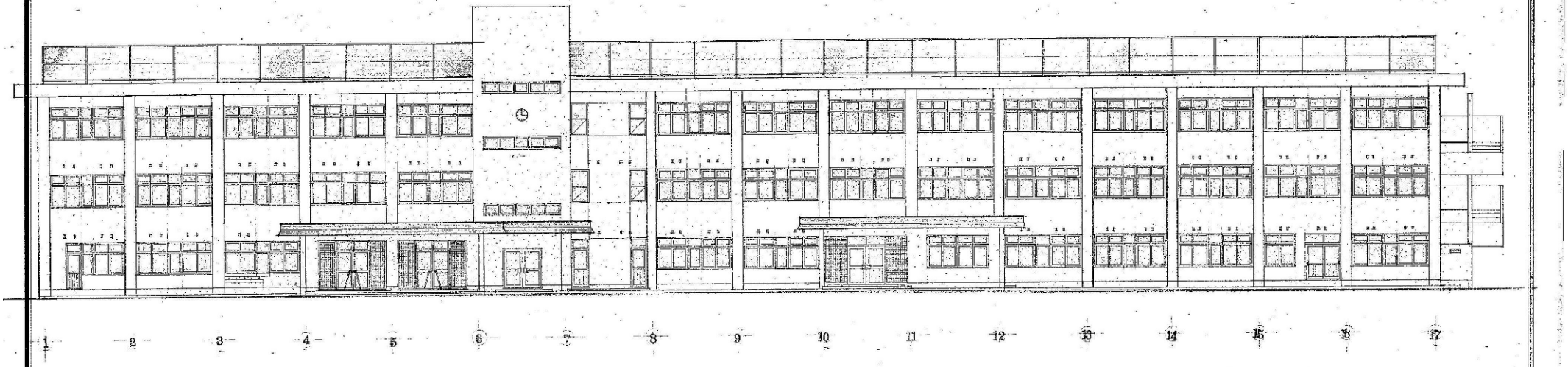
構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
	—	2022年 9月	
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	

工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称 校舎棟 平面図2	縮尺 1:100
	図面番号 D-006

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



北側姿図　縮尺 1:100



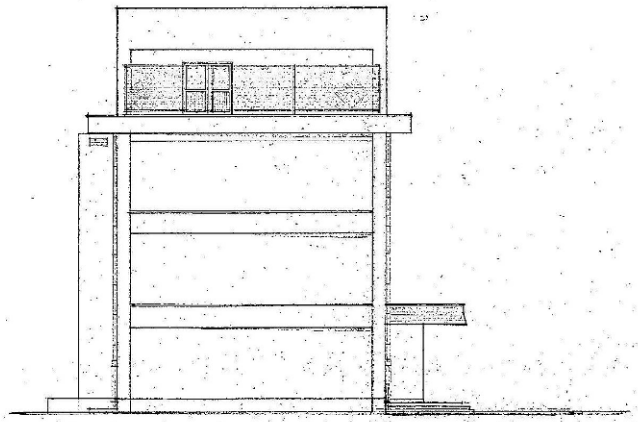
南側姿図　縮尺 1:100

縮尺率	A-1：100% A-2：71% A-3：50%

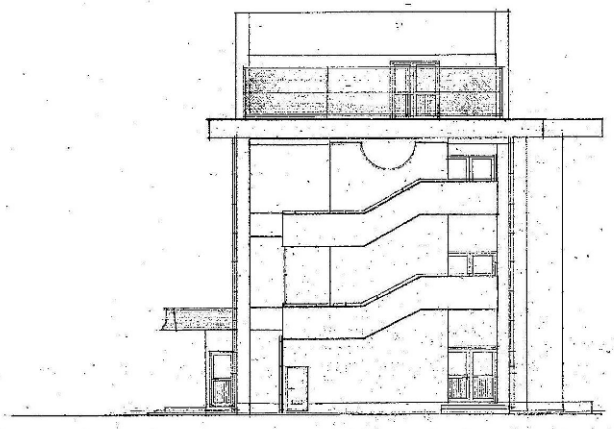
訂正	月	日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

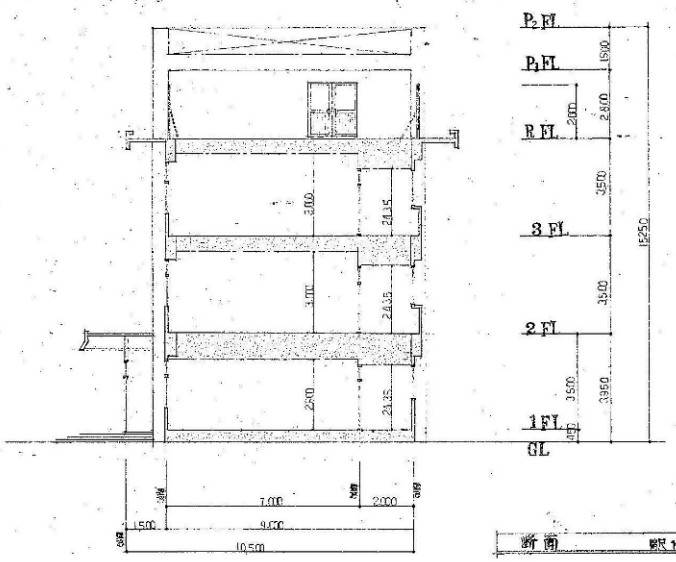
構造設計一級建築士 第　号		担当 —	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事		区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第　号		作図	変更年月		図面名称 校舎棟　立面図1	縮尺 1:100	図面番号 D-007



西側姿図　縮尺 1:100



東側姿図　縮尺 1:100



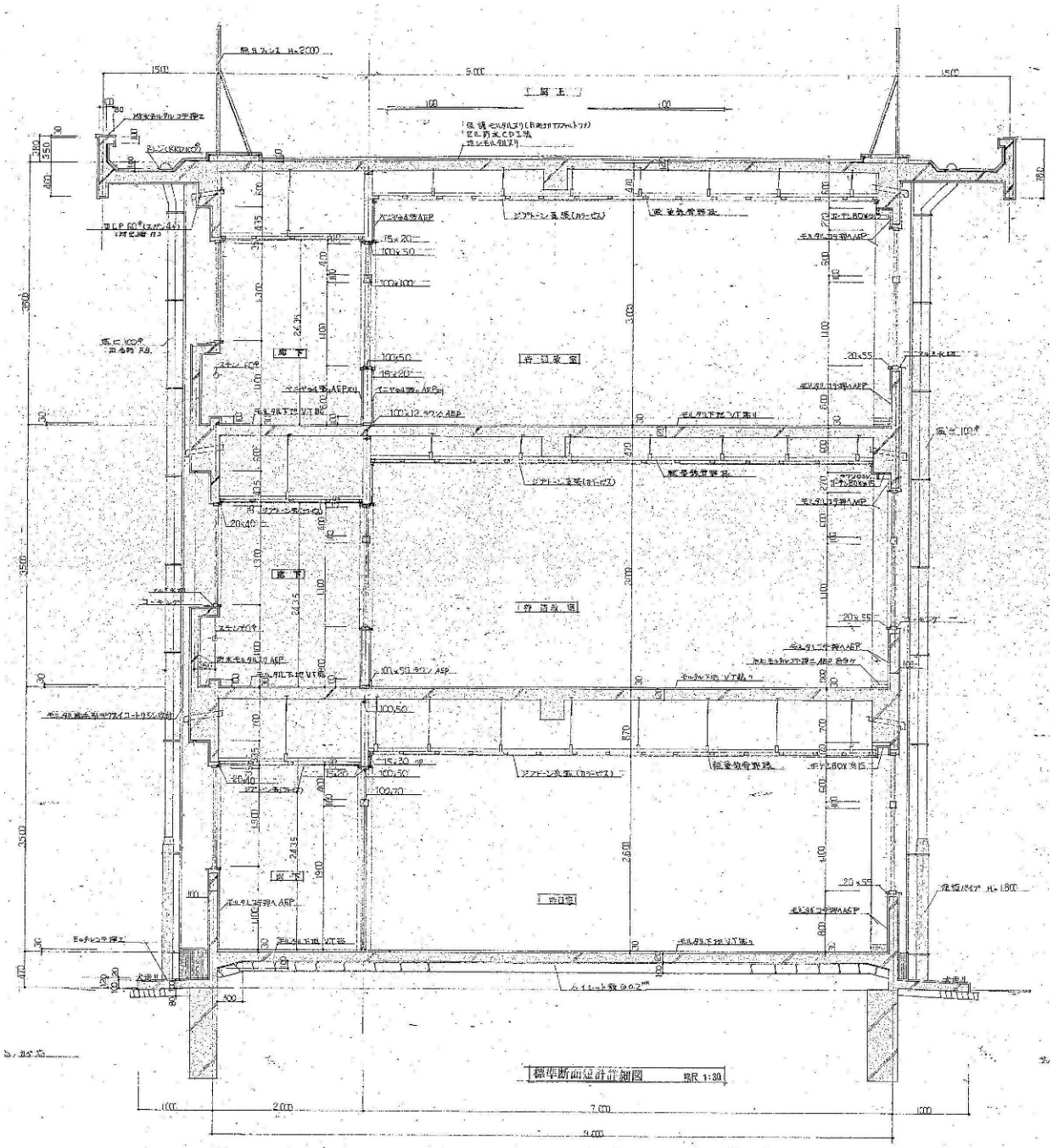
断面　縮尺 1:100

縮尺率	
	A-1 : 100%
	A-2 : 71%
	A-3 : 50%

訂正	月	日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
TEL 084-922-3213　一級建築士
FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第　号	–	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士	作図	変更年月		図面名称 / 縮尺	図面番号
第　号				校舎棟　立面図2 / 1:100	D-008

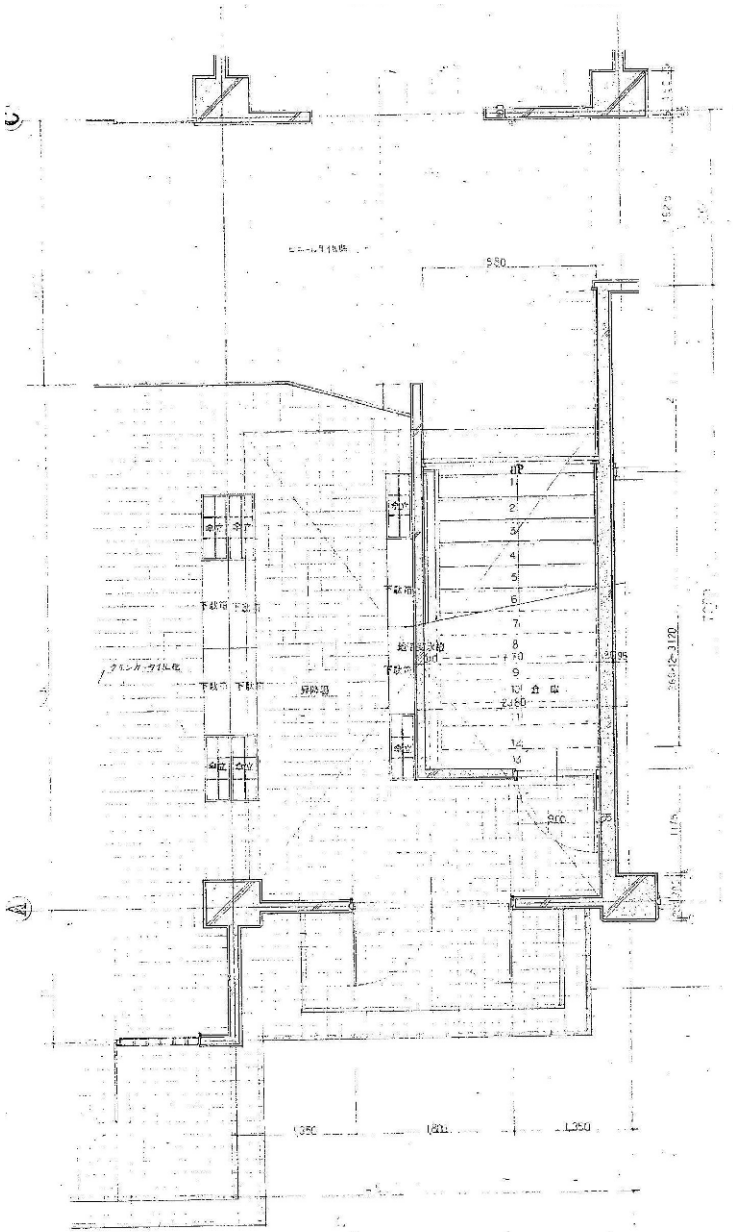


縮尺率	A-1 : 100%
	A-2 : 71%
	A-3 : 50%

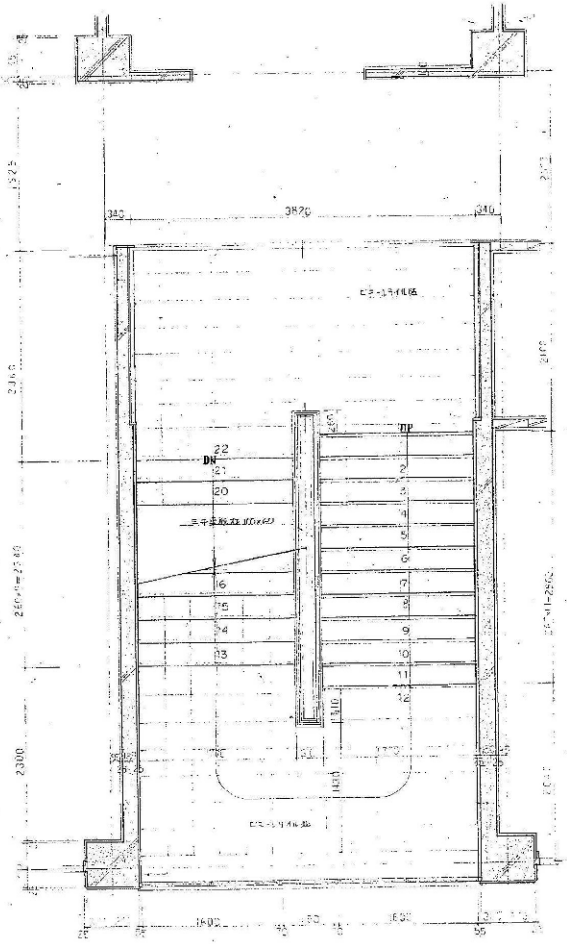
訂正	月	日

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

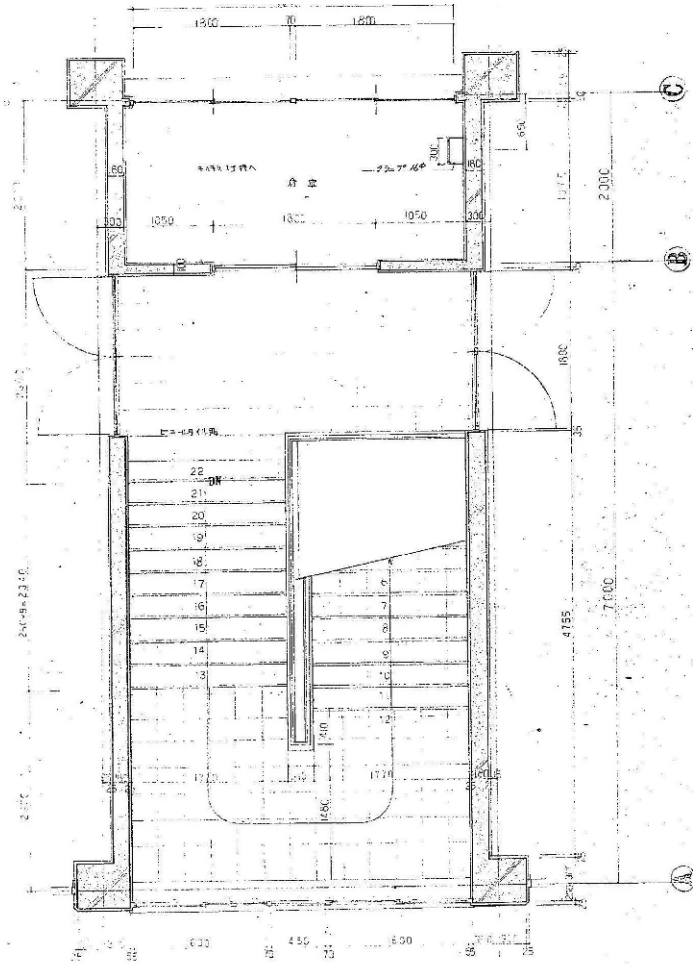
構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 断面詳細図 / 縮尺 1:30	図面番号 D-009



1階内部階段　縮尺 1:30



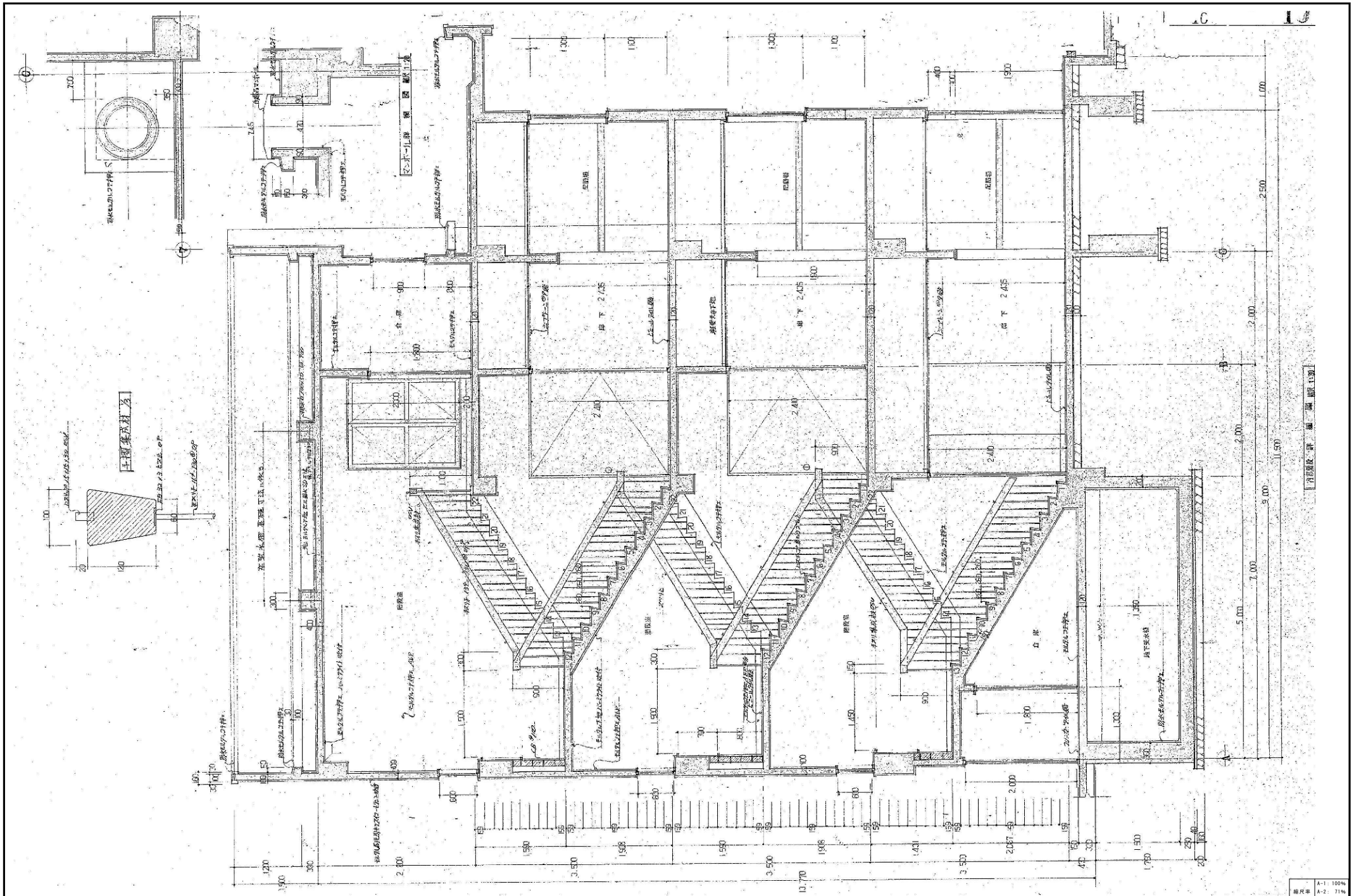
2・3階内部階段　縮尺 1:30

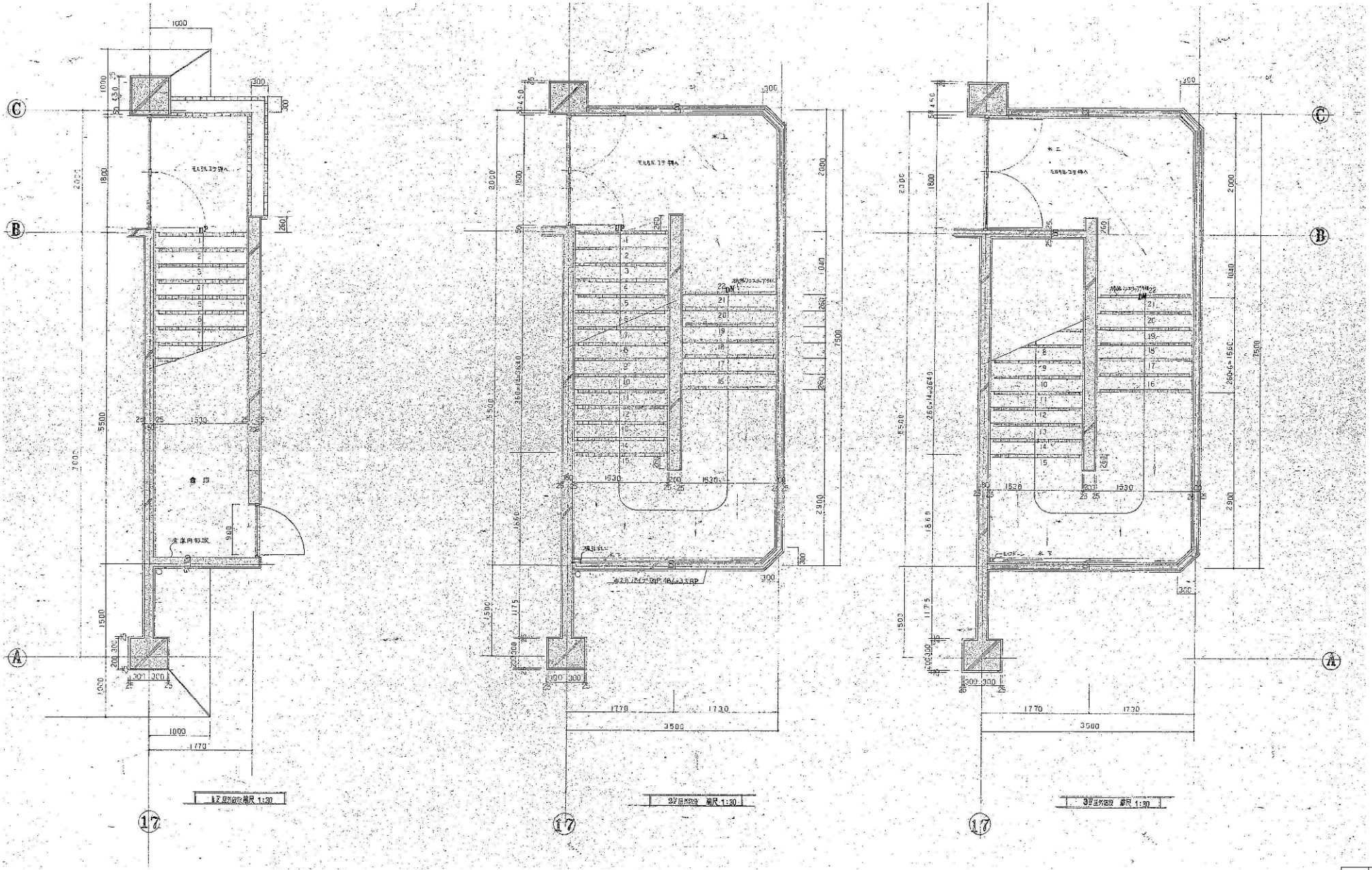


R階内部階段　縮尺 1:30

訂正	月	日	原　設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213　一級建築士 FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行	構造設計一級建築士 第　号 設備設計一級建築士 第　号	担当 － 作図	設計年月 2022年 9月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区　分 解体(D)
								図面名称 校舎棟　階段詳細図1	縮　尺 1:30
									図面番号 D-010

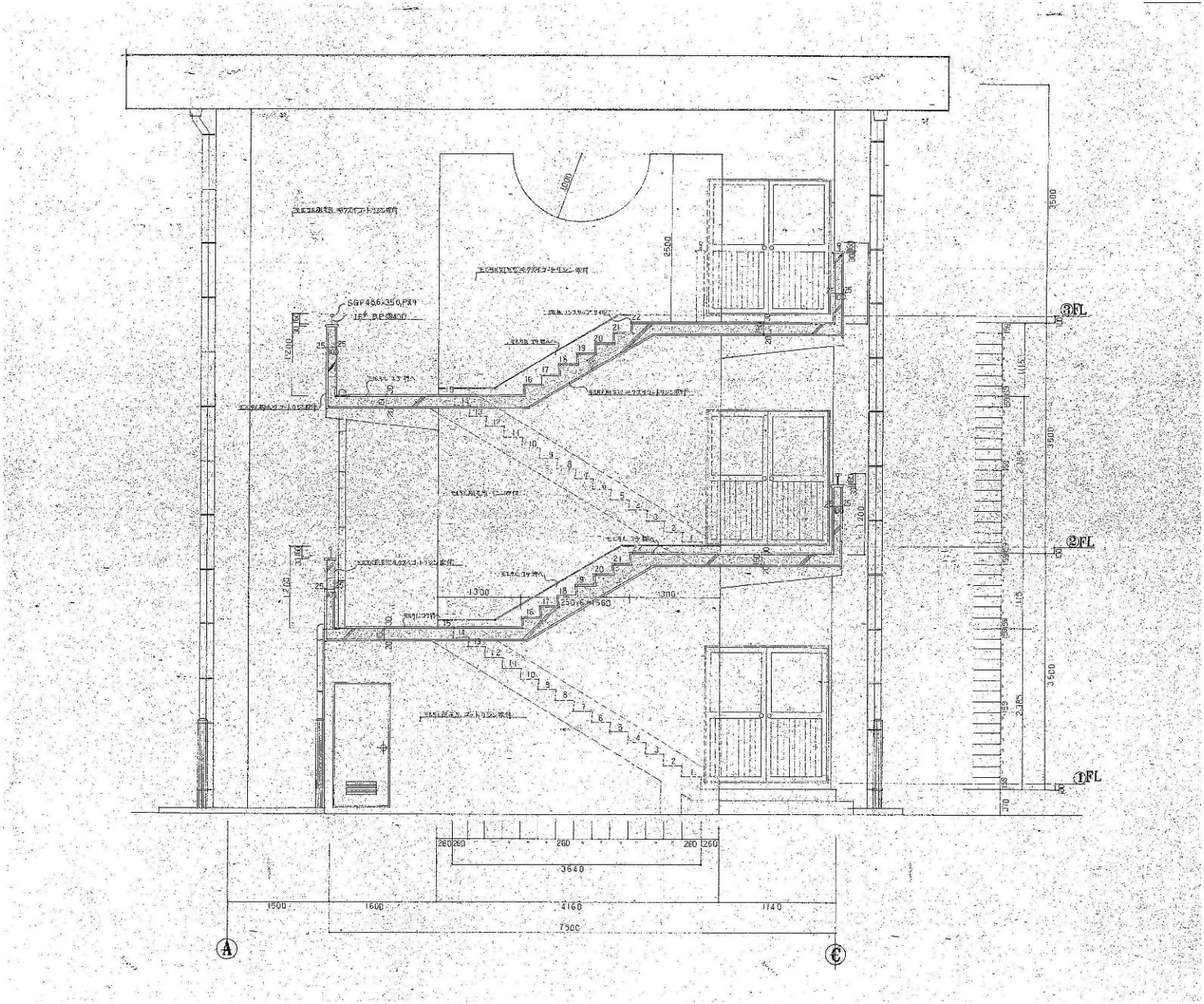
縮尺率　A-1: 100%　A-2: 71%　A-3: 50%


2階廊下 1:30
1階廊下 1:30
2階廊下 1:30
1階廊下 1:30
2階廊下 1:30
1階廊下 1:30



訂正	月	日	原 設計株式会社	構造設計一級建築士 第 号		担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行		作図	変更年月		図面名称 校舎棟 階段詳細図3	縮尺 1:30 / 図面番号 D-012
				設備設計一級建築士 第 号						

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

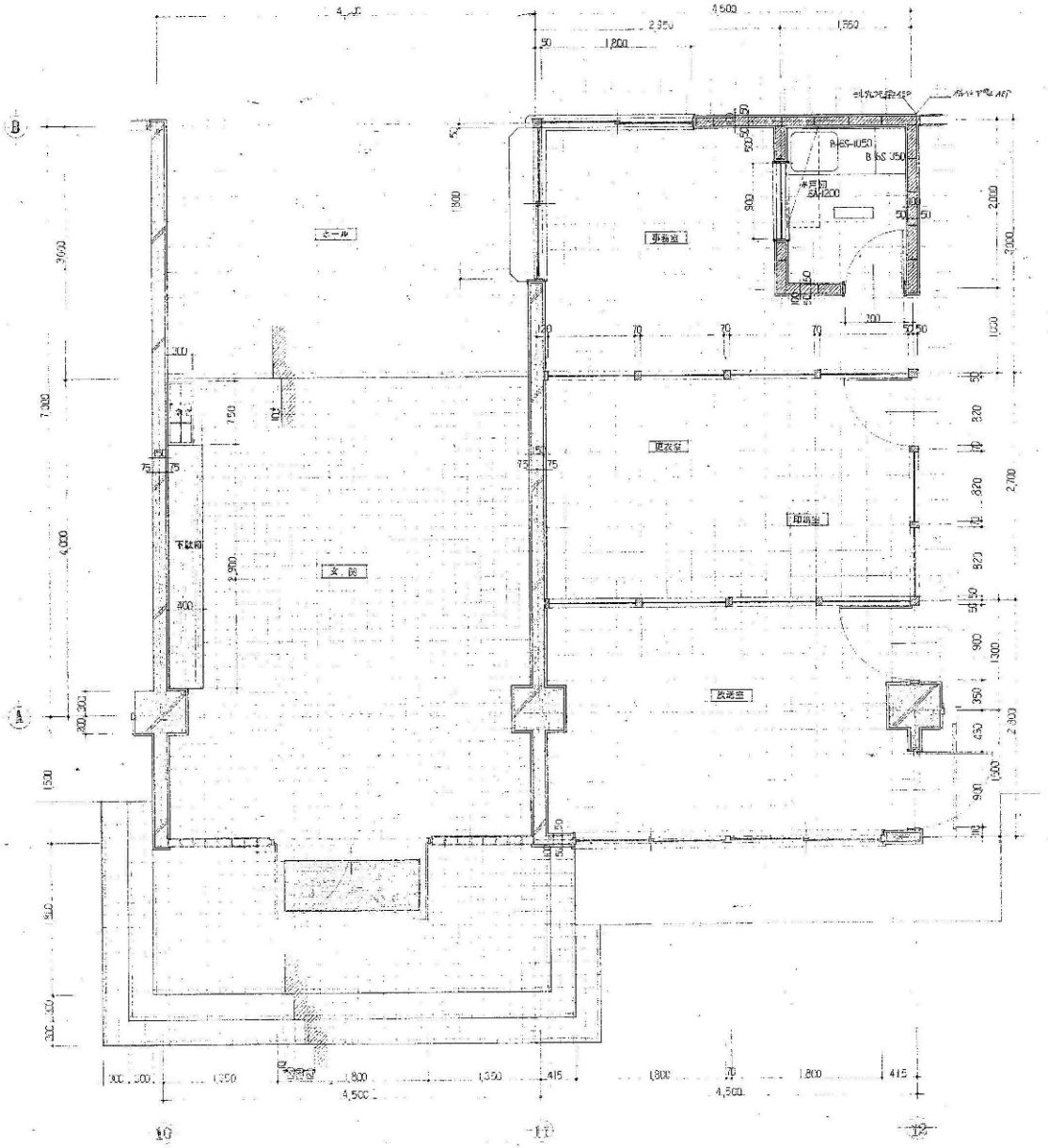


訂正	月	日	

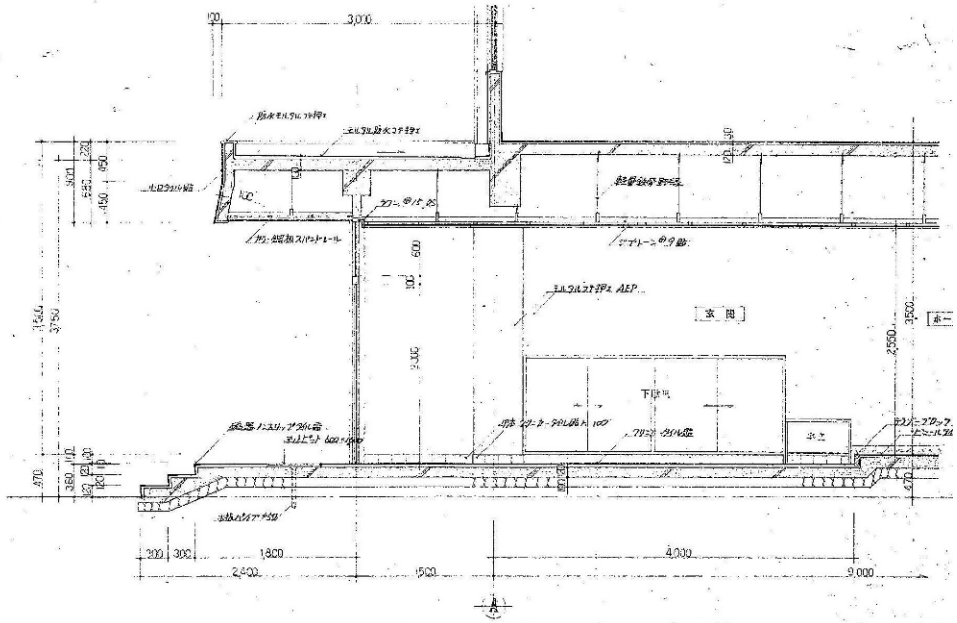
原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	–	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士	作図	変更年月		図面名称 / 縮尺	図面番号
第 号				校舎棟 階段詳細図4 / 1:30	D-013

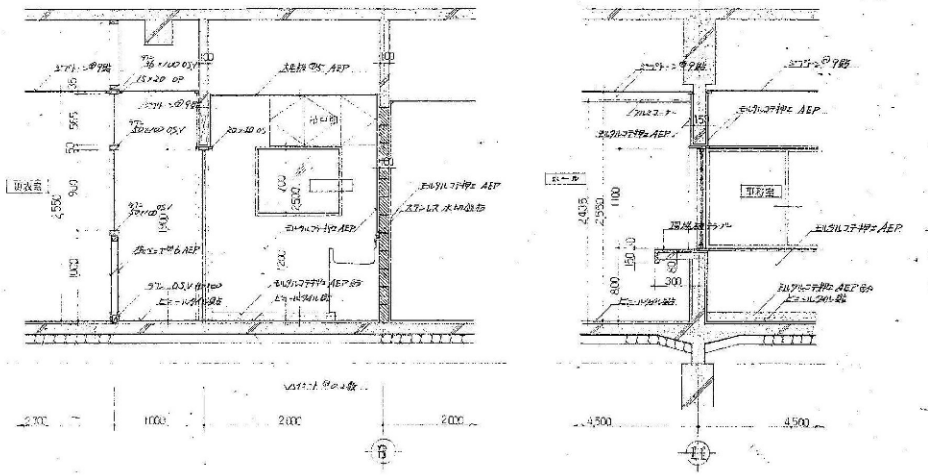
縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



玄関 ホール 事務室 職員室 更衣室 教室 平面詳細図 縮尺 1:30



平面図 縮尺 1:30



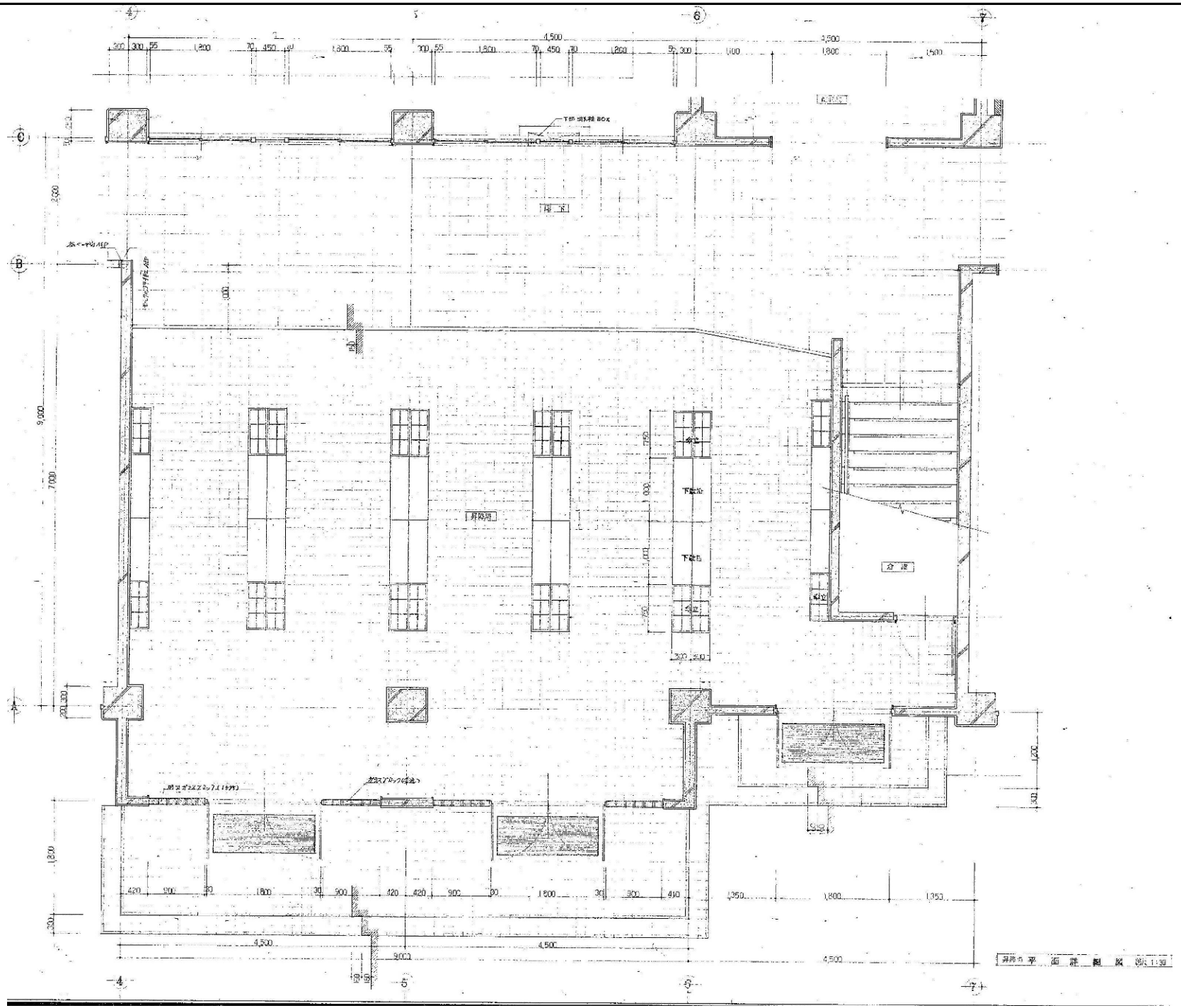
断面図 縮尺 1:30

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理者 第 号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
	–	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
監理者 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 平面詳細図1 / 縮尺 1:30	図面番号 D-014

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



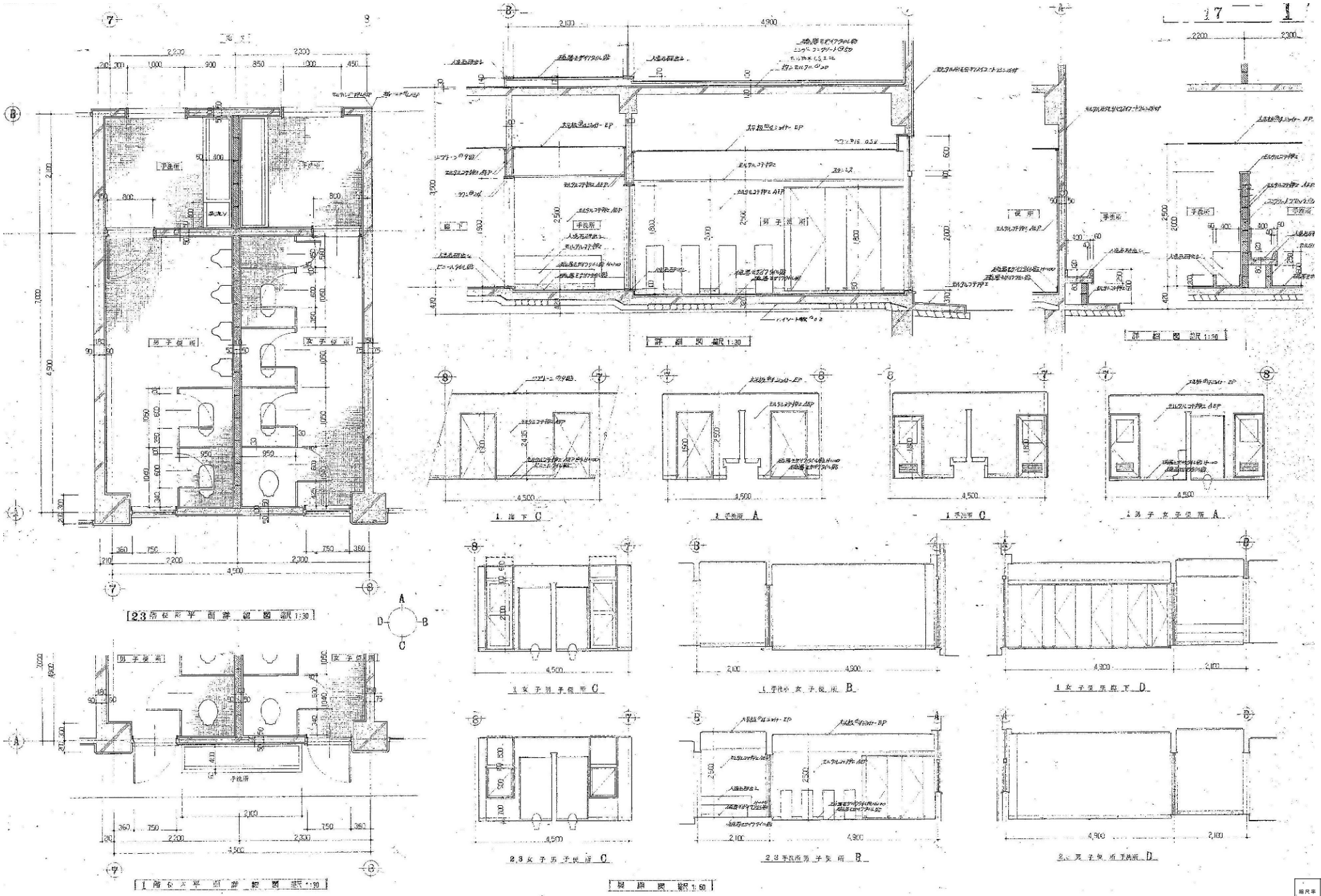
訂正	月	日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第　号	作図	変更年月	

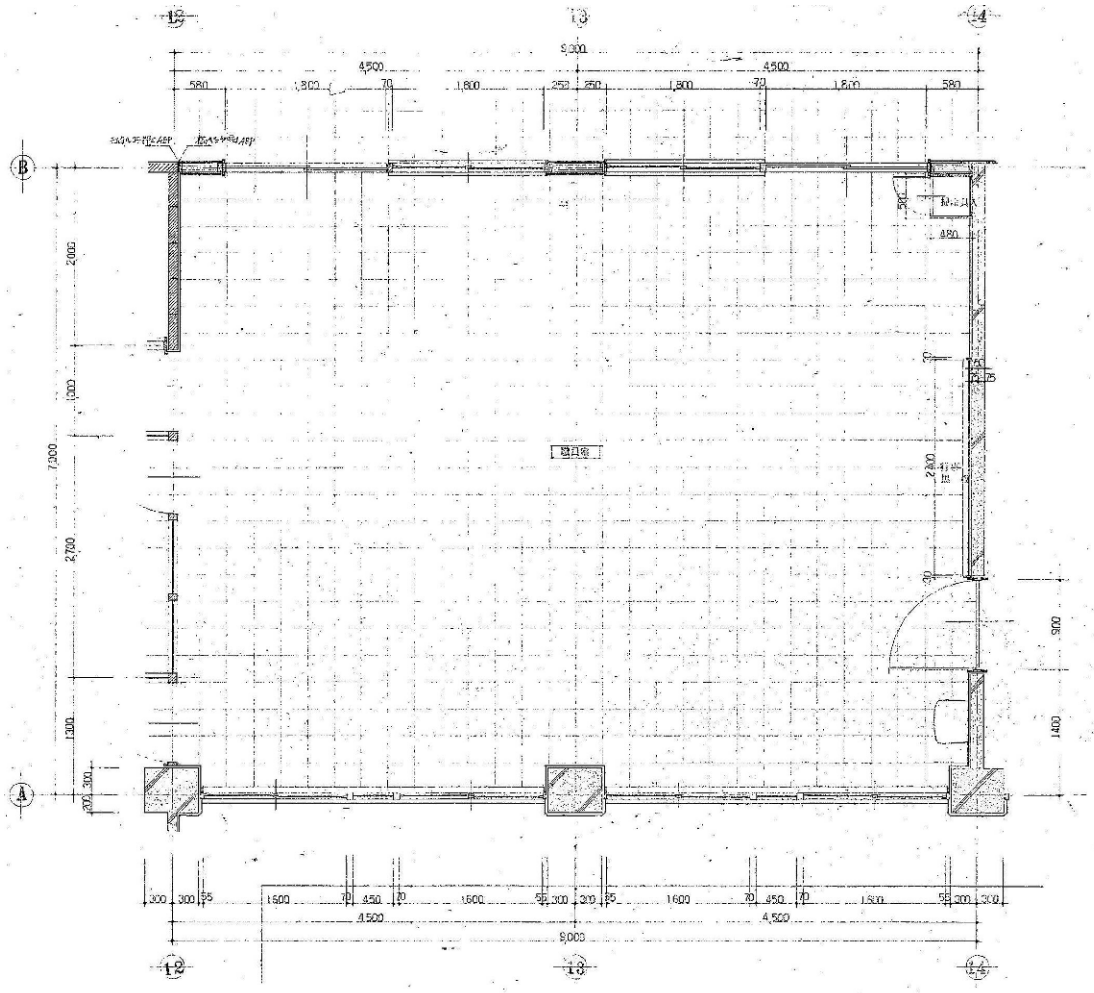
工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事		区分 解体(D)
図面名称	校舎棟　平面詳細図2	縮尺 1:30	図面番号 D-015

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

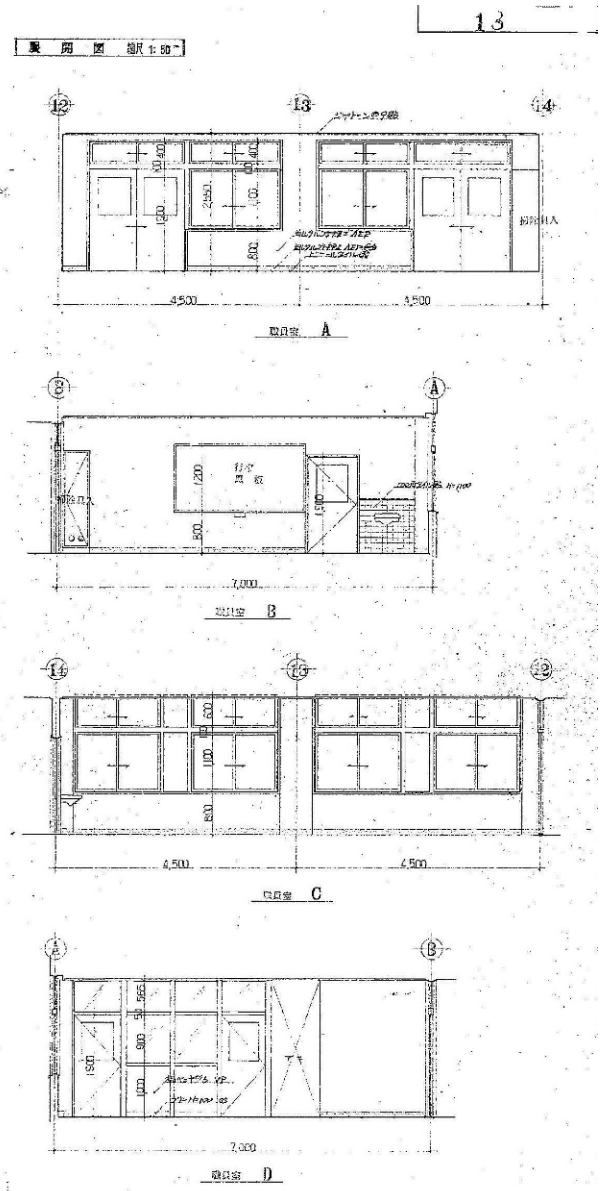


訂正	月 日	原 設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	担当	設計年月 2022年 9月 作図 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事 図面名称 校舎棟 平面詳細図3	区分 解体(D) 縮尺 1:30 図面番号 D-016

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



取合室 平面詳細図 縮尺1:30



訂正	月	日	

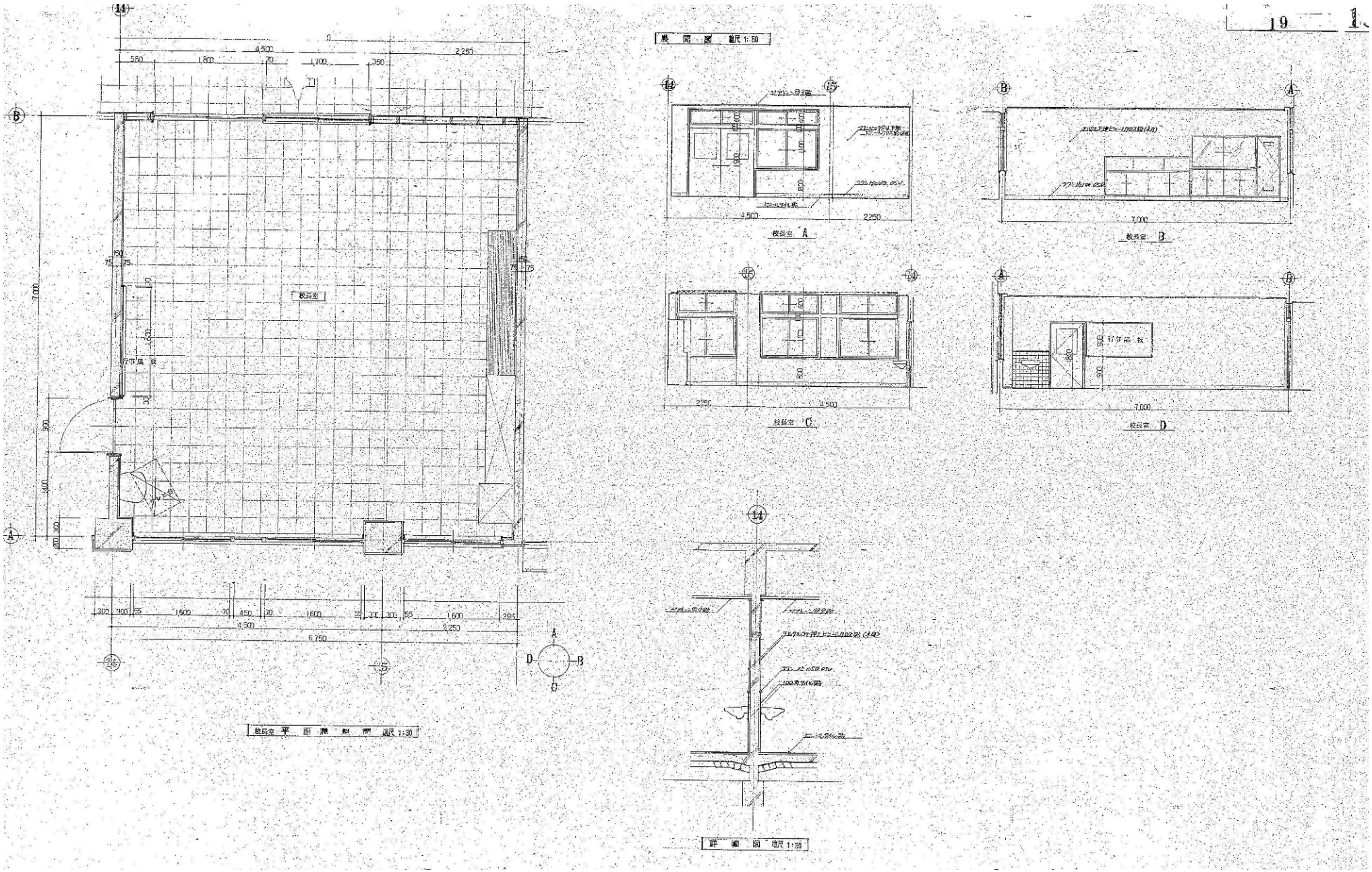
原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士第293830号 甲斐 宣行

担当	設計年月
—	2022年9月
作図	変更年月

福山市建設局建築部営繕課

工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称	縮尺 / 図面番号
校舎棟 平面詳細図4	1:30 / D-017

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

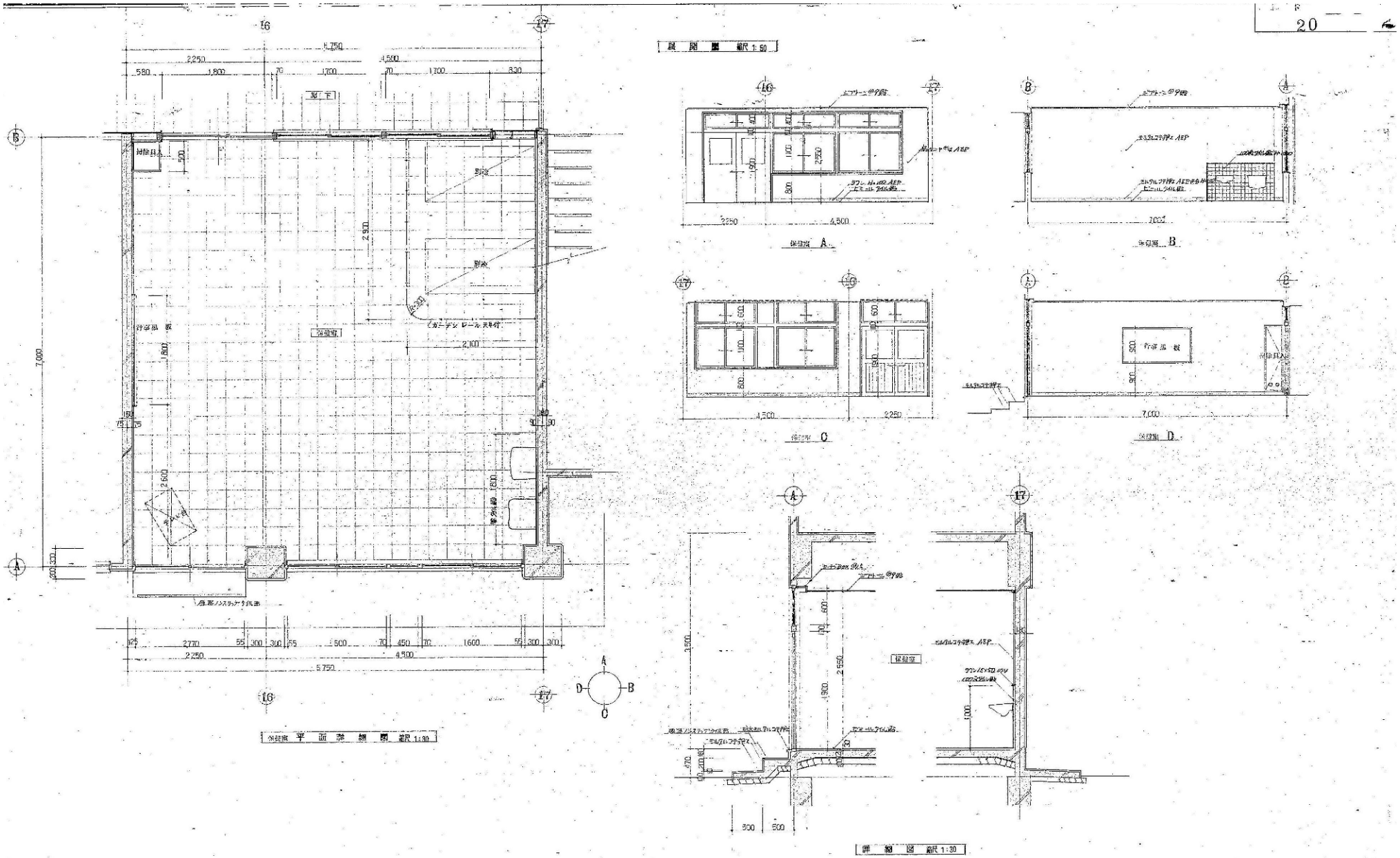


訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	担当 –		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図 / 変更年月		図面名称 校舎棟 平面詳細図5 / 縮尺 1:30	図面番号 D-018

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

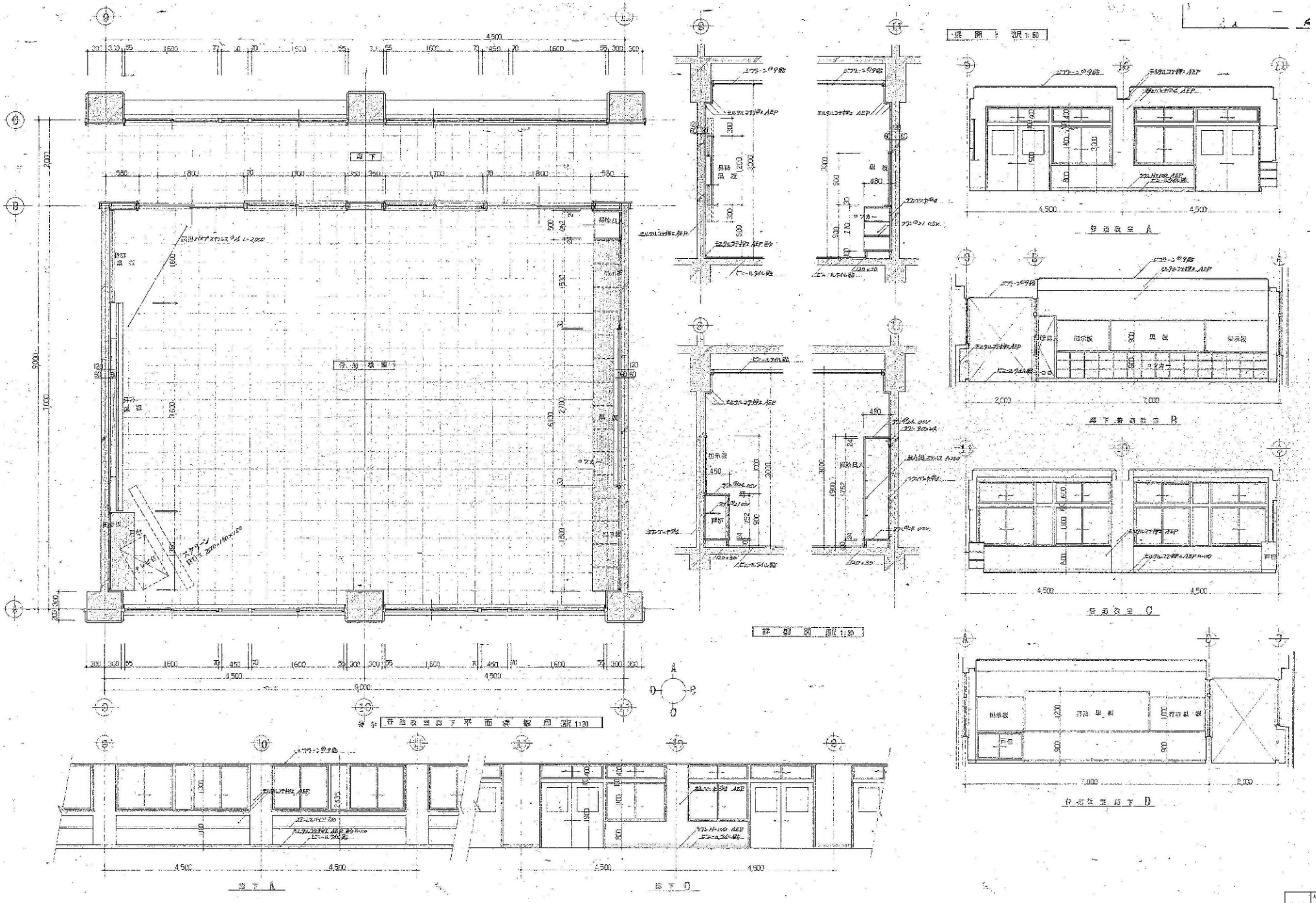


訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理者	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	–	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
構造設計・監理者 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 平面詳細図6	縮尺 1:30 / 図面番号 D-019

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



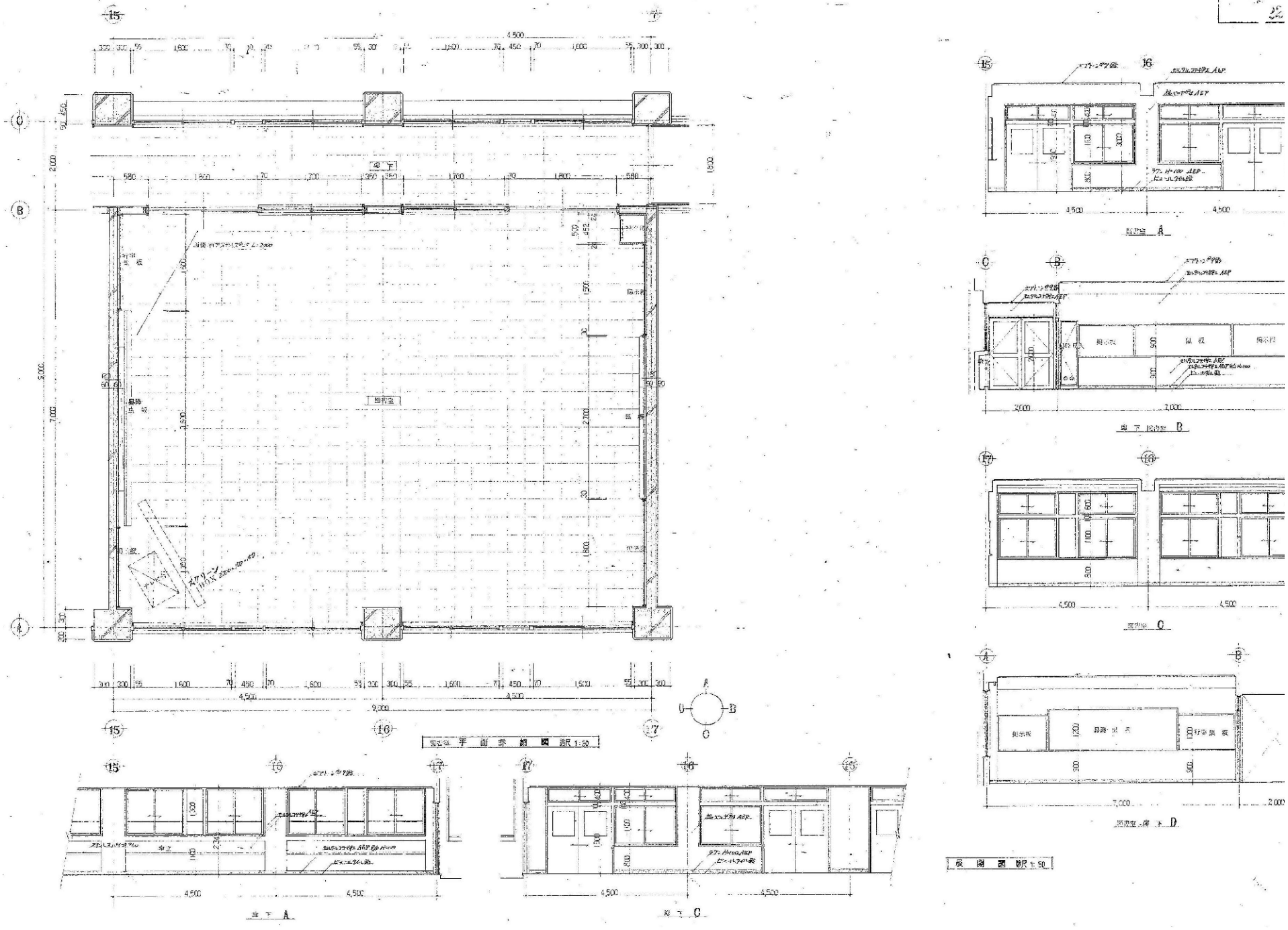
訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第 号	作図	2022年 9月	
		変更年月	

工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事		区分 解体(D)
図面名称	校舎棟 平面詳細図7	縮尺 1:30	図面番号 D-020

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

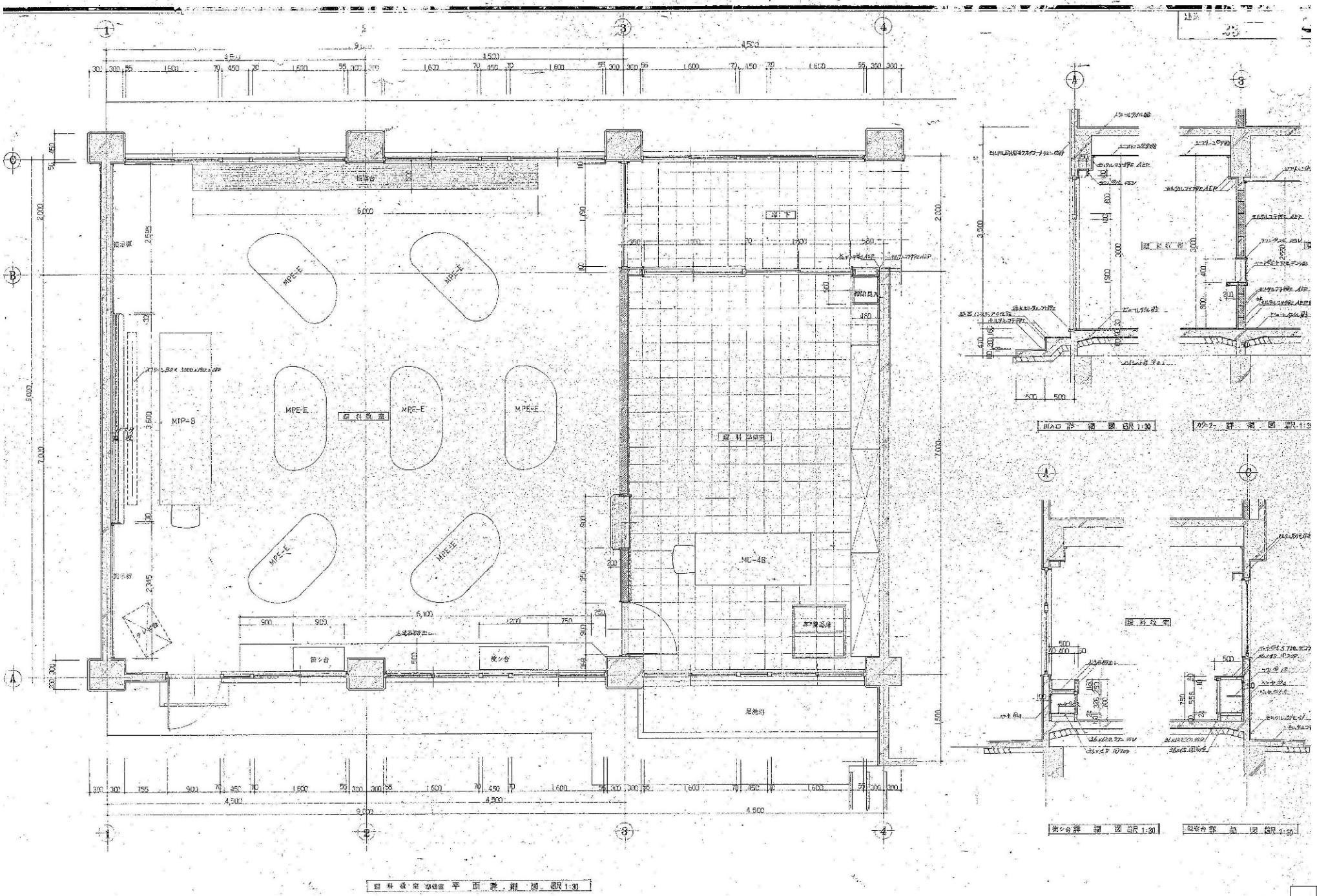


訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 平面詳細図8 / 縮尺 1:30	図面番号 D-021

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



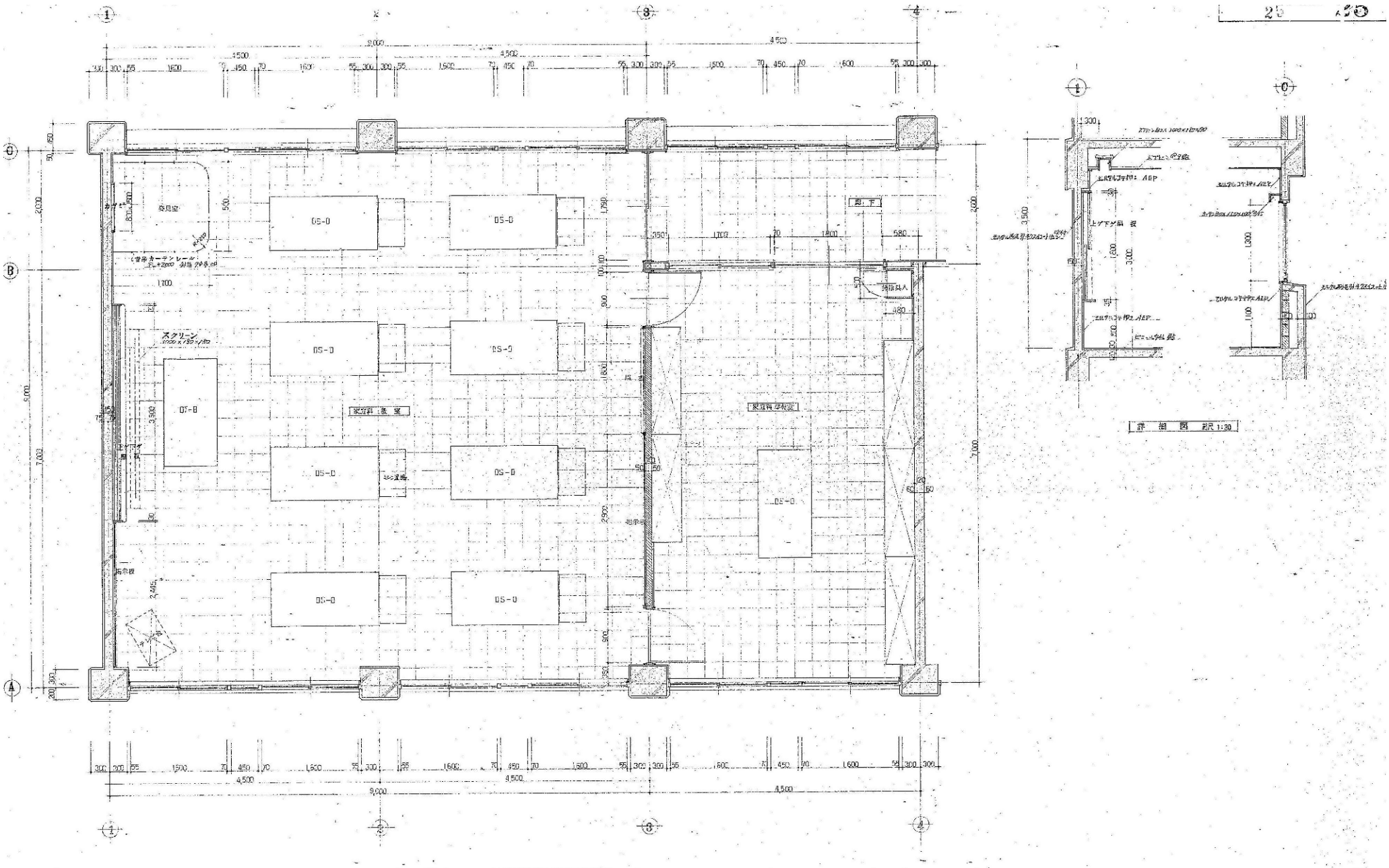
理科教室準備室 平面詳細図 S.1:30

縮尺率	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計一級建築士 第 号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 平面詳細図9 / 縮尺 1:30	図面番号 D-022



校舎様 教室棟 平面詳細図 縮尺 1:30

訂正	月	日	

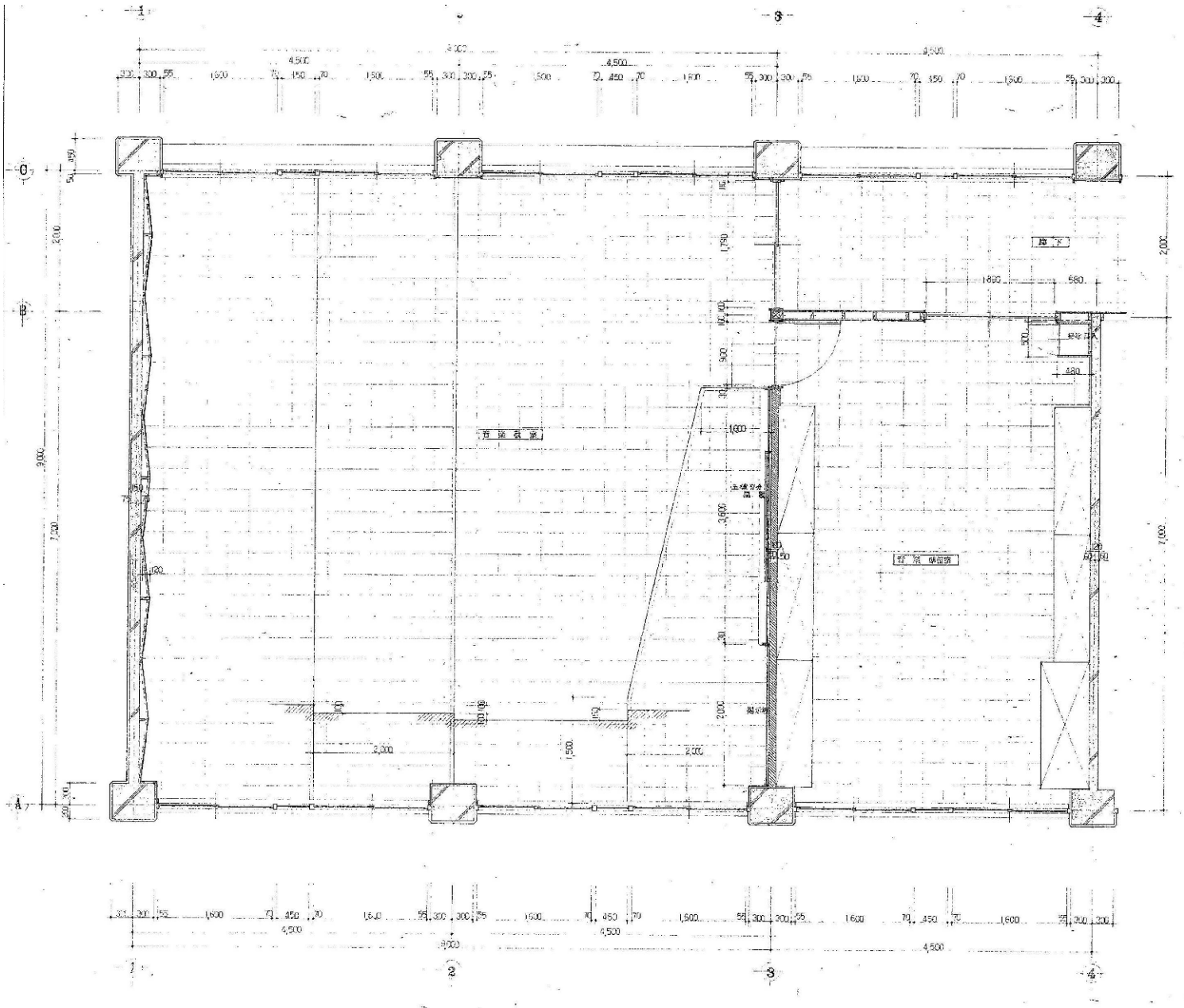
原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

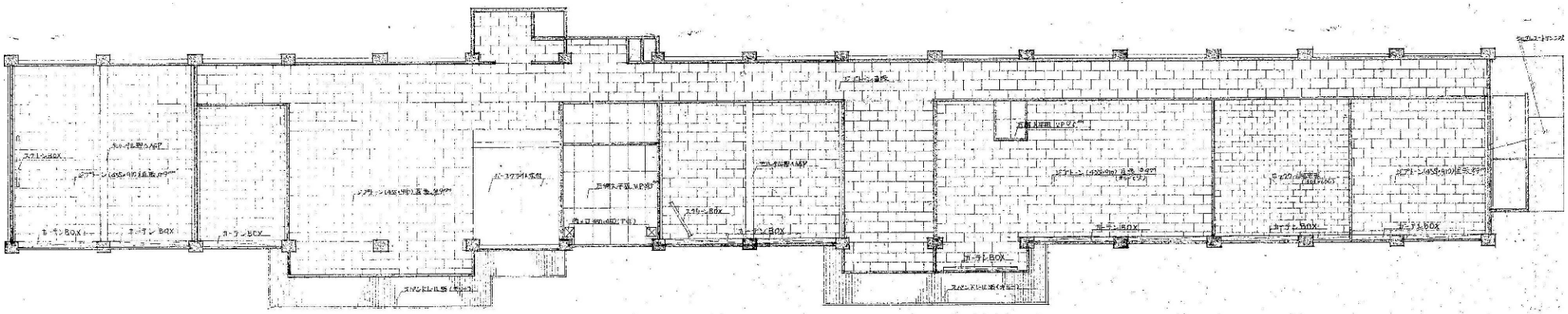
担当	設計年月
作図	変更年月

福山市建設局建築部営繕課

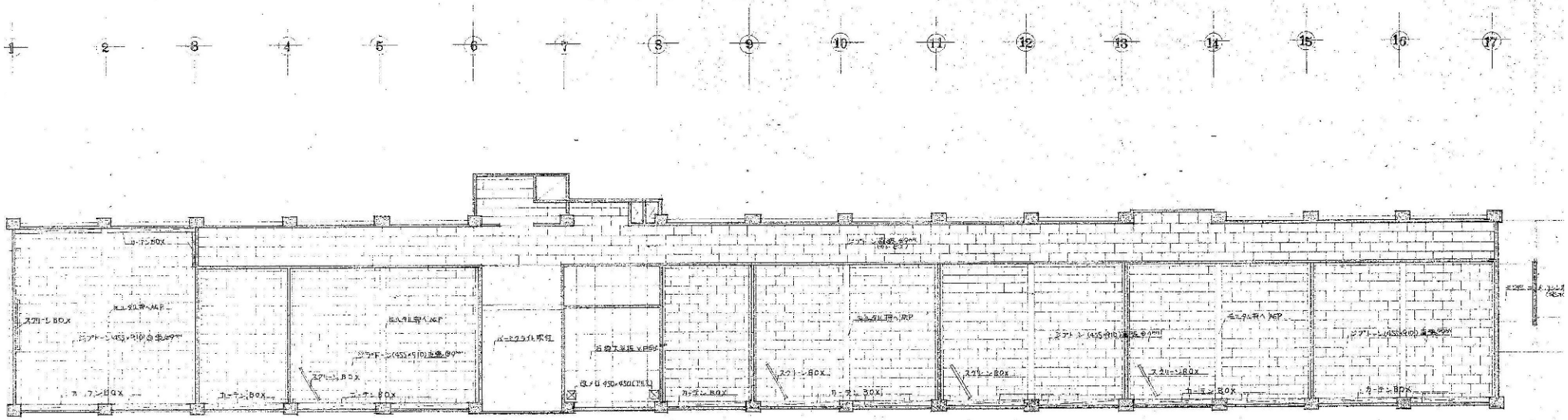
工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称: 校舎様 平面詳細図10	縮尺: 1:30
	図面番号: D-023

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%


音楽教室
教室
廊下
4,500
9,000
4,500
9,000
4,500
9,000



1階天井伏図　縮尺 1:100



2階天井伏図　縮尺 1:100

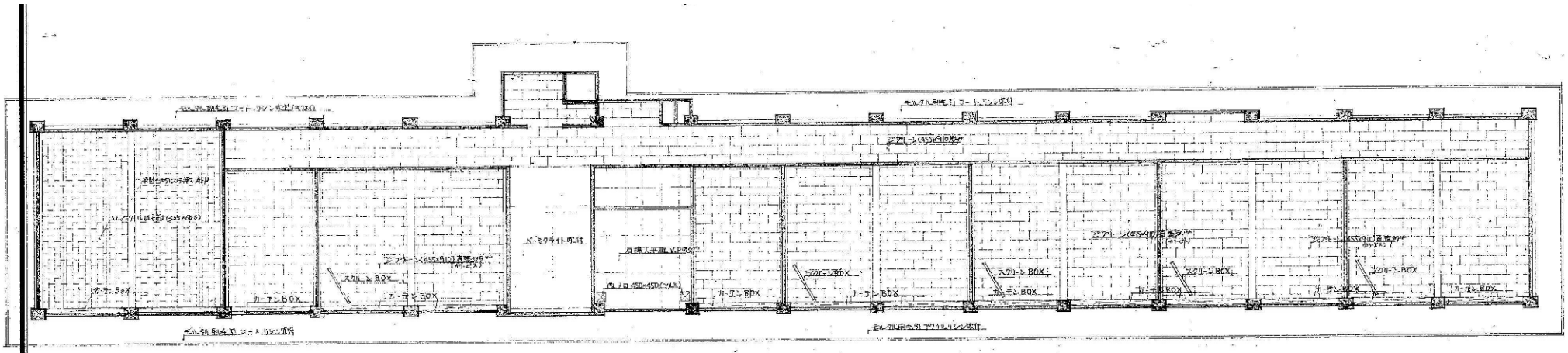
訂正	月	日	

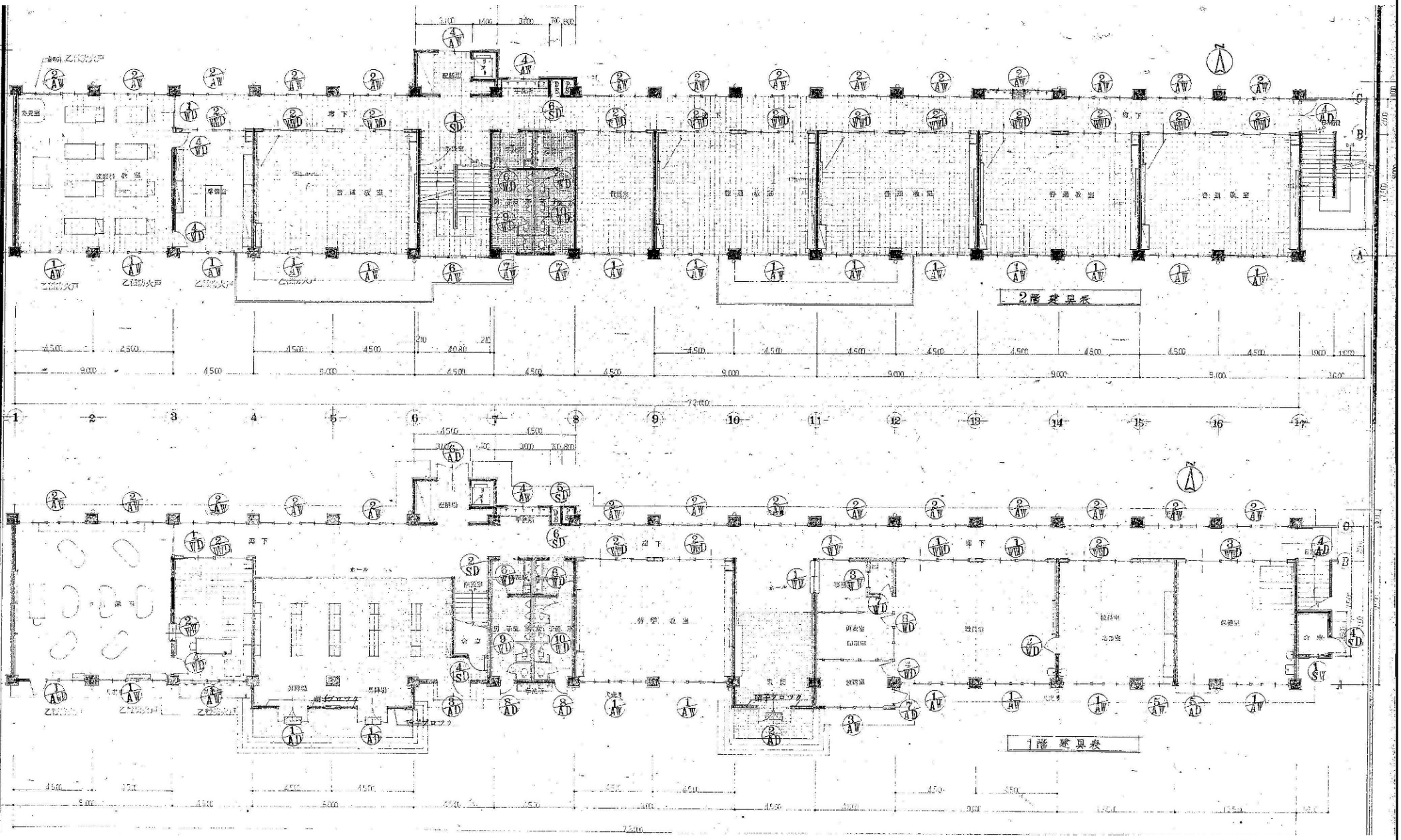
原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　TEL 084-922-3213　FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号　一級建築士 第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第　号	作図	変更年月	

工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
図面名称	校舎棟　天井伏図1	縮尺 1:100
図面番号	D-025	

縮尺率　A-1: 100%　A-2: 71%　A-3: 50%


ペンダントLED(450×450)(ウルトラ)
カーテンBOX
スクリーンBOX
ペンダントLED(455×910)(白色ダウン)
ペンダントLED(455×910)(昼白色ダウン)
ペンダントLED(455×910)(昼白色ダウン)
ペンダントLED(455×910)(昼白色ダウン)
ペンダントLED(450×450)(ウルトラ)
ペンダントLED(450×450)(ウルトラ)
ペンダントLED(450×450)(ウルトラ

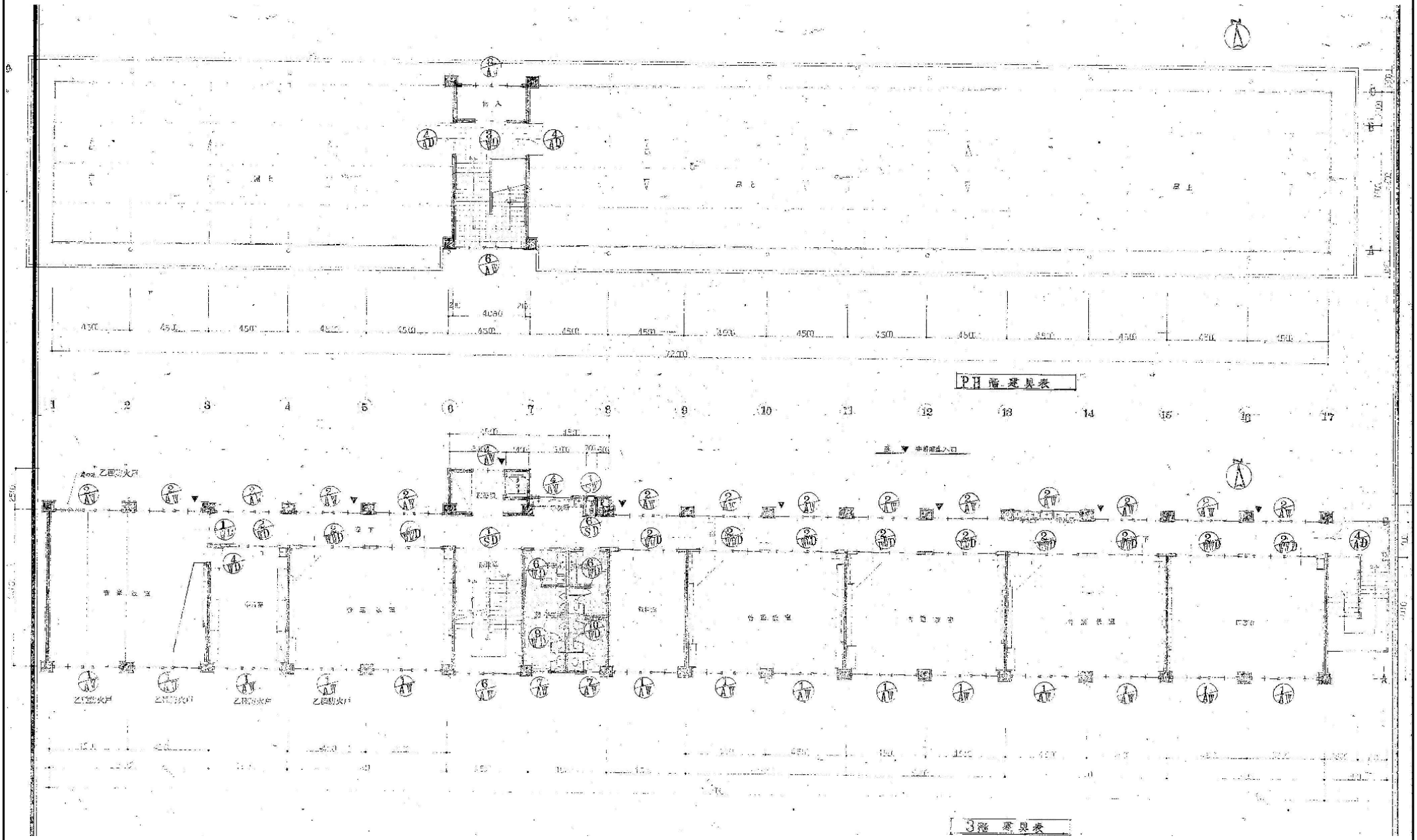


訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

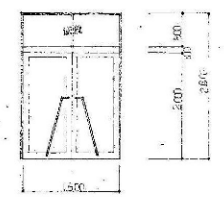
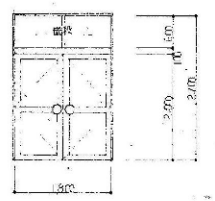
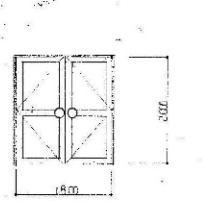
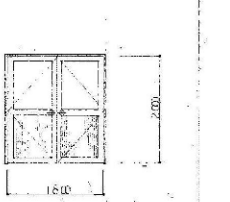
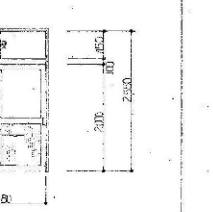
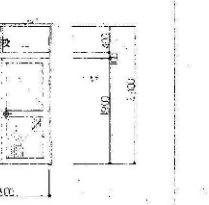
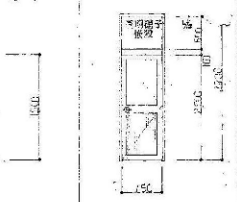
建築設計・監理者	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	—	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
建築設計・監理者 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 建具配置図1 / 縮尺 1:100	図面番号 D-027

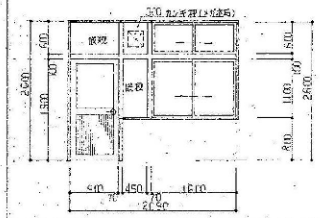
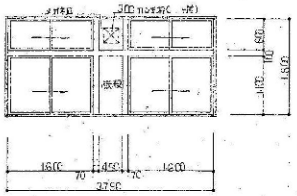
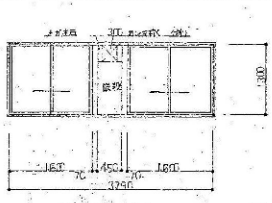
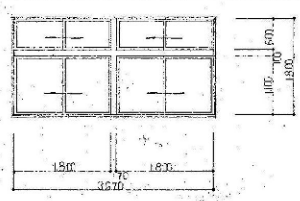
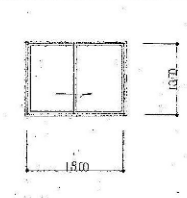
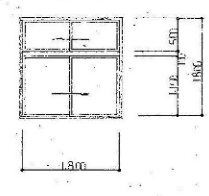
縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

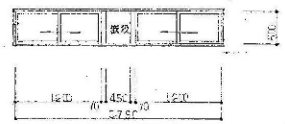
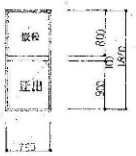
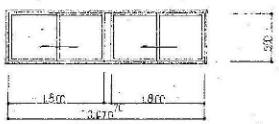
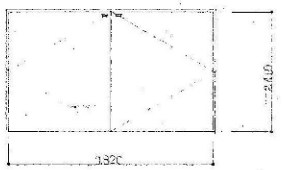
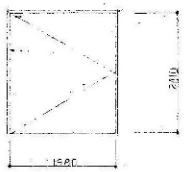
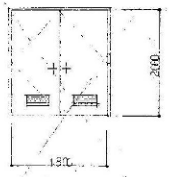
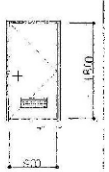


訂正	月	日	原 設計株式会社	構造設計一級建築士 第 号		担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行		作図	2022年 9月		図面名称 校舎棟 建具配置図2	縮尺 1:100 / 図面番号 D-028
				設備設計一級建築士 第 号			変更年月			

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

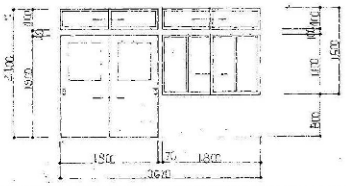
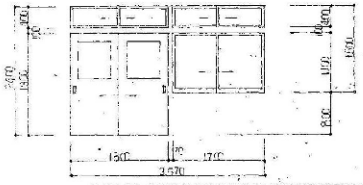
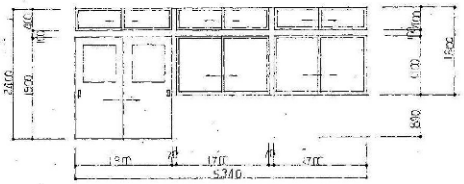
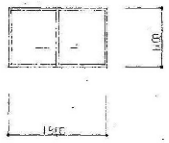
符号	AD-1	AD-3	AD-4	AD-5	AD-6	AD-7	AD-8
形状							
数量	2	1	1	5	1	1	2
硝子	両開 網入型硝子 6.8㎜ 嵌殺 透明硝子 3㎜	両開 網入型硝子 6.8㎜ 嵌殺 透明硝子 3㎜	両開 網入型硝子 6.8㎜	両開 網入型硝子 6.8㎜ 嵌殺 透明硝子 3㎜	両開 網入型硝子 6.8㎜ 嵌殺 透明硝子 3㎜	片開 網入型硝子 6.8㎜	片開 網入型硝子 6.8㎜
材質	三協 アルミ 見込 3A-70	三協 アルミ見込 3A-60	三協アルミ見込 3A-80	三協アルミ 見込 3A-60	三協アルミ見込 3A-60	三協アルミ見込 3A-60	三協アルミ見込 3A-60
塗装							
金物	フロアーヒンチ 附属金物一式	フロアーヒンチ 把手 附属金物一式	ユニロック 附属金物一式	ドアーチェック 附属金物一式	ユニロック 附属金物一式	ユニロック 附属金物一式	ユニロック 附属金物一式
備考	把手 ステンレス40φ		ドアーチェック ストッパーなし				

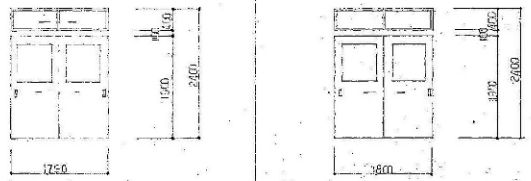
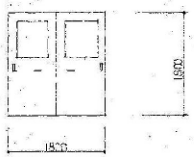
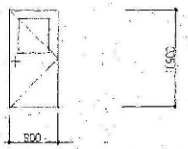
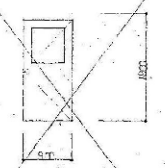
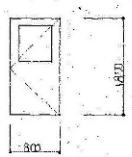
符号	AWD-1	AW-1	AW-2	AW-3	AW-4	AW-5
形状						
数量	1	36	42	1	5	1
硝子	片開 網入型硝子6.8㎜ 窓 ランマ 透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜
材質	三協 アルミ 見込 3A-60	三協アルミ 見込 3A-60	三協アルミ 見込 3A-60	三協 アルミ 見込 3A-60	三協アルミ見込 3A-60	三協アルミ 見込 3A-60
塗装						
金物	ユニロック 附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考	乙種防火戸八 網入型硝子7.5㎜	乙種防火戸八 網入型硝子7.5㎜	乙種防火戸八 網入型硝子7.5㎜			

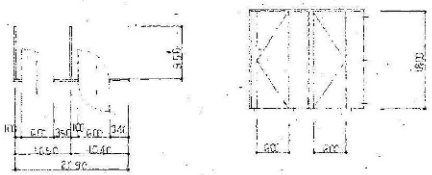
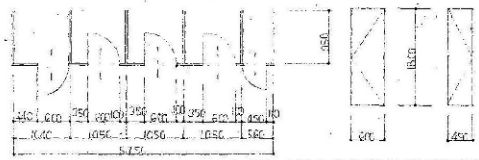
符号	AW-6	AW-7	AW-8	SD-1	SD-2	SD-3	SD-4
形状							
数量	3	4	1	2	1		
硝子	網入型硝子6.8㎜	透明硝子 3㎜	透明硝子 3㎜				
材質	三協 アルミ 見込 3A-60	三協 アルミ 見込3A-60	三協アルミ 見込 3A-60	鋼製 見込 86	鋼製 見込 86		鋼製 見込 86
塗装				OP仕上	OP仕上		OP仕上
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	順位調整器 ヒューズ付 附属金物一式 煙感知器	順位調整器 ヒューズ付 附属金物一式 煙感知器		ユニロック 附属金物一式
備考				甲種防火戸	甲種防火戸		

符号	SD-5	SD-6	SW-1
形状			
数量	1	3	2
硝子			
材質	鋼製 見込 86	鋼製 見込 86	鋼製 見込 86
塗装	OP仕上	OP仕上	OP仕上
金物	把手	把手	アングル
備考			

訂正	月 日	原 設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	建築設計・監理者 第 号 / 建築設計・監理者 第 号	担当 / 作図	設計年月 2022年9月 / 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事
						図面名称 校舎様 建具表1	縮尺 1:50
						縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	区分 解体(D) / 図面番号 D-029

符号	WWD-1	WWD-2	WWD-3	WW-1	WW-2
形状					
数量	2	27	1	2	1
硝子	引違ドア引違窓 型板硝子8㎜ 引違ランマ 透明硝子8㎜	引違ドア引違窓 型板硝子8㎜ 引違ランマ 透明硝子8㎜	引違ドア 引違窓 型板硝子8㎜ 引違ランマ 透明硝子8㎜	型板硝子8㎜	透明硝子8㎜
材質	ベニヤ7.4 見込36 スプルース 見込33	ベニヤ7.4見込36 スプルース 見込33	ベニヤ7.4見込36 スプルース 見込33	スプルース 見込33	スプルース 見込33
塗装	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上
金物	引手 附属金物一式	引手 附属金物一式	引手 附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考					

符号	WW-3	WD-1	WD-2	WD-3	WD-4	WD-5	WD-6
形状							
数量		3	1	1	6		6
硝子	型板硝子8㎜	引違ドア 型板硝子8㎜ 引違ランマ 透明硝子8㎜	引違ドア 型板硝子8㎜ 引違ランマ 透明硝子8㎜	型板硝子8㎜	型板硝子8㎜	型板硝子8㎜	型板硝子8㎜
材質	スプルース 見込33	ベニヤ7.4見込36 スプルース 見込33	ベニヤ7.4見込36 スプルース 見込33	ベニヤ7.4 見込36	ベニヤ7.4 見込36	ベニヤ7.4見込36	ベニヤ7.4 見込36
塗装	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上
金物		引手 附属金物一式	引手 附属金物一式	引手 附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考							

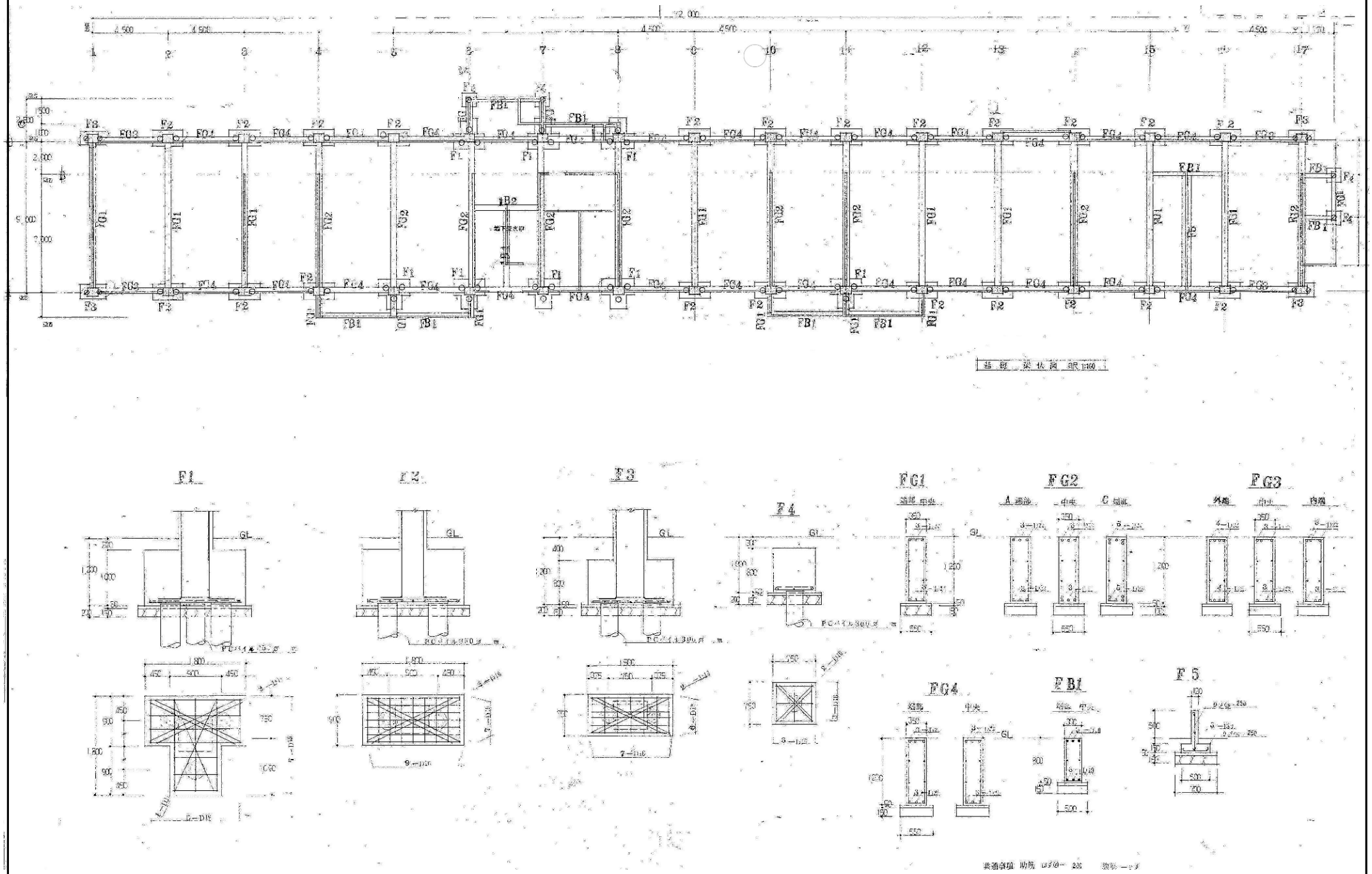
符号	WD-7	WD-8	WD-9	WD-10
形状				
数量	1	1	3	3
硝子	透明硝子8㎜	型板硝子8㎜		
材質	ベニヤ7.4 見込36	ベニヤ7.4 見込36	間水ベニヤ7.4 見込33	間水ベニヤ7.4 見込33
塗装	OP仕上	OP仕上	OP仕上	OP仕上
金物	附属金物一式	附属金物一式	把手 附属金物一式	把手 附属金物一式
備考				

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理者	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	—	2022年9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
構造設計・監理者	作図	変更年月		図面名称 / 縮尺	図面番号
第 号				校舎棟 建具表2 / 1:50	D-030

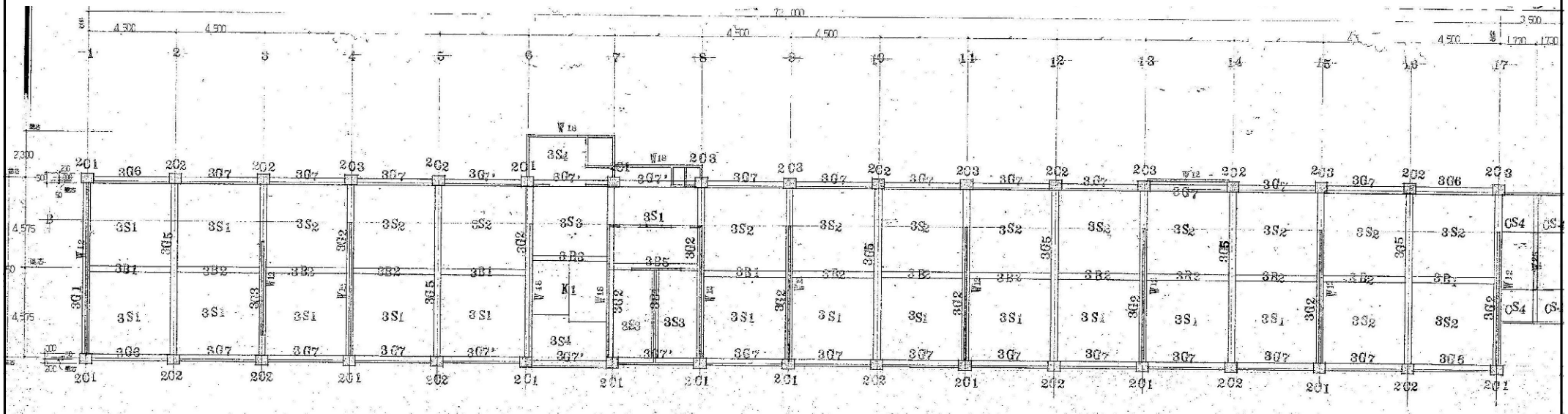


訂正	月	日	

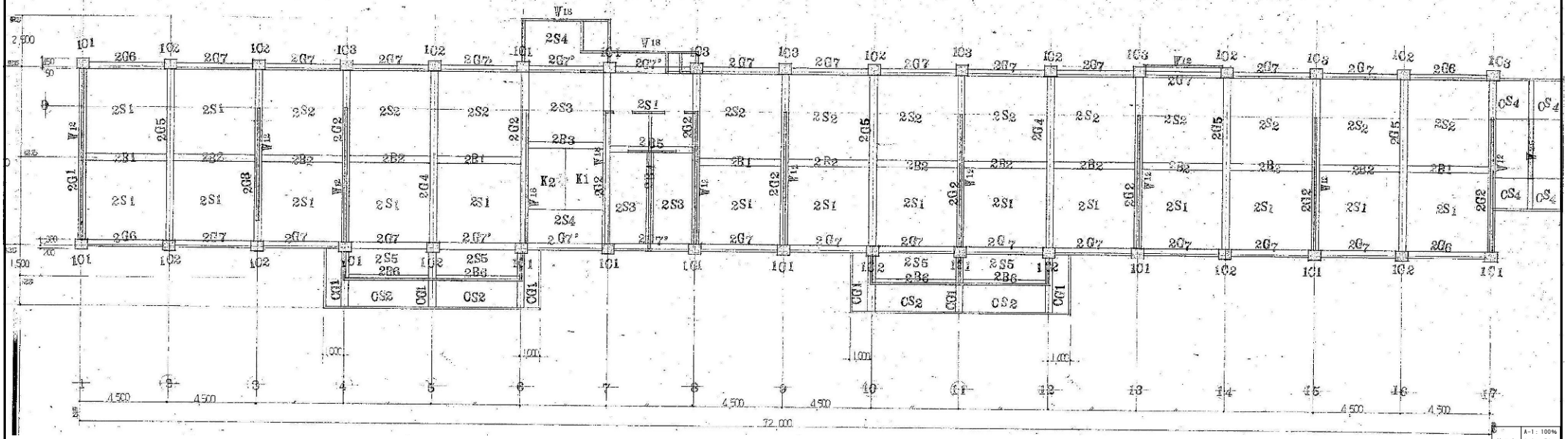
原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
構造設計一級建築士 第 号	作図	2022年 9月 変更年月		図面名称 校舎棟 基礎伏図	縮尺 1:30 1:100 / 図面番号 D-031

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



2階 3階 床 梁伏図 縮尺 1:100



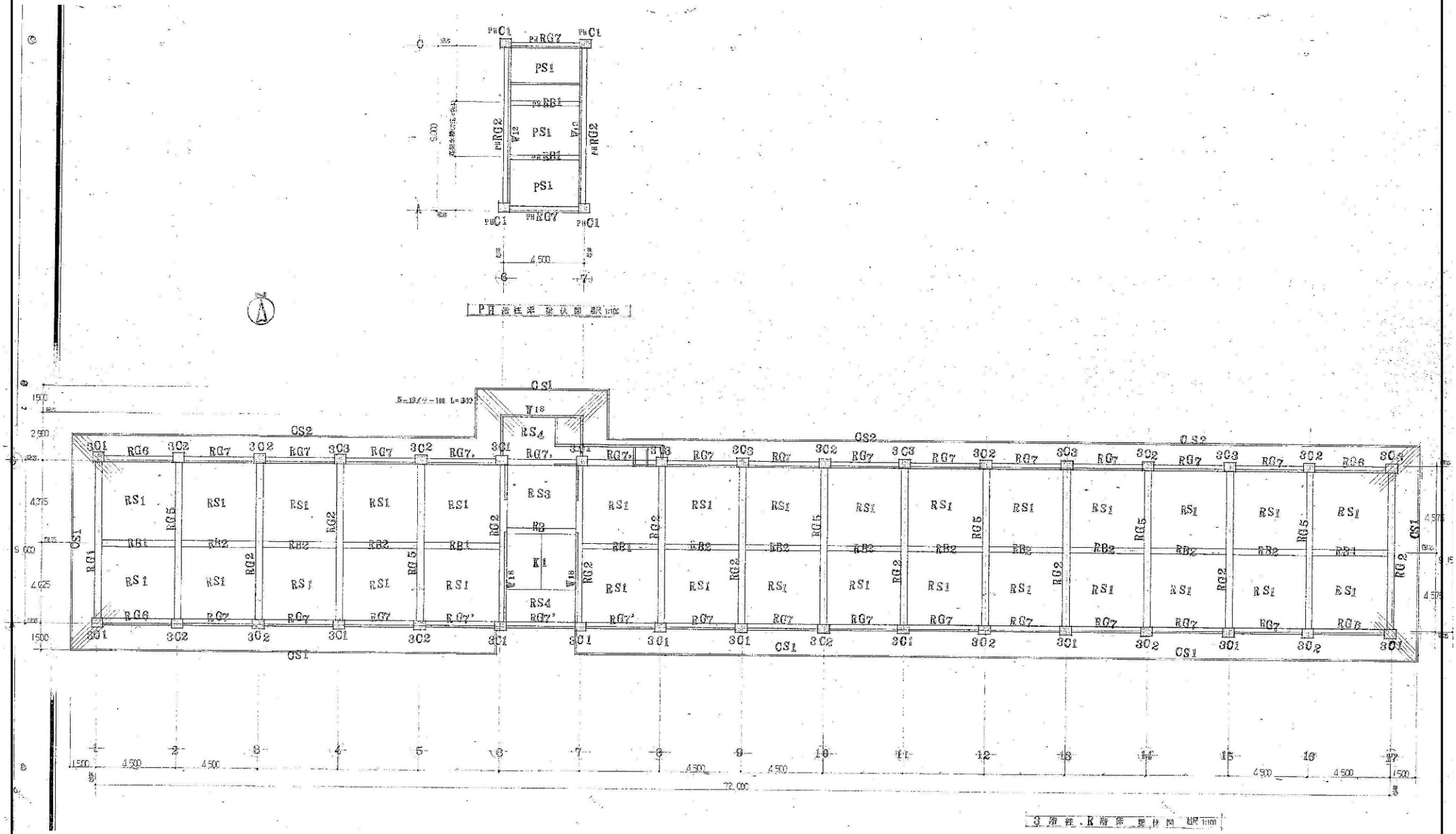
訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理士 第 号	担当 —	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課
建築設計・監理士 第 号	作図	変更年月	

工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事		区分 解体(D)
図面名称	校舎棟 梁伏図1	縮尺 1:100	図面番号 D-032

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築設計・監理者	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
第 号	—	2022年 9月			
建築設計・監理者 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 梁伏図2 / 縮尺 1:100	図面番号 D-033

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

大梁配筋リスト 縮尺1:30

共通事項　腹筋 2−9φ　巾止　9φ@−500

符号	RG2																							
			A 端部	中央	C 端部														端部	中央				
PH階梁																								
断面			300,500																300,500					
上筋			3−D19	3−D19	3−D19														3−D19	2−D19				
下筋			3−D19	3−D19	3−D19														3−D19	2−D19				
肋筋			9φ@−200																9φ@−200					

符号	RG1		RG2			RG3			RG5			RG6			RG7		RG7'	
	端部	中央	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央
R階梁																		
断面	350,800		350,800			350,800			350,800			300,600			300,600		300,600	
上筋	3−D22	2−D22	3−D22	2−D22	3−D22	3−D22	6−D22	3−D22	3−D22	6−D22	3−D22	3−D19	2−D19	3−D19	3−D19	2−D19	4−D19	2−D19
下筋	3−D22	2−D22	3−D22	2−D22	3−D22	2−D22	6−D22	2−D22	2−D22	6−D22	2−D22	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19
肋筋	9φ@−150		9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150			9φ@−150			9φ@−200			9φ@−200		9φ@−200	

符号	3G1		3G2			3G3			3G5			3G6			3G7		3G7'	
	端部	中央	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央
3階梁																		
断面	350,800		350,800			350,800			350,800			350,600			350,600		350,600	
上筋	3−D22	2−D22	3−D22	3−D22	4−D22	7−D22	5−D22	7−D22	3−D22	3−D22	6−D22	6−D19	2−D19	5−D19	5−D19	2−D19	5−D19	2−D19
下筋	3−D22	2−D22	3−D22	3−D22	4−D22	3−D22	5−D22	3−D22	3−D22	4−D22	3−D22	4−D19	2−D19	3−D19	3−D19	2−D19	3−D19	2−D19
肋筋	9φ@−150		9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−150	9φ@−

符号	2G1		2G2			2G3			2G4			2G5			2G6			2G7		2G7'			CG1
	端部	中央	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	A 端部	中央	C 端部	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央		端部 中央
2階梁																							
断面	350,850		350,850			350,850			350,850			350,850			350,700			350,700		350,700			350,600
上筋	4−D25	2−D25	4−D25	3−D25	5−D25	6−D25	4−D25	6−D25	7−D25	3−D25	4−D25	6−D25	2−D25	6−D25	6−D22	3−D22	5−D22	5−D22	3−D22	5−D22	3−D22		5−D10
下筋	4−D25	2−D25	4−D25	3−D25	5−D25	4−D25	4−D25	4−D25	3−D25	4−D25	3−D25	3−D25	4−D25	3−D25	5−D22	2−D22	4−D22	5−D22	2−D22	5−D22	2−D22		3−D16
肋筋	9φ@−150		13φ@−100	13φ@−	13φ@−100	13φ@−150	13φ@−	13φ@−150	13φ@−150	13φ@−200	13φ@−150	9φ@−100	φ@−150	9φ@−100	13φ@−150	13φ@−200	13φ@−150	13φ@−150	13φ@−200	13φ@−150	13φ@−200		9φ@−200

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月	日

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　TEL 084-922-3213　FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号　一級建築士 第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
	−	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第　号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟　梁リスト1 / 縮尺 1:30	図面番号 D-034

小梁配筋リスト 縮尺1:30

符号	PHRB1 外端	PHRB1 中央	PHRB1 内端									
PH階												
断面	300・400											
上筋	2−D19	2−D19	3−D19									
下筋	2−D19	4−D19	2−D19									
肋筋	9φ@−200											

符号	RB1 外端	RB1 中央	RB1 内端	RB2 端部	RB2 中央	RB3 端部	RB3 中央					
R階												
断面	300・400			300・400		300・400						
上筋	3−D19	2−D19	4−D19	3−D19	2−D19	2−D19	2−D19					
下筋	2−D19	3−D19	2−D19	2−D19	3−D19	2−D19	3−D19					
肋筋	9φ@−200			9φ@−200		9φ@−200						

符号	3B1 外端	3B1 中央	3B1 内端	3B2 端部	3B2 中央	3B3 端部	3B3 中央					
3階												
断面	300・400			300・400		300・400						
上筋	2−D19	2−D19	3−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19					
下筋	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	3−D19					
肋筋	9φ@−200			9φ@−200		9φ@−200						

符号	2B1 外端	2B1 中央	2B1 内端	2B2 端部	2B2 中央	2B3 端部	2B3 中央	2B4 端部	2B4 中央	2B5 端部	2B5 中央	2B6 端部	2B6 中央
2階													
断面	300・400			300・400		300・400		300・400		350・500		300・400	
上筋	2−D19	2−D19	3−D19	3−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	4−D19	4−D19	2−D19	2−D19
下筋	2−D19	3−D19	2−D19	2−D19	2−D19	2−D19	3−D19	2−D19	4−D19	2−D19	6−D19	2−D19	2−D19
肋筋	9φ@−200			9φ@−200		9φ@−200		9φ@−200		9φ@−100		9φ@−200	

符号	1B1 外端	1B1 中央	1B1 内端	1B2 端部	1B2 中央
1階					
断面	300・400			350・500	
上筋	2−D19	2−D19	2−D19	3−D19	3−D19
下筋	2−D19	4−D19	2−D19	2−D19	5−D19
肋筋	9φ@−200			9φ@−150	

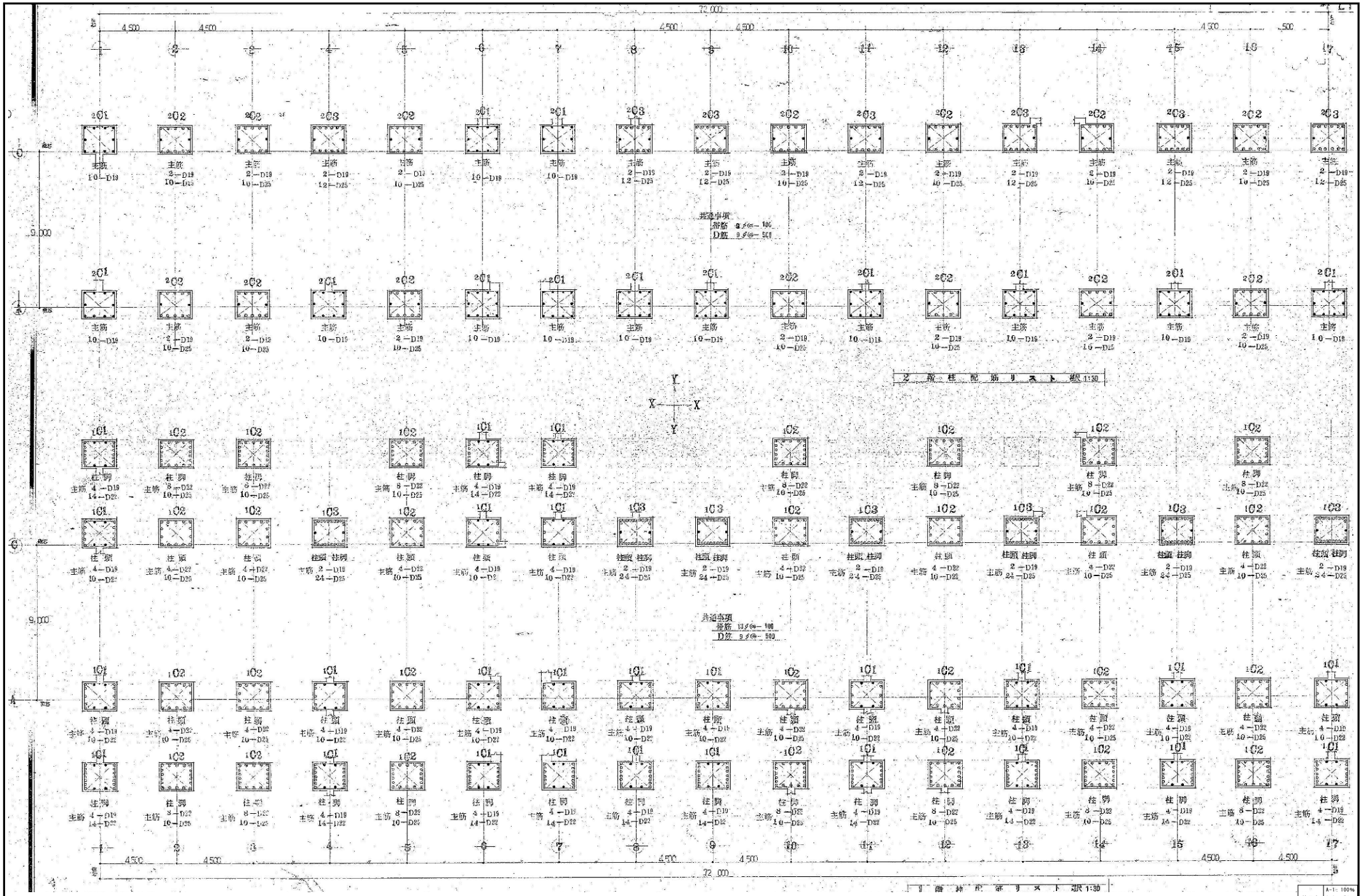
壁配筋リスト

	W10	W12	W15	W18
	100	120	150	180
タテ	9φ@−200	9φ@−250	9φ@−250	9φ@−200
ヨコ	9φ@−200	9φ@−250	9φ@−250	9φ@−200

訂正	月	日	原 設計株式会社	構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 梁リスト2

区分	縮尺	図面番号
解体(D)	1:30	D-035

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



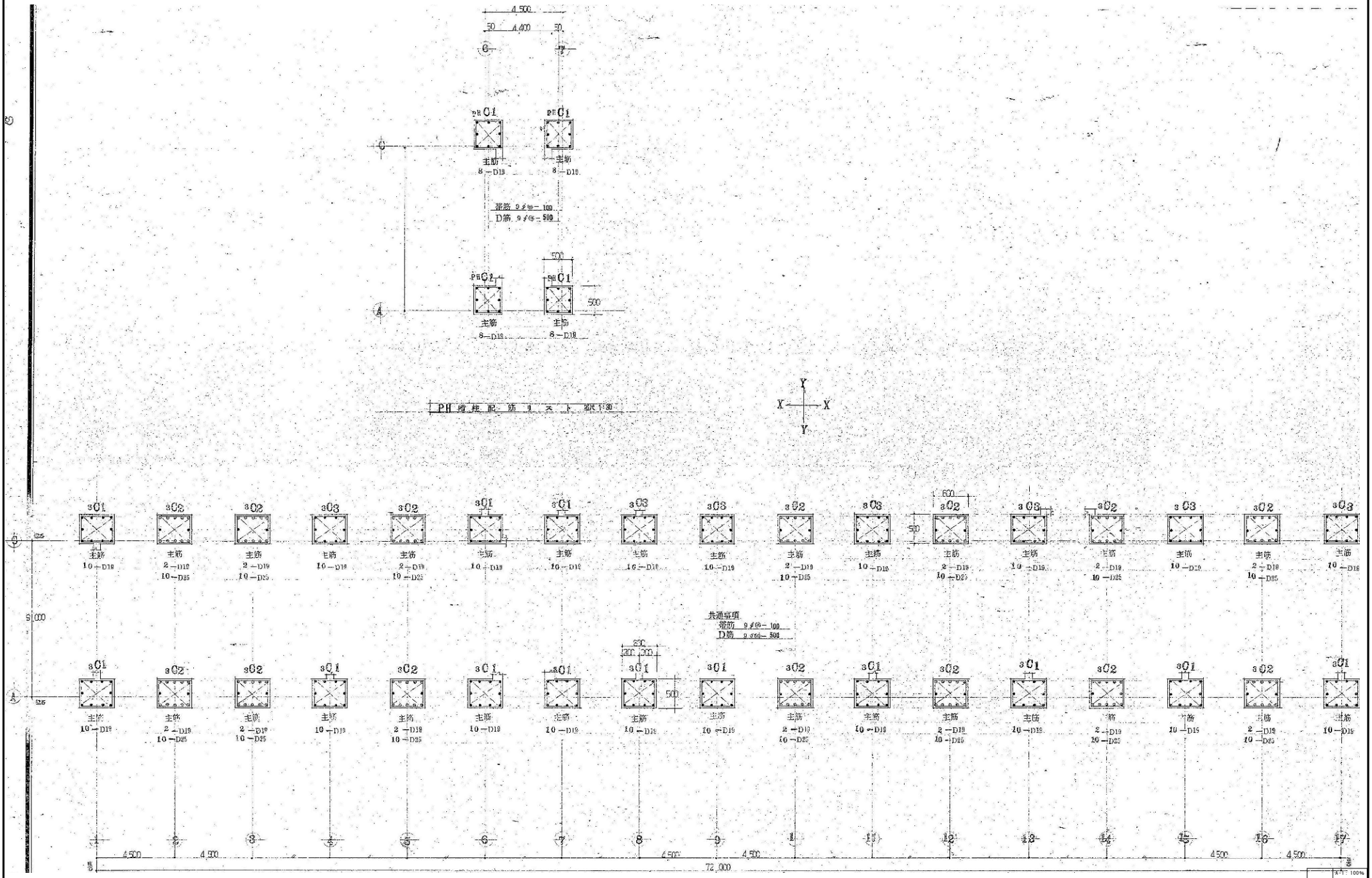
縮尺率	
A-1: 100%	
A-2: 71%	
A-3: 50%	

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第 号	作図	2022年 9月 変更年月	

工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称 校舎棟 柱リスト1	縮尺 1:30
	図面番号 D-036



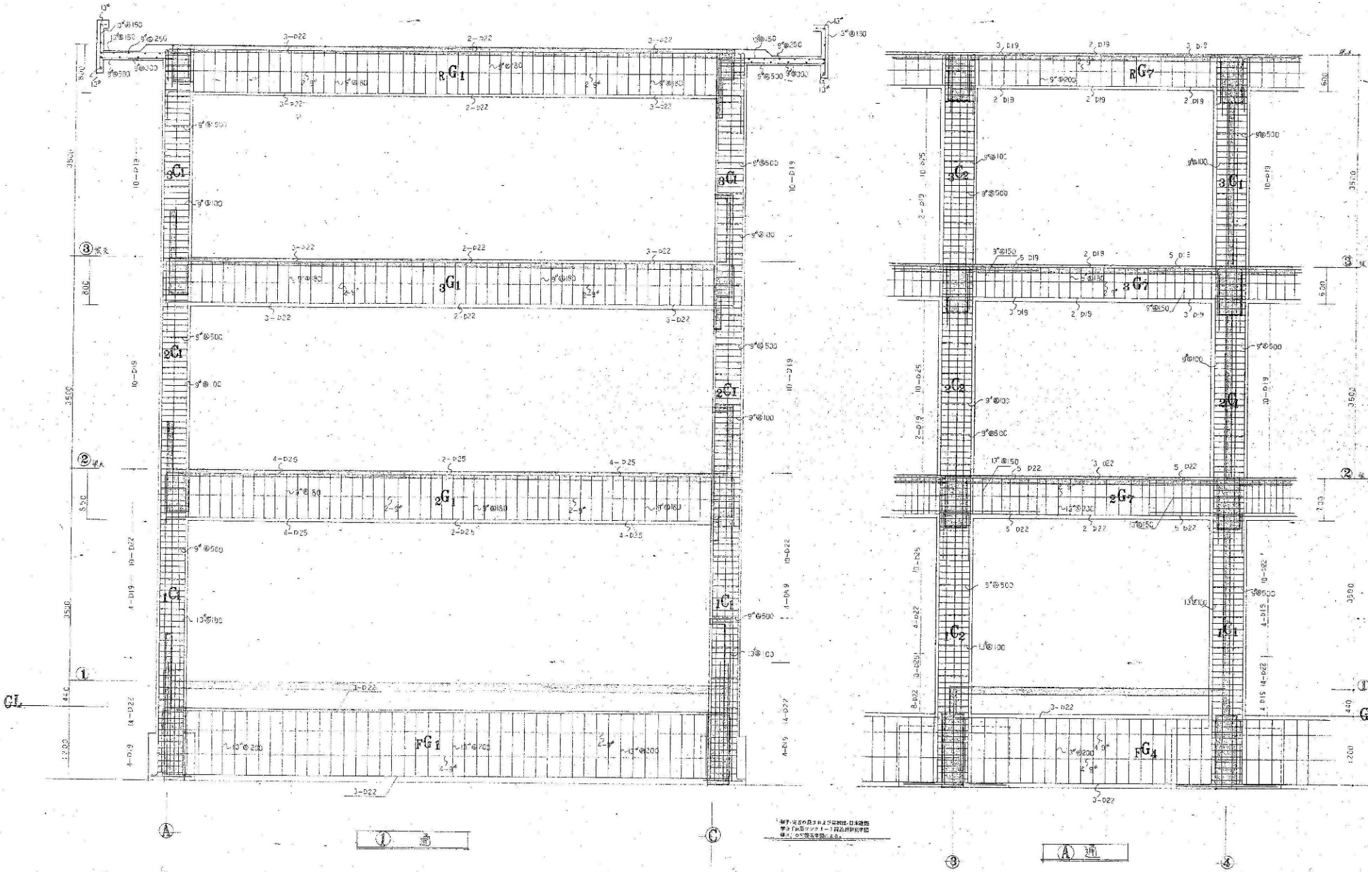
訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

建築士-建築士 第 号	担当	設計年月 2022年9月	福山市建設局建築部営繕課
建築士-建築士 第 号	作図	変更年月	

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%

工事名称	区分
旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
図面名称: 校舎棟 柱リスト2	縮尺: 1:30
図面番号: D-037	



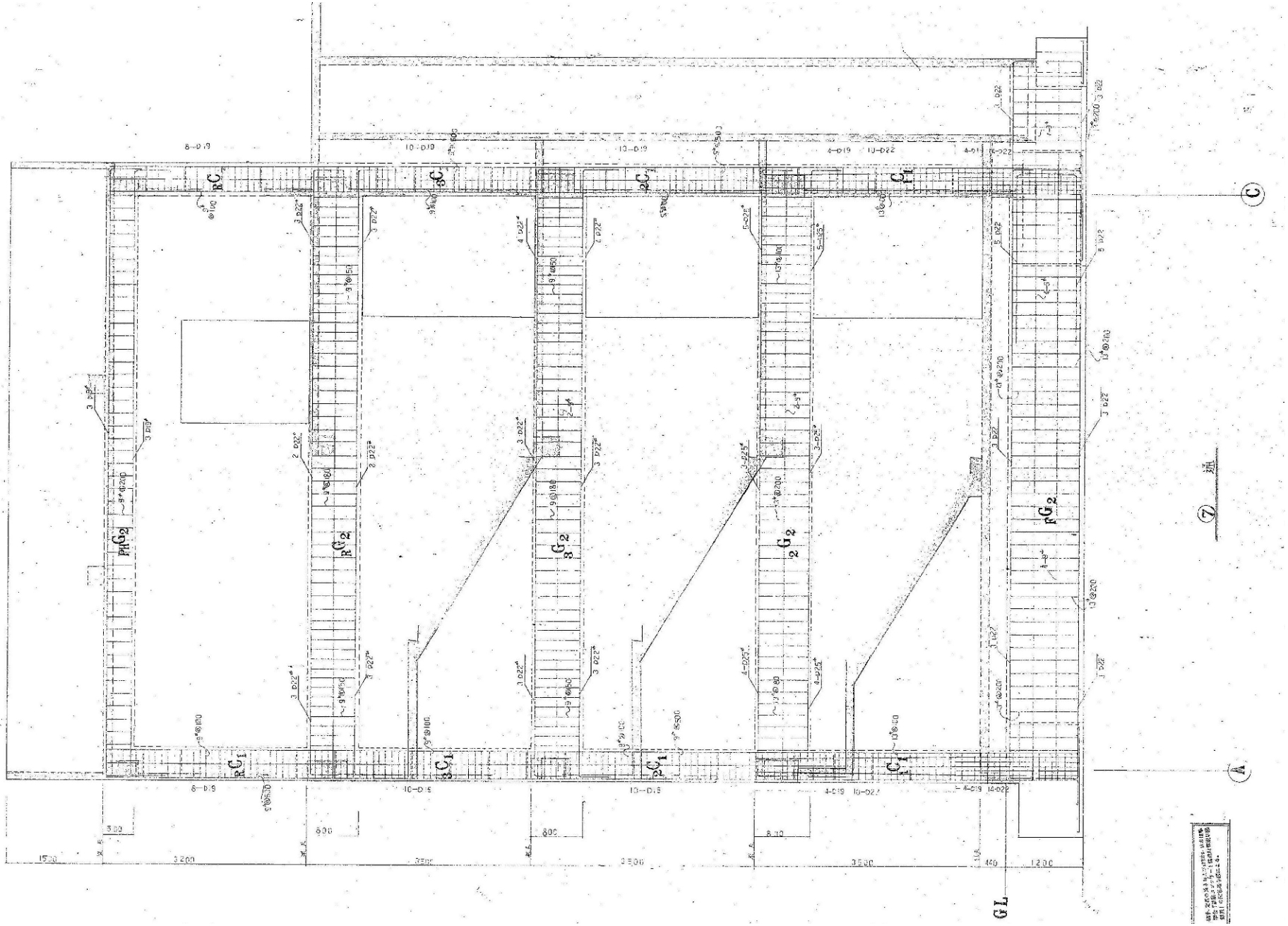
訂正	月	日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
TEL 084-922-3213　一級建築士
FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第　号	作図	2022年 9月	
		変更年月	

工事名称	旧福山市立内海小学校校舎解体工事		区分 解体(D)
図面名称	校舎棟　架構詳細図1	縮尺 1:30	図面番号 D-038

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

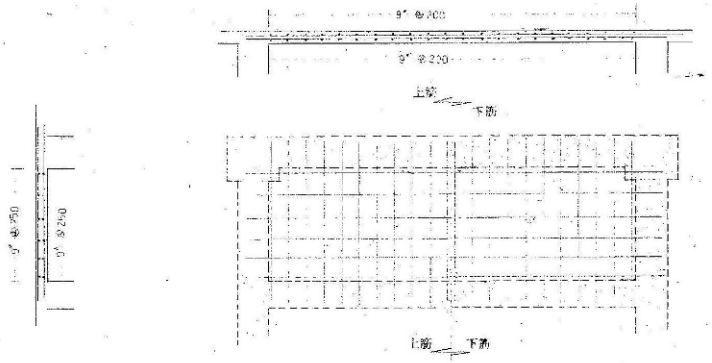


縮尺率	A-1：100% A-2：71% A-3：50%

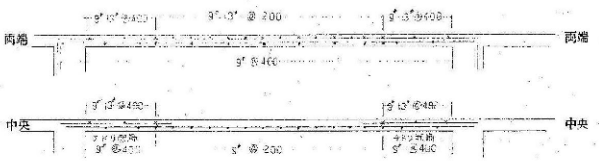
訂正	月	日	

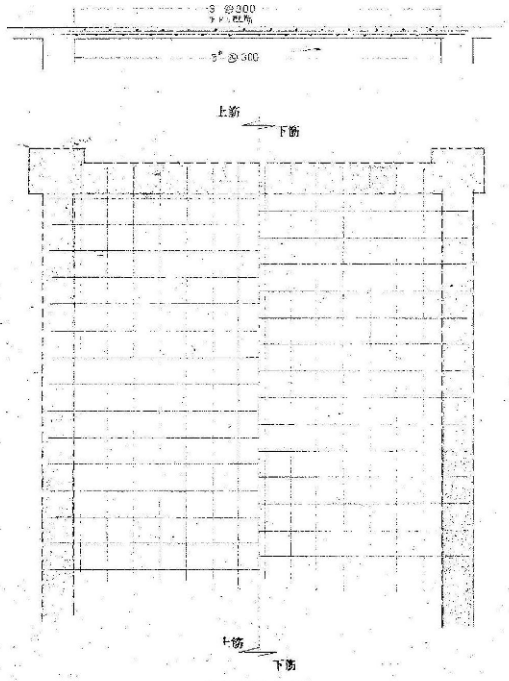
原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
TEL 084-922-3213　一級建築士
FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
	—	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第　号	作図	変更年月		図面名称 / 縮尺	図面番号
				校舎棟　架構詳細図2 / 1:30	D-039

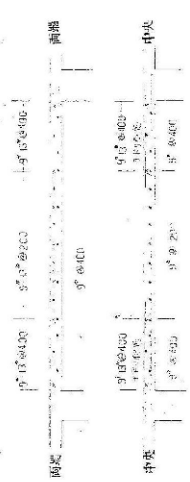


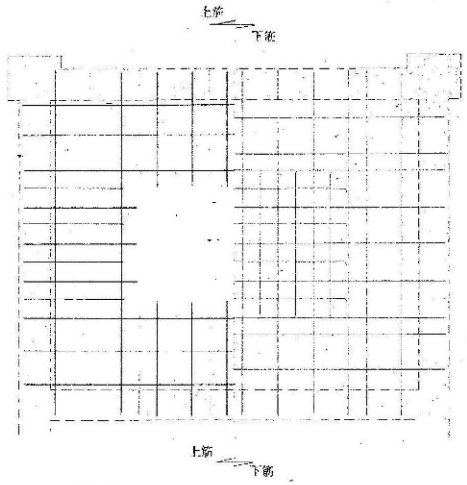
23S5



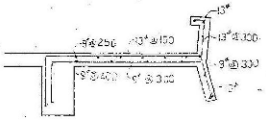


土間スラブ





1S1



CS2

	床厚		短辺方向		長辺方向	
			端部	中央	端部	中央
2,3S1	120	上筋	9φ 13φ @ 200		9φ 13φ @ 200	
		下筋	9φ @ 400	9φ @ 200	9φ @ 400	9φ @ 200
2,3S2	120	上筋	9φ 13φ @ 150		9φ 13φ @ 150	
		下筋	9φ @ 300	9φ @ 150	9φ @ 300	9φ @ 150
2,3S4	120	上筋	9φ 13φ @ 200		9φ 13φ @ 150	
		下筋	9φ @ 300		9φ @ 300	
2,3S5	120	上筋	9φ @ 200		9φ @ 250	
		下筋	9φ @ 300		9φ @ 250	
1S1	120	上筋	9φ 13φ @ 200		9φ 13φ @ 200	
		下筋	9φ @ 400	9φ @ 200	9φ @ 400	9φ @ 200
1S2	120		2,3S3 に準ずる			

2,3S3 / CS2 配筋図参照

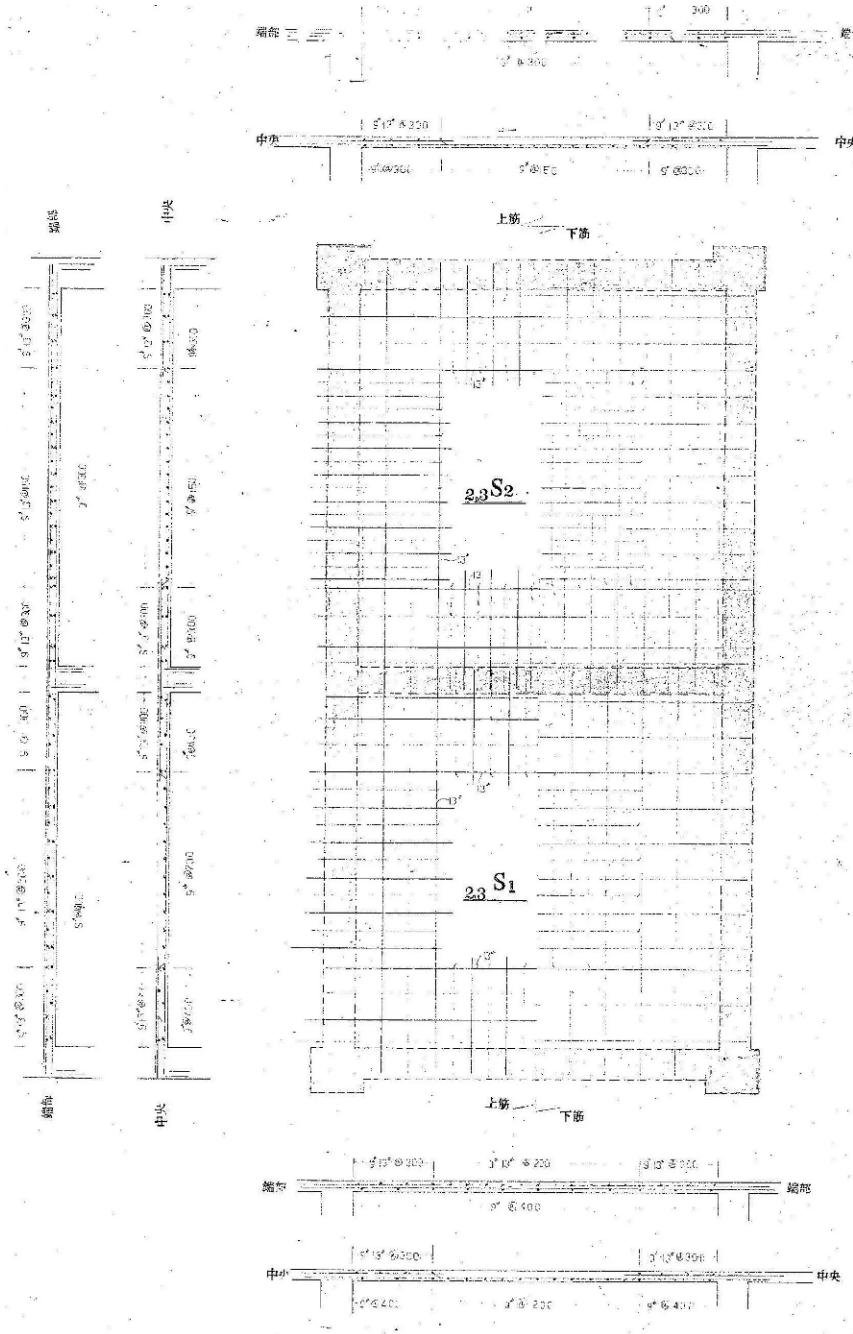
土間スラブ
ソフトピットスラブ 9φ@-300

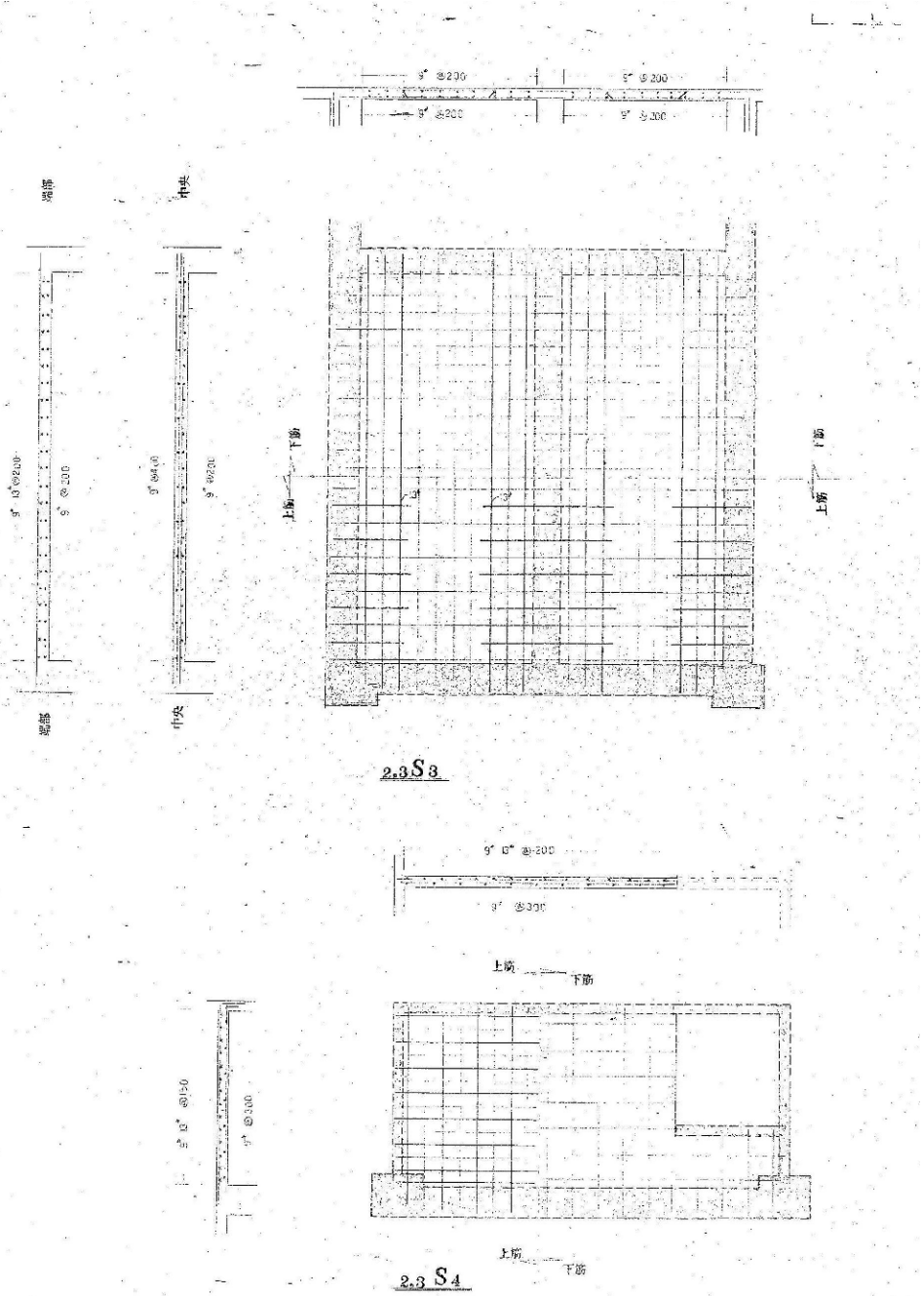
訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
第 号	–	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 床リスト1	縮尺 1:30 / 図面番号 D-040

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



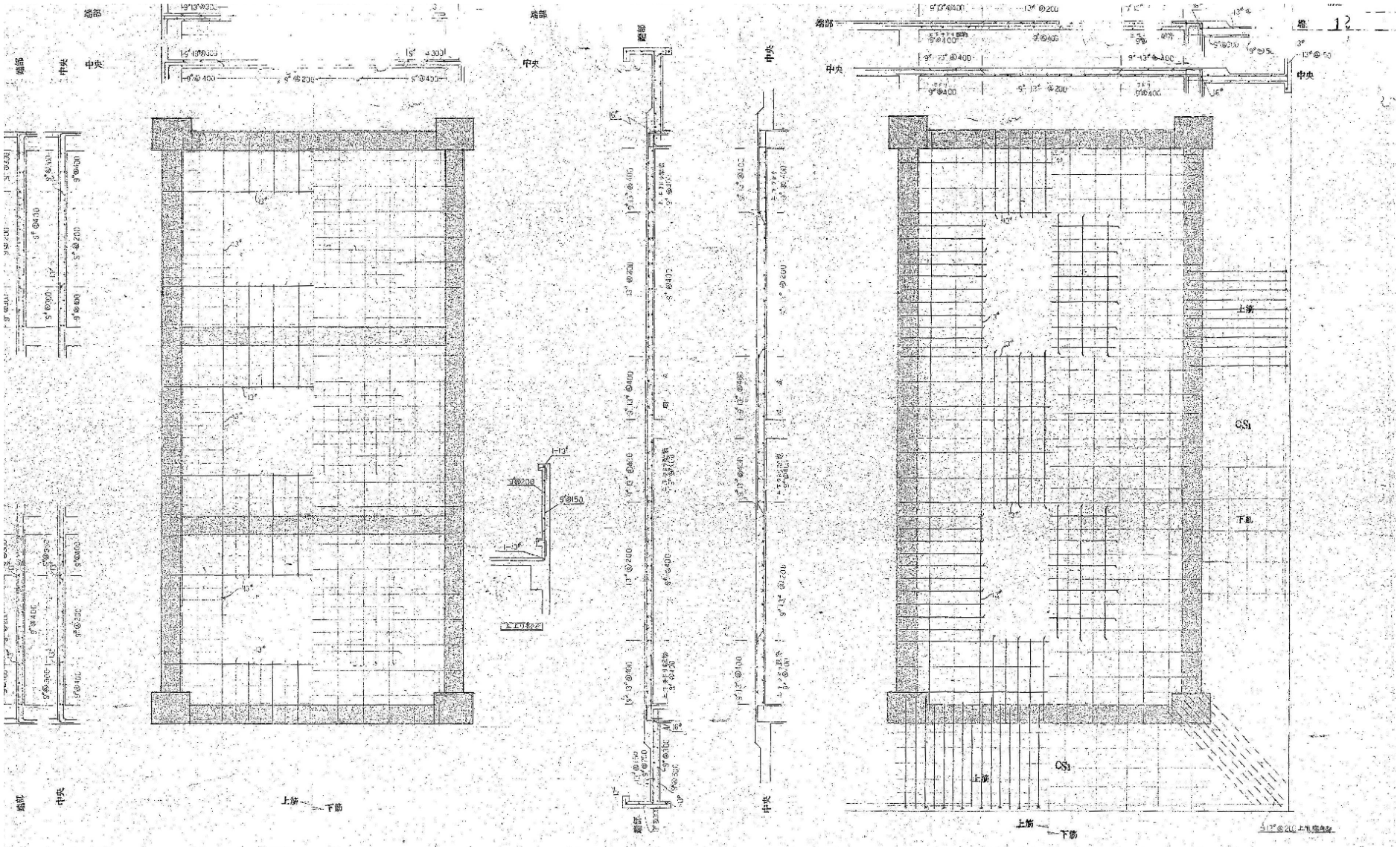


縮尺率	A-1：100% A-2：71% A-3：50%

訂正	月	日	

原　設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号　一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
TEL 084-922-3213　一級建築士
FAX 084-922-3214　第293830号　甲斐　宣行

構造設計一級建築士 第　号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
	—	2022年 9月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)
設備設計一級建築士 第　号	作図	変更年月		図面名称 / 縮尺	図面番号
				校舎棟　床リスト2 / 1:30	D-041



	床厚		短辺方向 端部	短辺方向 中央	長辺方向 端部	長辺方向 中央
PHR S1	120	上筋	9°13°@200		9°@200	
		下筋	9°@400 9°@400	9°@200	9°@400	9°@200
RS1	120	上筋	13°@200		13°@200	
		下筋	9°@400	13°@200	9°@400	13°@200

床厚

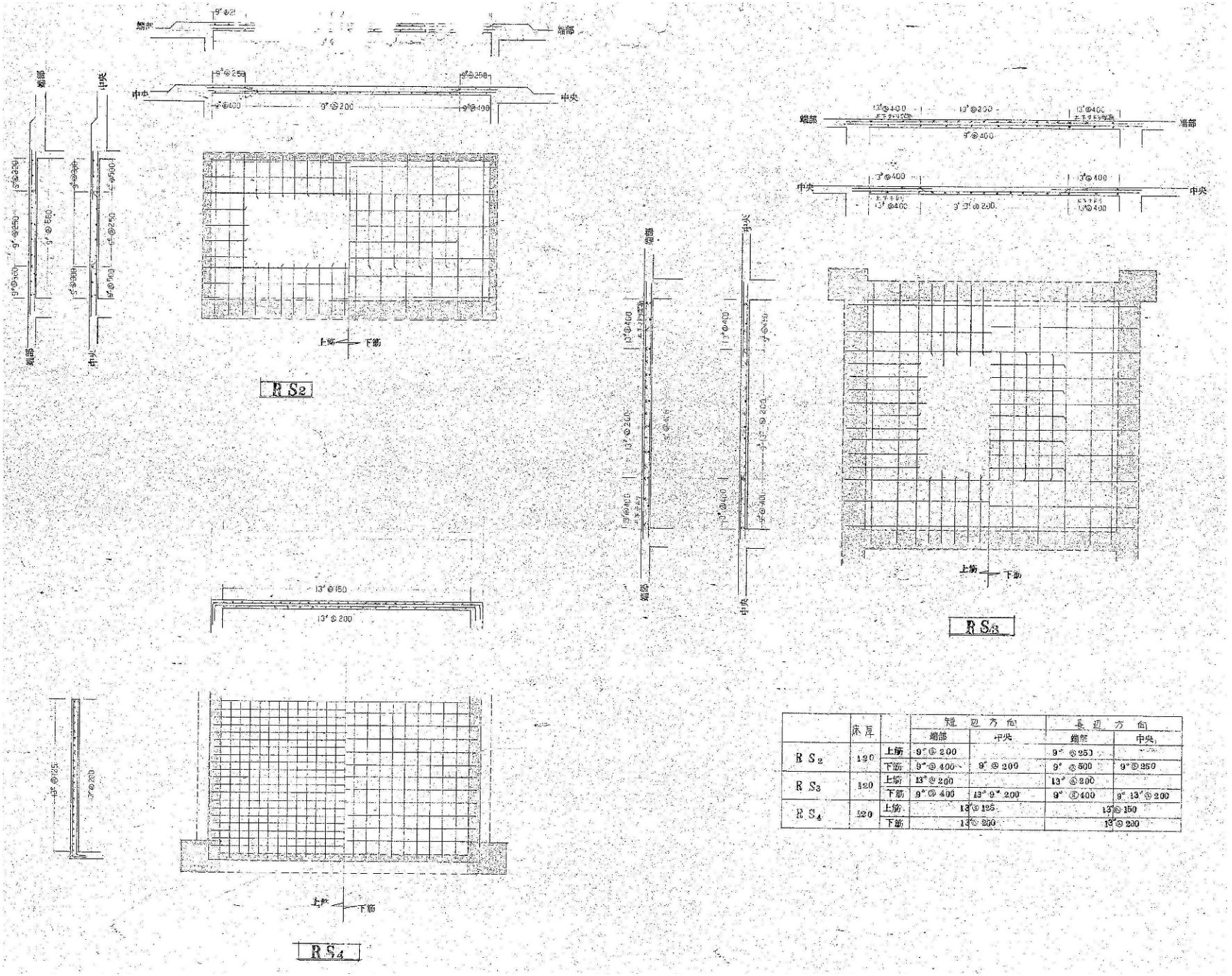
CS1	150	上筋	13°@150 9°@450
		下筋	9°@500 9°@300
CS3	120	上筋	9°13°@200 3 9°
		下筋	

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月	日

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 床リスト3 / 縮尺 1:30	図面番号 D-042



	床厚		短辺方向		長辺方向	
			端部	中央	端部	中央
RS2	120	上筋	9φ@200		9φ@250	
		下筋	9φ@400	9φ@200	9φ@500	9φ@250
RS3	120	上筋	13φ@200		13φ@200	
		下筋	9φ@400	13φ 9φ 200	9φ@400	9φ 13φ@200
RS4	120	上筋	13φ@125		13φ@150	
		下筋	13φ@250		13φ@200	

縮尺率	
	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月	日	

原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月	

工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事			区分 解体(D)
図面名称 校舎棟 床リスト4	縮尺 1:30		図面番号 D-043

特記仕様書

1 一般事項　本工事は電気設備技術基準、内線規程、その他この工事に関係あるすべての法令条例規則等に準拠し本仕様書並に設計図に従い完全に施工しなければならない。

2 器具材料　本工事に使用する器具材料は電気用品取締規則等に準拠し完全良質なものとする。

3 製作図の提出　分電盤、照明器具等に製作を要するものは製作前に製作図を提出し承認の承認を受けること。

4 届出及手続　本工事施工者は官庁及公社等への手続を速やかに完了し工事完成と同時に使用し得る様一切の手続を代行すること。

5 工事範囲　本工事の工事範囲は設計図に示された範囲とし次の通りとする。
1 電灯、コンセント設備工事
2 照明器具及給取付工事
3 動力設備工事
4 電話配管設備工事
5 テレビ配管設備工事
6 放送設備工事
7 電気時計設備工事
8 火災報知設備工事

6 配線工事　設計図中特に指示番号なき場合は1.6mm とし配管は C.P.19mm とする。

7 配線器具　本工事に使用する配線器具は埋込型とし プレートはすべて新金属プレートとする。

8 照明器具　本工事に使用する蛍光灯のうち40W以上のものは高力率型とする。

9 接地工事　設計図中の分電盤、機器等制記なき場合も必要なものには適宜の接地を施工すること。

10 別途工事　次の工事は本工事の範囲外とする
1 電力会社への工事負担金が発生する場合
2 電々公社への引込線の電話番号取付工事

11 検査　工事完成引渡し後 1ヶ月以内に施工又は器具材料の不良にもとづく故障を生じた場合は速やかに無償で補修すること。

12 製作所の指定　本工事に使用する器具材料の製作所の指定は次の通りとする。

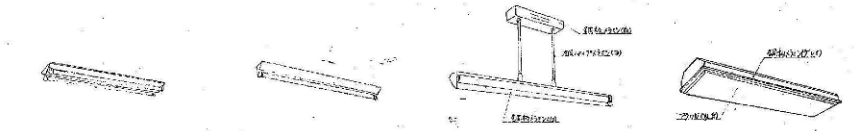
電線	住友、藤倉、古河、ダイヤ、西日本、日立、大陽、住田、河村
硬質管	松下、日メイ、積水、東芝
ボックス類	積水、日亜、松下、外山
分電盤	川崎、東芝、日成、相良、前田工業、大倉
照明器具	松下、東芝、三菱、日立、岩崎
配線器具	松下、神保、東芝、明工社
放送	松下、東芝、ゼンタロー、三菱
電気時計	セイコー、安達、TIC、松下
火災報知機	ホーチキ、ニッタン、能美

12 工.

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
	蛍光灯	40W×3 埋込		操作盤	動力用		配線	実線は天井内 破線は床下配線
	〃	〃 ×2 直付		警報盤			接地	
	〃	〃 ×3 〃		自火報受信盤	煙感知器ボックス内蔵		引込点	
	〃	40W 〃		電話用アウトレット	壁付			
	〃	〃 埋込		〃	壁付 ノイズカット			
	〃	20W×2 直付		保安警報器	5PK スピーカ			
	〃	20W 〃		テレビ用アウトレット				
	〃	〃 壁付		スピーカー	壁掛型			
	〃	FCL40W 埋込		〃	天井			
	白熱灯	ブラケット		インターホン				
	〃	ダウンライト		電話装置	デスク型 1200W			
	コンセント	埋込型		キュービックスイッチ	別図参照			
	タンブラスイッチ	〃		消火栓				
	パイロットランプ	〃 100V		電気時計	親時計			
	換気扇			〃	子			
	冷暖房	壁付		アウトレットボックス	シャッタープレート			
	高動機	別途		プルボックス	別図参照			
	コンデンサー			配線	実線 天井			

照明器具外観図



A FL40W×2 200V 高力型 75
A' FL40W×2 200V 高力型 2
A'' FL20W×2 12

B FL40W 200V 高力型 8
B' FL20W 28

C FL40W 200V 高力型 20

D FL40W×3 ルーバ付 4

E FCL40W 埋込型 3

F FL20W 1

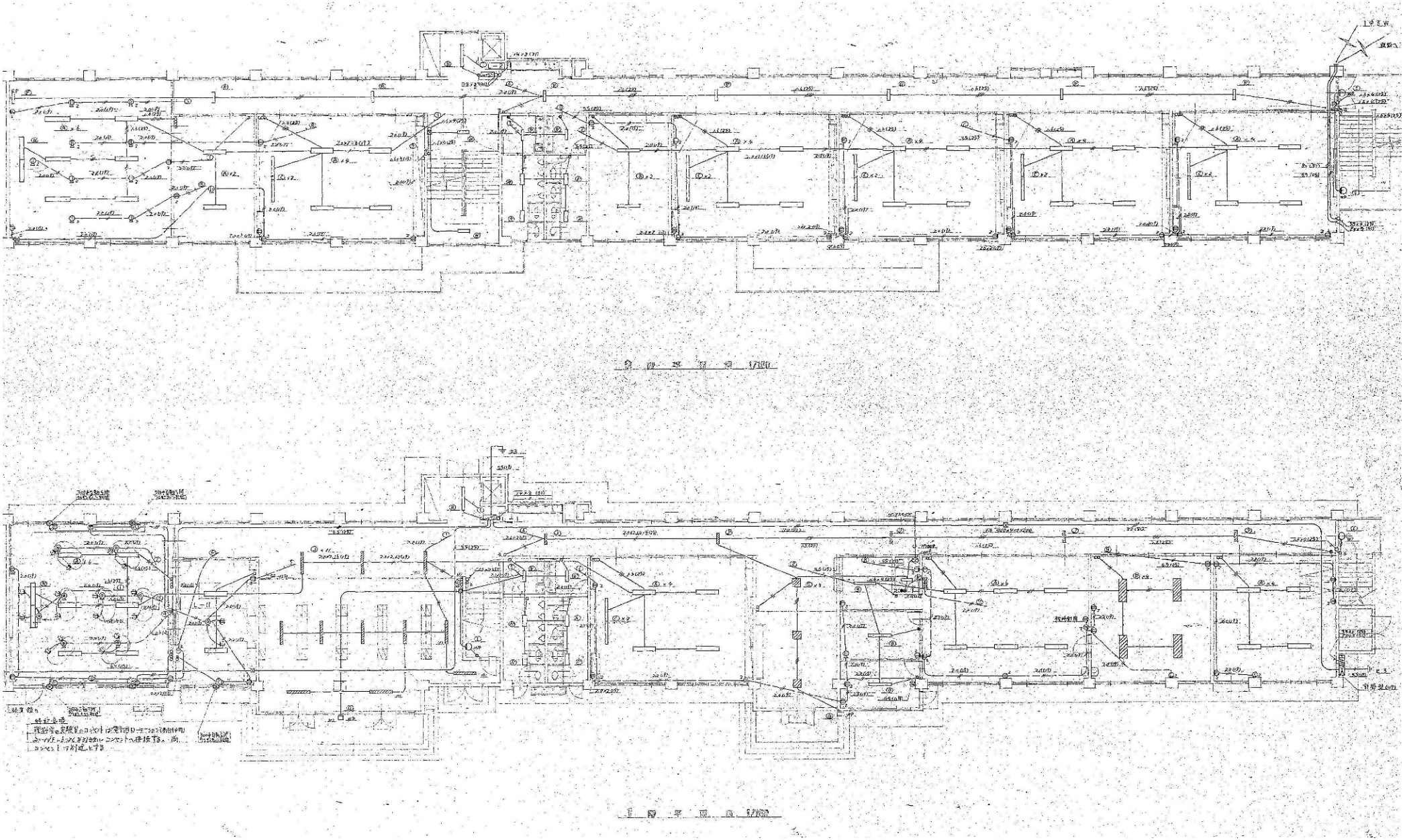
G FL20W×2 WP 2

H FL60W 16

I FL40W WP 8

J FL40W 200V 高力型 27
J' FL20W 5

訂正	月	日	原設計株式会社	建設業許可 第 号		担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分	縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行	建設業許可 第 号		作図	2022年9月 変更年月		旧福山市立内海小学校校舎解体工事	解体(D)	
									図面名称 校舎棟 照明器具姿図	縮尺	図面番号 D-044

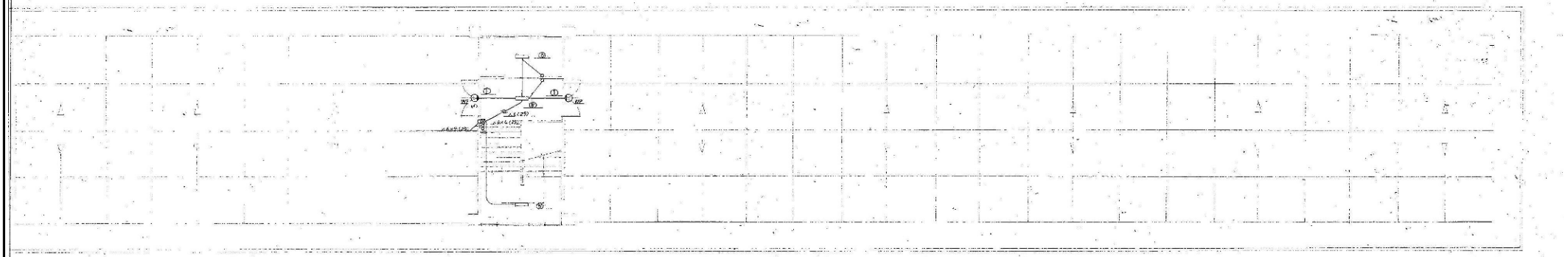


訂正	月	日	

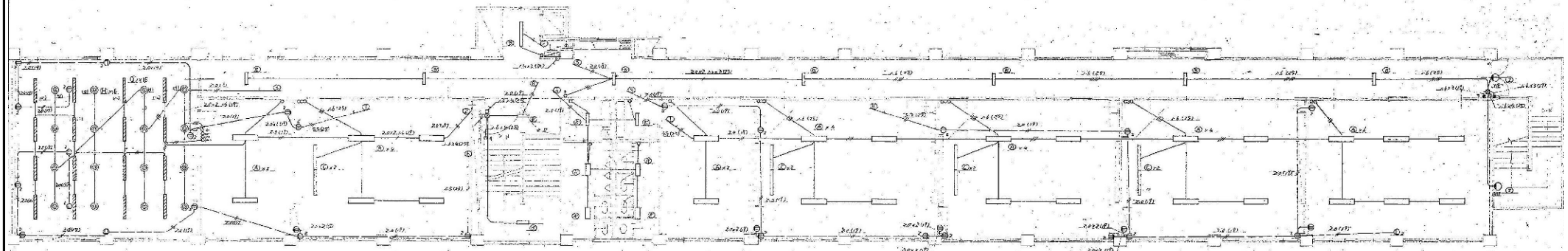
原 設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214
一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
一級建築士 第293830号 甲斐 宣行

構造設計一級建築士 第 号	担当 –	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区分 解体(D)
設備設計一級建築士 第 号	作図	変更年月		図面名称 校舎棟 電灯コンセント平面図1 / 縮尺 1:100	図面番号 D-045

縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



PH 平面 2 1/100



訂正	月 日	原 設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行	構造設計一級建築士 第 号 設備設計一級建築士 第 号	担当 —	設計年月 2022年 9月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 旧福山市立内海小学校校舎解体工事	区 分 解体(D)	縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
				作図	変更年月		図面名称 校舎棟 電灯コンセント平面図2	縮 尺 1:100	図面番号 D-046